












x86サーバ PRIMERGYラインナップ

x86サーバ PRIMERGY(プライマジー)は、お客様のソリューションに最適な製品ラインナップを提供しています。

	タワー型サーバ	タワー / ラック型サーバ	ラック型サーバ
4 WAY			RX4770 M7 ➔ P.32 
2 WAY		TX2550 M7 ➔ P.24 	RX2540 M7 ➔ P.30  RX2530 M7 ➔ P.28  RX2450 M2 ➔ P.36  GX2560 M7 ➔ P.38 
1 WAY	TX1320 M6 ➔ P.20  TX1310 M5 ➔ P.18 	TX1330 M6 ➔ P.22 	RX1440 M2 ➔ P.34  RX1330 M6 ➔ P.26 

Contents

x86サーバ PRIMERGY

PRIMERGY サーバ運用管理	2
サーバ選定ガイド	10
内蔵ストレージ・CPUの選定ポイント	11
OS対応表・記号早見表	12
CPU一覧表	13
メモリー一覧表	15
内蔵ストレージ一覧表	16
TX1310 M5	18
TX1320 M6	20
TX1330 M6	22
TX2550 M7	24
RX1330 M6	26
RX2530 M7	28
RX2540 M7	30
RX4770 M7	32
RX1440 M2	34
RX2450 M2	36
GX2560 M7	38
長期保守対応タイプ	40
PRIMEFLEX for VMware vSAN	42
PRIMEFLEX for VMware vSphere	44
PRIMEFLEX for Nutanix	46
PRIMERGY CDI	48
バックアップ装置	51
ラック	52
無停電源装置 (UPS)	53
工場セットアップサービス	54
PRIMERGYの「こだわり」	57
Windows Server® 2025	59
Windows Server® IoT 2025 for Storage	61
Windows Server® 2022	62
Windows Server® IoT 2022 for Storage	65
VMware シリーズ	66
Red Hat Enterprise Linux	68
OSS脆弱性管理サービス	70
ソフトウェア	71
uSCALEサブスクリプションモデル	73

パソコン・パーソナルプリンタ

ESPRIMO	74
CELSIUS	75
LIFEBOOK	76
XLシリーズ / FMPRシリーズ	77

ストレージシステム

ETERNUS	79
---------------	----

ネットワーク製品

SR-S / SHシリーズ	85
Si-Rシリーズ	87
IPCOM EX2 / VE2シリーズ	89

運用・保守サービス

SupportDesk	92
SupportDeskパック	94
サービス・クオリティ	111
保証延長パック	112

PRIMERGY サーバ運用管理

24時間365日のシステムの安定稼働と管理業務を実現する統合管理ツール『Infrastructure Manager』を中心とした、複数の製品をご提供します。複雑化するシステムを統合的に管理/監視し、エラーの検出、システム停止の回避など、管理運用を高度化/自動化します。リモート環境からの状態確認や設定、電源制御により、場所や時間を問わない管理を実現、さらにスマートでエコなシステムを実現します。

新しいインフラ管理の概念

現在、基盤システムは様々な人々の生活を支えています。しかし、システム停止が発生すると、その影響は甚大なものとなってしまいます。インフラ管理において大切なことは、システムが突然停止することなく、しっかりと運用できる健全な基盤を保つことです。さらに、これからの時代を見据えた新しいインフラ管理の概念が必要になっています。

インフラ管理

複雑化していくインフラ環境において、PRIMERGYのみならず様々なインフラを統合的に管理していく必要があります。

省力化

人材不足が深刻化していく中、導入/管理を省力化することはもちろん、システムの状態を予測し、急な対応を行わないようにしていくことが大事です。

スマート/エコ

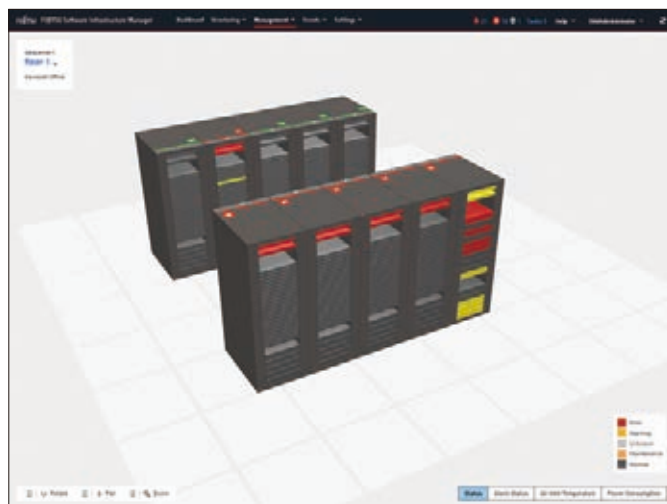
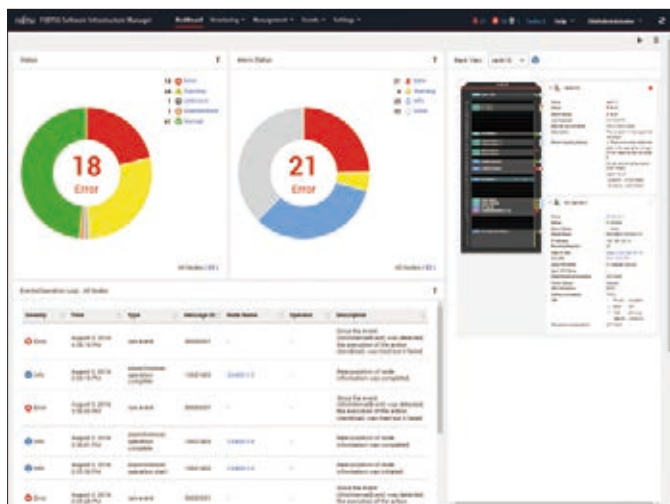
ビジネス革新を実現していくために、スマートで直感的にわかりやすく、エコを実現していくことが求められます。

「守り」と「人」、さらに「攻め」に転じた基盤



Infrastructure Manager (ISM)

ISMは複数のサーバ、ストレージ、スイッチを統合・可視化・自動化し、運用を効率化するインフラ管理ソフトウェアです。本ソフトウェアにより、ビジネスを支える確実な『インフラ管理』、人材不足を解消する『省力化』、ビジネスを協創する『スマート/エコ』であるインフラを実現します。



インフラ管理

複雑化する管理を統合

省力化

導入、管理を自動化

スマート/エコ

直感的でわかりやすい操作、電力消費量やCO₂排出量を把握

* サポート対象機器と型名の組み合わせについては、以下のシステム構成図のWebサイトからご確認ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

* 管理対象機器の製品(モデル)および、各管理対象機器でサポートする機能については、以下の本製品のWebサイトからご確認ください。

<http://software.fujitsu.com/jp/server/viewism/environment/>

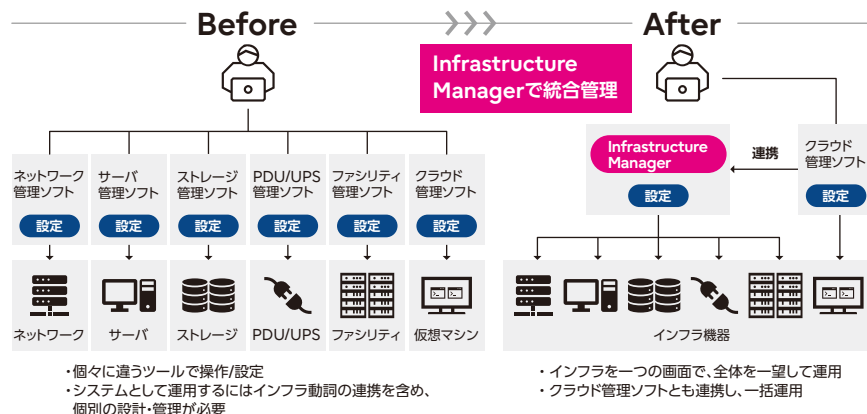
ISM v3.1.0へのバージョンアップ

新たなコンセプトである「エコ、スマートなインフラ運用管理」を実現するためにv3.0.0にバージョンアップを行いました。今回、v3.1.0のバージョンアップでは環境問題への取り組みへのきっかけとなるサステナビリティ機能を新規提供します。今後はサステナビリティ機能の強化、ユーザビリティの改善など、持続可能なお客様ビジネスを支援できるような機能を今後順次提供していきます。また、新たな試みとして、サーバ構築・運用の負荷軽減のための自動化ツールの提供、小規模システムやエッジ・複数拠点のサーバ一括管理に向けたクラウドベースの管理サービスを検討していきます。



インフラ管理

ビジネスを支える健全な基盤



確実なインフラ管理を行い、システムが突然停止しないようにするためには確実な運用が必要です。最近では多くのインフラ機器を使用する必要があるため、一元管理を行う必要があります。Infrastructure Managerにより、様々な機器を統合管理します。

Integrated Management 統合管理

Infrastructure Manager ダッシュボード

全ノードのステータスを一覧化するなど、全体の状況をまとめて表示。レイアウトの追加や変更で必要な情報を強調、迅速かつプロアクティブな意思決定の実現に。



Infrastructure Manager 仮想リソース管理

ストレージプールの使用状況や状態を、構成するハードウェア機器の状態と連動して監視できます。ストレージプールを画面上で一元管理することで、リソース使用率を見える化し、リソースの再配置や追加のタイミングの予測を支援します。また、機器とリソースプールの関連が容易に確認でき、異常監視や保守が確実に実施できます。



Infrastructure Manager Active Directory 連携

ISMにお客様のADサーバを設定することでユーザー認証を統一することができます。

Infrastructure Manager グループ管理

管理対象機器やユーザーをグループ管理することで、ISMの各機能のアクセス範囲や、アクセスできる機器の範囲を制限します。

Infrastructure Manager ログ管理

定期的に機器のログ（ハードウェアログ、OSログ等）を一括で採取し、一元管理します。

Infrastructure Manager Systemwalker メッセージ定義

ISMとSystemwalker Centric Managerを連携することによって、システム、ネットワーク、アプリケーションなどの異常を統合管理できます。Systemwalker Centric Managerとの連携のためのドキュメントおよび定義ファイルを提供します。

Alarm Management アラーム管理

Infrastructure Manager アラーム管理 (Trap、シスログ、メール)

各ノードから受信したイベント（ログ、SNMPトラップ）を一覧表示します。また、イベントの受信を契機にメール送信や任意のスクリプトの実行、Syslogサーバへの転送をすることができます。

Remote Management リモート管理

iRMC

サーバ本体のシステムボード上に標準搭載^(注1)されているリモート管理機能で、遠隔地からLANネットワークを介し、サーバ状態の確認や設定、電源制御を行います。

- 1) サーバの省電力設定など、電力制御機能を提供します。
- 2) 管理対象サーバのCPU・ファン・メモリ・RAIDなどの監視や、システムイベントログの確認ができます。
- 3) 遠隔地のサーバコンソールを操作することが可能です。また、障害発生時のスクリーンショットが採取できます。

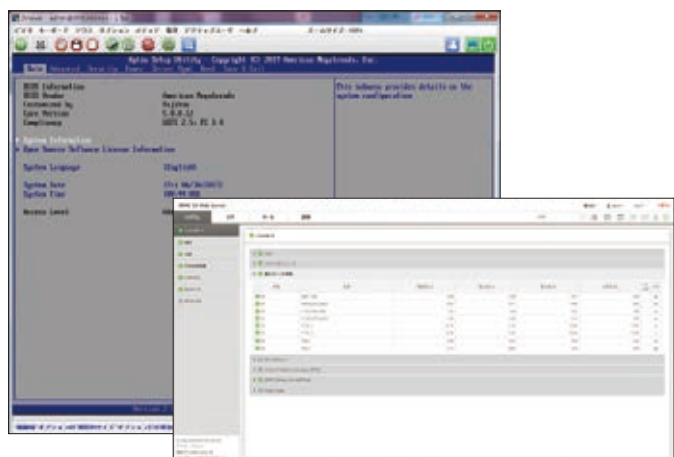
【ビデオリダイレクション機能^(注2)】

- 4) 手元のメディア（CD・DVD-ROMなど）を、遠隔地のサーバにマウントすることができます。

【バーチャルメディア機能^(注2)】

(注1) 一部機種を除きます。

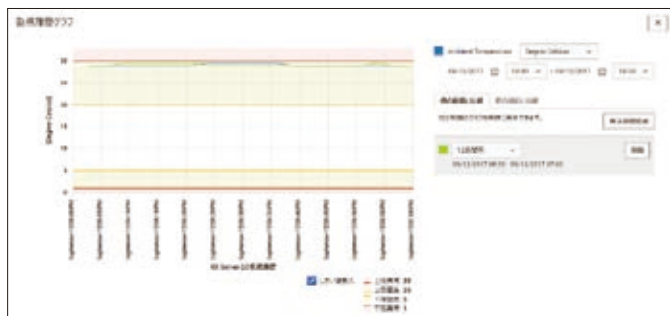
(注2) リモートマネジメントコントローラアップグレード[有償オプション]の手配が別途必要です。



Server Monitoring and Control サーバ監視

Infrastructure Manager モニタリング

機器の状態（温度、ファン回転数等）の監視や、リソース使用量（CPU、メモリ、ストレージ、仮想リソース等）の監視ができます。監視項目としきい値をカスタマイズ、複数のパラメータを並べてグラフに表示します。



Update Management アップデート管理

Infrastructure Manager ファーム管理

機器の種類に関わらず、複数ノードのファームウェア版数を確認します。新しいバージョンのファームウェアがある場合にはハイライト表示、複数の機器への一括適用が可能です。また、ファームウェアの組み合わせを指定し、マッチしないノードを表示、ダッシュボードでアラート表示します。

ServerView Update Manager Express

BIOS・ファームウェアなどをローカルアップデートします。

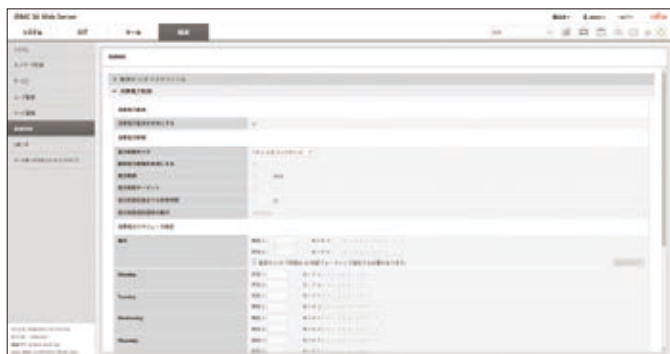
embedded LifeCycle Management (eLCM) ファーム管理

iRMCに組み込まれたライフサイクル管理機能（eLCM）を使用したファームウェアのオフラインアップデートをサポートします。

Power Management 電力管理/電源制御

iRMC 電源制御

サーバの消費電力の監視や省電力設定など、電力制御機能を提供します。



Storage, Switch, Facility Support ストレージ、スイッチ、ファシリティサポート

Infrastructure Manager ストレージ、スイッチ、ファシリティ管理

ISMはストレージやスイッチ、UPSやCDUなどの設備も統合して管理します。

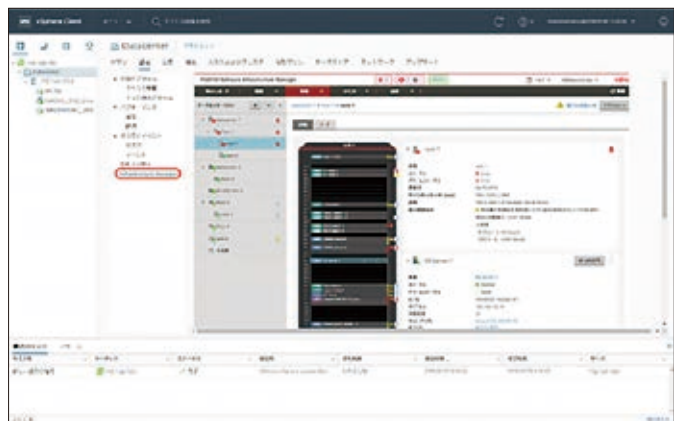
Infrastructure Manager Plug-in プラグイン

Infrastructure Manager SV Plug-in for VMware vLCM

vSphere Lifecycle Managerからサーバのファームウェアをアップデートする機能を提供するプラグインです。

Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance

vCenterから直接ISMの各種機能を利用できるようにするためのプラグインです。



Infrastructure Manager SV Plug-in for Microsoft Cluster-Aware Update

Windowsの機能であるCluster-Aware Update (CAU) において、ハードウェアのBIOSやファームウェアのアップデートを可能とするプラグインです。

Diagnostics, Inspection 診断、検査

Infrastructure Manager リモート通報 (SDK)

お客様の対象機器に異常が発生した場合に富士通サポートセンターへE-Mail通報します。サポートセンターではリモート通報された情報を元に専門技術者が問題の原因を特定・対応し、トラブルの未然防止や短時間でのトラブル解決を図ります。訪問修理が必要な場合、お客様へご連絡の上でサービスエンジニアを派遣して対応します。ご利用にはSupportDesk (パック含む) Standardのご契約が必要です。

ServerView PrimeCollect

サーバのハード・ソフトウェアの情報を一括収集します。

Customer Self Service (CSS) ServerView Local Service Panel

CSSコンポーネントの故障をランプでお知らせします。最新のx86サーバ PRIMERGYでは、サーバの前面に標準搭載^(注3)されています。

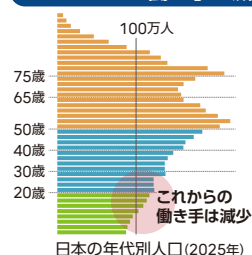
(注3)一部機種を除きます。



省力化

自動化・リソース予測

これからの働き手は減少



インフラ管理に多大なる影響が

- ・構築がうまくいかない
- ・監査が十分にできず、ハード故障など放置
- ・ファームウェアの更新ができず、セキュリティインシデントに
- ・先々の必要リソースを予測できず、突然のリソース枯渇に
- …等々

ISMにより解決!



- ・プロフィール機能を使い、構築作業を自動化
- ・アノマリ検知で故障を予見
- ・ファームウェア一括アップデート
- ・リソース変動予測で先じたリソースを調達
- ・トラブルシューティング

働き手が減少していく中、インフラ管理を確実に実施していくためには、効率的に構築/運用を実施していく必要があります。そのためにあらゆる自動化を行い、またリソース予測をすることにより突然の構築作業追加などにならないよう、様々な情報を提供します。

サーバセットアップ

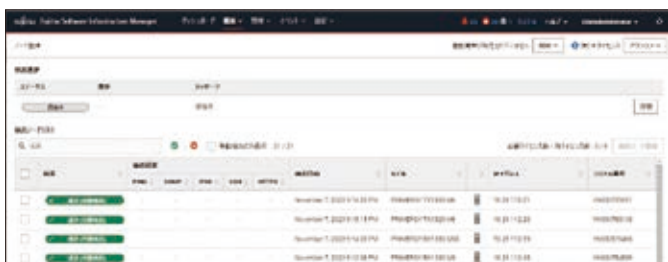
ServerView Installation Manager

サーバの初期導入や再構築時に、OSおよびサーバ管理ソフトウェアのインストール作業とセットアップ作業を簡単・容易にするソフトウェアです。遠隔地からのリモートインストールなど、利用者の形態に合わせた導入を実現します。



Infrastructure Manager サーバ自動検出

新たにネットワークに接続された機器を自動で検出し、ウィザードの操作で簡単に登録できます。



Infrastructure Manager 仮想 IO 管理

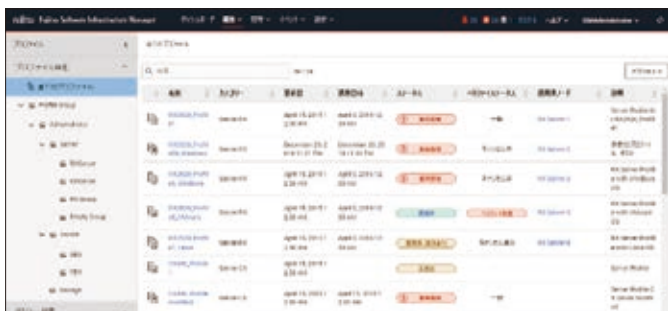
オンボードLANやオンボードCNA、増設LAN、増設FCの各ポートを仮想化することで、システムボードやPCIカードを保守交換した際に、ポートの設定を変更することなく運用継続できます。

ServerView Scripting Toolkit

サーバのシステム構成やインストール設定のユーティリティ・サンプルスクリプト群です。

Infrastructure Manager プロファイル管理

BIOSやファームウェア、仮想IOの設定、OSインストールのパラメータをプロフィールとして管理。ハード設定とOSインストールを一括で行えます。



Infrastructure Manager REST API

REST APIを用いてISMに登録されている機器の情報を取得、ファームウェア適用などの操作を実行することができます。

PRIMERGY 自動化ツール by Ansible

OS・アプリのインストールや設定、iRMCやBIOSのファームウェアの更新といったサーバの構築を自動化することができます。Ansibleを活用しており柔軟な手順の追加や変更が可能な他、LinuxやOSS未経験者を想定したドキュメントも整備しています。本ツールはOSSとして無償で公開しています。

※PRIMERGY自動化ツールby Ansibleは以下のWebサイトからダウンロードが可能です。
<https://github.com/fujitsu/fujitsu-ansible-irmc-integration>

また、ツールのご利用方法については以下のドキュメントを参照ください。

[日本語版] https://github.com/fujitsu/fujitsu-ansible-irmc-integration/blob/master/docs/USER_GUIDE_ja.md

[英語版] https://github.com/fujitsu/fujitsu-ansible-irmc-integration/blob/master/docs/USER_GUIDE.md

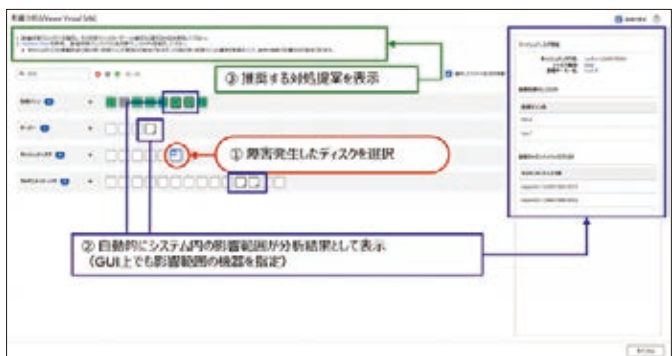
Analytics 分析管理

Infrastructure Manager アノマリ検知

ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動(アノマリ)を検知します。また、検知した挙動の原因や対処案を提示することでトラブルを未然に防止できます。

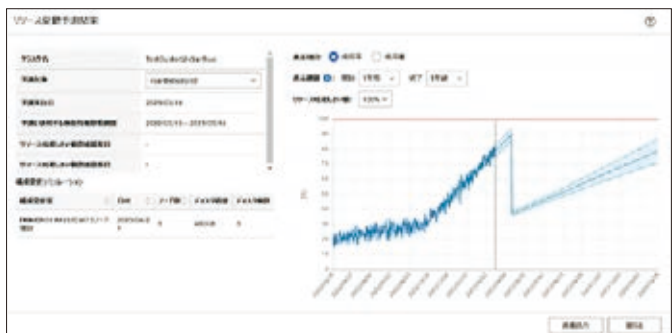
Infrastructure Manager I/O リソース影響分析

VMware vSANのストレージに生成した仮想マシンが使用する物理ディスクや、物理ディスクを搭載するサーバを可視化します。サーバの停止や物理ディスクのI/O性能問題が発生した際に、影響箇所の把握を簡単に行うことができ、トラブル解決時間を短縮できます。



Infrastructure Manager リソース変動予測

vSANクラスタのリソースの稼働情報を収集し、1年後までのリソースの使用予測をグラフ化し表示します。周期性やトレンドの変化を考慮した予測結果をもとに、いつリソースが不足するか図示します。リソースが不足しないように、サーバ増設の構成変更をシミュレーションすることもできます。





スマート/エコ

可視化・エコ情報収集

攻めの基盤に必要な考え方

スマートな管理

ネットワークの可視化

企業全体のエコ統制

物理マシンのビジュアル管理、
全ての機器の状態を見る化

複雑になりがちな
ネットワークを可視化し管理

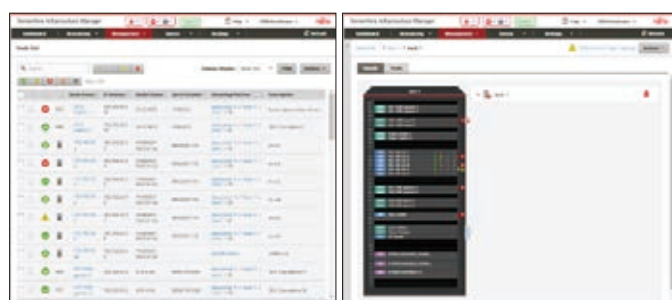
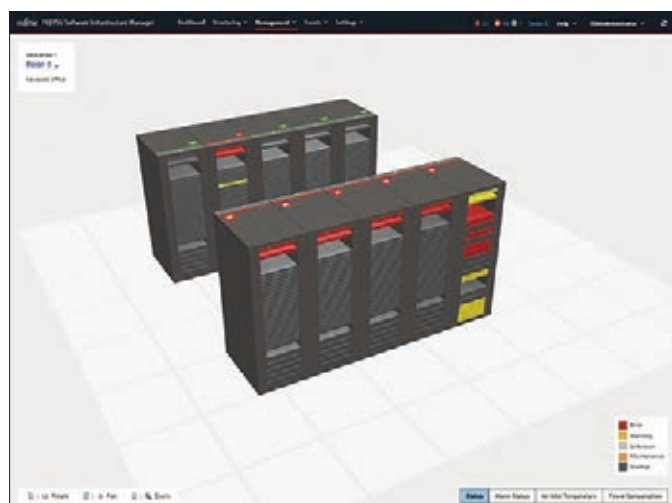
CO₂排出量の把握

お客様の基盤を攻めに転じるためには、スマートでわかりやすい可視化により効率的にシステムを活用することや、エコに繋がるデータを収集する必要があります。何があるのかを明確化するために3D可視化し、複雑になりがちなネットワークをマップ化、さらにサーバの消費電力や相当するCO₂排出量を算出するなどの機能を提供します。

Asset Management アセット管理

Infrastructure Manager ラックビュー

サーバラックに機器が搭載された状態をGUI上に再現します。機器についているLEDの状態を画面上で再現することで、まるでサーバラックの前にいるように、故障している機器がラックのどの位置に搭載されているのかひと目で把握できます。



Infrastructure Manager ネットワークマップ

管理対象機器間の物理・仮定のネットワーク結線をマップ表示します。機器のエラーや異常発生時に影響範囲が簡単に把握します。



Sustainability サステナビリティ

Infrastructure Manager サステナビリティモニター

サーバが消費した電力およびCO₂情報を出力します。出力された情報は、SXプラットフォームへ入力することも可能です。この機能により、サプライチェーン情報の一環として、CO₂データ全体を可視化することができます。これにより、サステナビリティ経営のアピールに活用することができます。

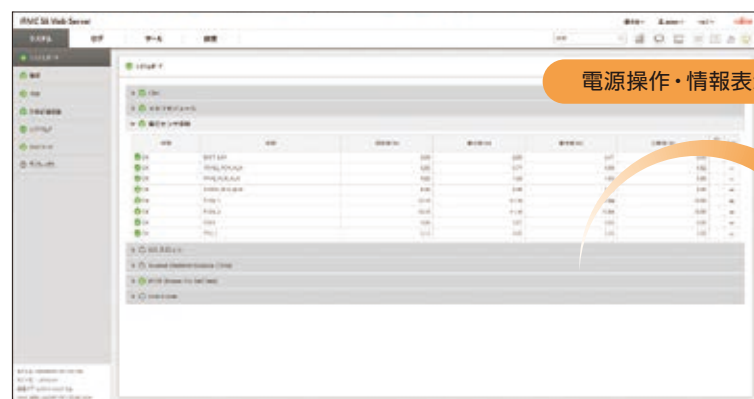
本機能は、まずサーバからサポートを開始します。スイッチおよびストレージも順次サポートしていく予定です。

本機能を通じて、サプライチェーン全体のCO₂排出量「見える化」することで、持続可能な経営を推進することが可能となります。



integrated Remote Management Controller (iRMC)

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理するインフラ管理ツールです。単体でも使用できますが、Infrastructure Managerと連携することで、統合的に管理/監視することができるようになります。



電源操作・情報表示などが可能

電源が入っていないサーバでも…

Off

iRMC



簡単導入

インストール不要でLANケーブルをつないでIPアドレスを設定するだけですぐに使用可

監視

OSの稼働状況に関わらずサーバの各部品を監視。障害発生時はメールやSNMPTラップで通知

遠隔操作

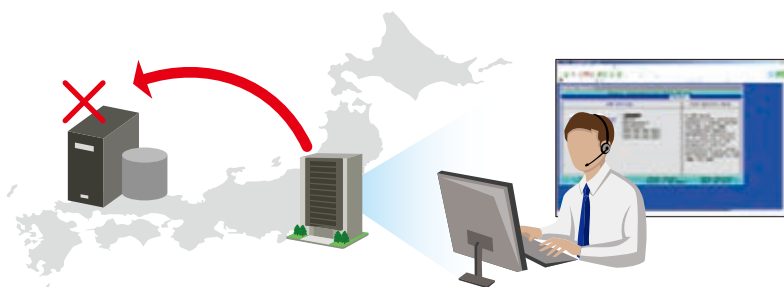
ビデオリダイレクション機能*で遠隔地のサーバをどこからでも管理

※リモートマネジメントコントローラアップグレード[有償オプション]の手配が別途必要です。

iRMC オプション製品

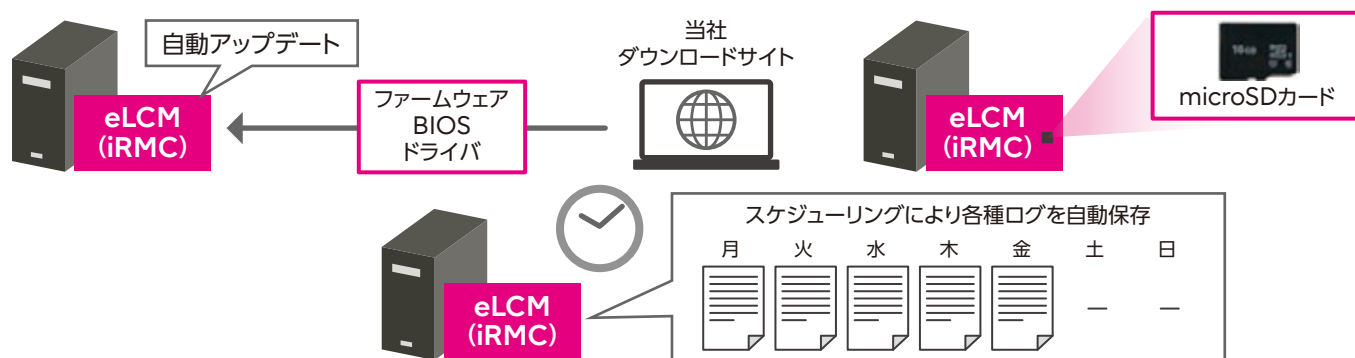
■ リモートマネジメントコントローラアップグレード

iRMCにビデオリダイレクション機能とバーチャルメディア機能を追加するオプション製品です。OS機能のリモートデスクトップとは違い、OSが稼働していない状態でも手元のパソコンからサーバをフルコントロールすることができます。作業工数や移動、保守費用などのコスト削減に役立ちます。



■ ライフサイクルマネジメントライセンス

PRIMERGY製品の導入・運用・メンテナンスまでライフサイクル全体に渡って管理が可能となるembedded LifeCycle Management (eLCM) 機能を iRMCに追加するオプション製品です。ファームウェア・BIOS・ドライバのアップデート管理機能、PRIMERGYに搭載したmicroSDカードにISOイメージを保存・起動できるイメージ保存機能、ログ収集をスケジューリングし自動化するログデータ管理機能等を提供します。



インフラ管理ツール 製品一覧

- Infrastructure Manager ダッシュボード
- Infrastructure Manager 仮想リソース管理
- Infrastructure Manager Active Directory 連携
- Infrastructure Manager グループ管理
- Infrastructure Manager ログ管理
- Infrastructure Manager Systemwalker メッセージ定義
- Infrastructure Manager アラーム管理
- iRMC
- リモートマネジメントコントローラアップグレード
- Infrastructure Manager モニタリング
- Infrastructure Manager ファーム管理
- ServerView Update Manager Express
- embedded LifeCycle Management (eLCM) ファーム管理
- iRMC 電力制御
- Infrastructure Manager SV Plug-in for VMware vLCM
- Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance
- Infrastructure Manager SV Plug-in for Microsoft Cluster Aware Update
- Infrastructure Manager リモート通報 (SDK) *

※ISM SDKを契約している場合のみ利用可能

- Server View PrimeCollect
- Customer Self Service (CSS) ServerView Local Service Panel
- Infrastructure Manager ストレージ、スイッチ、ファシリティ管理
- ServerView Installation Manager
- Infrastructure Manager サーバ自動検出
- Infrastructure Manager 仮想IO管理
- ServerView Scripting Toolkit
- Infrastructure Manager プロファイル管理
- Infrastructure Manager REST API
- PRIMERGY 自動化ツール by Ansible
- Infrastructure Manager アノマリ検知
- Infrastructure Manager I/Oリソース影響分析
- Infrastructure Manager リソース変動予測
- Infrastructure Manager ラックビュー
- Infrastructure Manager ネットワークマップ
- Infrastructure Manager サステナビリティモニター

- 標準機能
- 有償機能

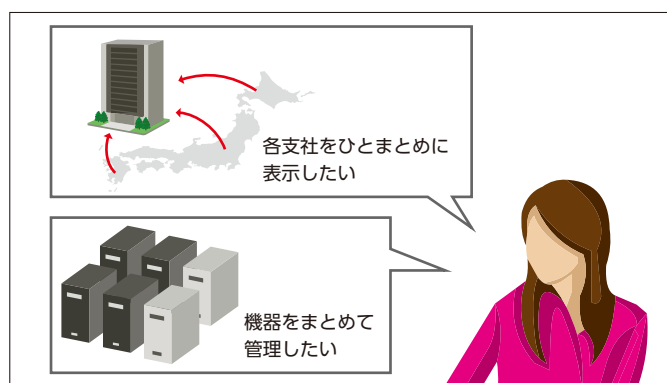
インフラ管理ツール おすすめ利用ケース

運用花子さんの勤めているF株式会社では、支社のシステムを本社でまとめて管理することになりました。
各支社にはサーバやストレージなどが10台程度あり、それらの機器を本社でまとめて管理するのに際して、運用花子さんは考えました。

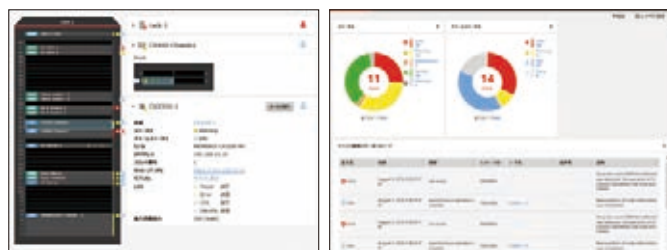


そのような時、先輩の構築太郎さんがある製品を紹介してくれました。
それが **Infrastructure Manager [ISM]** です。

ISMでIT機器の管理を一つに集約！



- 各IT機器をひとまとめに管理、システム管理が簡単！
サーバだけでなく、ストレージやスイッチも！
- 機器情報を自動的に読み取り管理表を作成、資産管理の手間を削減！
- 機器の状態がビジュアル表示されてわかりやすい！



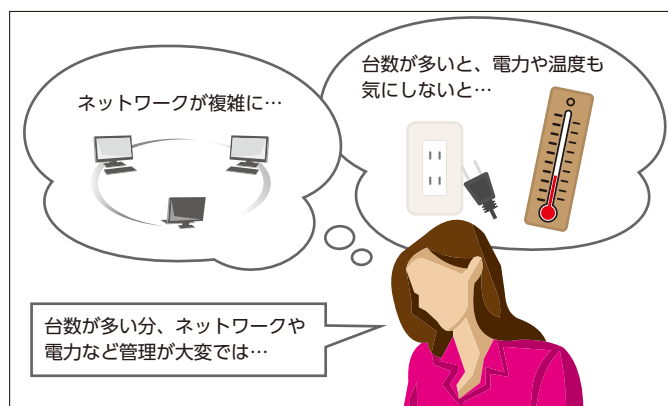
ISMで構築から運用・保守を一つに集約！



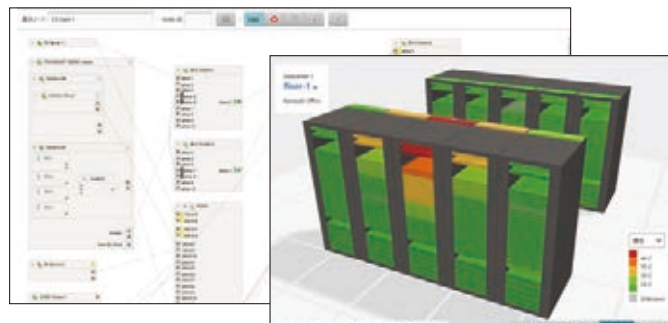
- 機器側にエージェントソフトのインストールが不要で、導入時間を短縮！
- 複数台のサーバを一度に構築。構築設定情報をテンプレート化も合わせて構築コストを削減！
- ファームウェア管理と更新の自動化で、保守コストを削減！

ISMでシステムを見える化！

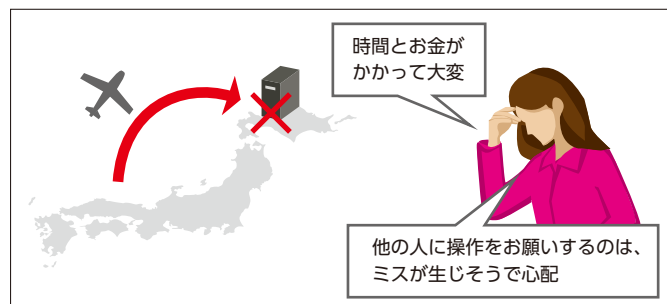
システム運用を一つに集約する中で、運用花子さんにある不安が生まれてきました。



- ネットワーク機器、サーバの結線情報、仮想マシンの接続情報を収集し、ネットワーク図として表示。ネットワークの保守コストを削減！
- ラック内機器の熱分布、消費電力分布を可視化。熱だまりや消費電力分布の偏りをひと目で簡単に把握！

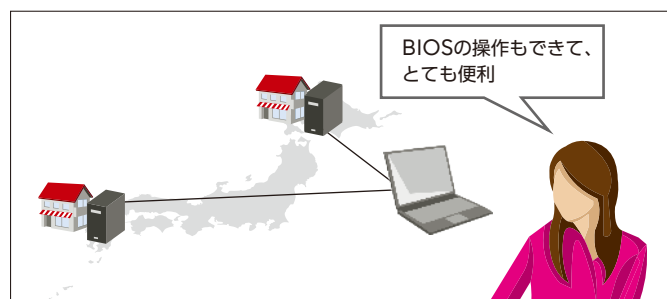
iRMC+リモートマネジメントコントローラ
アップグレードで自由自在に遠隔操作！

支社のサーバに異常があるたびに出張するのはとても大変です。そこで、運用花子さんは、サーバを遠隔操作できないものかと考えました。



このような時、『iRMC+リモートマネジメントコントローラアップグレード』がオススメ！

- まるで目の前にサーバがあるように、クライアントPCでサーバの操作ができます！
- クライアントPCのDVDドライブやISOイメージを使って、サーバにインストールができます！

ServerView Installation Managerで
サーバを一括展開

今、運用花子さんは毎日、支社に新しく導入されるサーバの構築作業をしています。全支社分のサーバ構築は、さすがに数が多いのでなかなか終わりにあきません。



このような時、『ServerView Installation Manager』がオススメ！

- 複数サーバを同時に一括して構築するので、設定ミスを低減！

運用花子さんは、インフラ管理ツールを活用することで、システム管理を軌道に乗せることができました。ですがサーバ運用の日々はまだまだ続きます。

数年後、後輩がサーバ運用の集約を担当することになりますが、それはまた次のお話で…。

用途で選べるPRIMERGYサーバ選定ガイド

用途	規模	モデル選定のポイント	推奨製品	各サーバ製品の特長
ファイルサーバ	30 人未満	稼働時間が一日8時間程度でコストパフォーマンスを重視	タワー型サーバ TX1310 M5	●TX1310 M5は、コストパフォーマンスに優れ、オフィス利用に最適な1WAYエントリーサーバです。一日の稼働時間が8時間程度で運用できることが導入のめやすになります。 ●TX1320 M6は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載した、静音性と圧倒的な省スペースを実現するコンパクトサーバです。
		省スペース、低消費電力を重視	コンパクトサーバ TX1320 M6	
	30 人以上 100 人未満	拡張性を重視	タワー / ラック兼用型サーバ TX1330 M6	●TX1330 M6は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載した、拡張性を実現する高性能な1WAYサーバです。 ●TX2550 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載し、多数の内蔵ストレージを搭載可能で拡張性にも優れ、タワー型設置もラック搭載も可能な2WAYサーバです。 ●RX2530 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載した標準的な2WAYの1Uラック型サーバです。水冷モデルもラインナップしています。 ●RX2540 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載し、拡張性に優れた2WAYの2Uラック型サーバです。水冷モデルもラインナップしています。
	100 人以上	処理性能、管理性を重視し、将来のサーバ増強にも備えたい	タワー / ラック兼用型サーバ TX2550 M7 ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2 ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	
Webサーバ	100 人以上 200 人以下	限定的なユーザーに対し、コストパフォーマンスよく構築したい	ラック型サーバ RX1330 M6	●RX1330 M6は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載し、高いパフォーマンスを実現する1WAYの1Uラック型サーバです。 ●ユーザー数を増加するにはロードバランサーを用いてシステム能力をあげることができます。
		既存ユーザーに必要なパフォーマンスを確保	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2	
メールサーバ	30 人未満	コストパフォーマンスを優先	タワー / ラック兼用型サーバ TX1330 M6 ラック型サーバ RX1330 M6	●TX1330 M6は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載し、高いパフォーマンスを実現する1WAYの1Uラック型サーバです。
		省スペース、低消費電力を重視	コンパクトサーバ TX1320 M6	
	30 人以上 100 人以下	信頼性と管理性を重視	タワー / ラック兼用型サーバ TX2550 M7 ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2	●TX2550 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載し、最大16TBまでメモリ搭載可能な高性能かつ拡張性に優れた4WAYラック型サーバです。 ●信頼性を重視する場合は、クラスシステムをお勧めします。
		高い信頼性、管理性、さらに拡張性も必要	ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	
データベースサーバ	中小規模	高い信頼性と管理性を重視	タワー / ラック兼用型サーバ TX2550 M7 ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	●RX4770 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載し、最大16TBまでメモリ搭載可能な高性能かつ拡張性に優れた4WAYラック型サーバです。 ●信頼性を重視する場合は、クラスシステムをお勧めします。
	中規模	高速・高性能、高い信頼性と管理性が必須	ラック型サーバ RX4770 M7	
業務アプリサーバ	30 人未満	稼働時間が一日8時間程度、ハードディスクへのアクセスが少ないアプリケーションでコストパフォーマンスを重視	タワー型サーバ TX1310 M5	●TX1310 M5は、コストパフォーマンスに優れ、オフィス利用に最適な1WAYエントリーサーバです。一日の稼働時間が8時間程度で運用できることがサーバ選定のポイントになります。 ●TX1330 M6は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載した、静音性と圧倒的な省スペースを実現するコンパクトサーバです。
		24時間365日連続運転が必要	タワー / ラック兼用型サーバ TX1330 M6	
		省スペース、低消費電力を重視	コンパクトサーバ TX1320 M6	
	30 人以上 100 人未満	信頼性、管理性を重視	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2	●RX2530 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載した標準的な2WAYの1Uラック型サーバです。水冷モデルもラインナップしています。 ●RX1440 M2は最新のAMD EPYC™ プロセッサを搭載し、高い仮想集約率、優れた低消費電力、高性能を実現し、1CPUにもかかわらず最大160コア（320スレッド）のCPUを搭載する1WAYの1Uラック型サーバです。
	100 人以上 200 人以下	高い信頼性と管理性を重視	タワー / ラック兼用型サーバ TX2550 M7 ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	
	200 人以上	高速・高性能、高い信頼性と管理性が必須	ラック型サーバ RX4770 M7	●RX4770 M7は最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載し、最大16TBまでメモリ搭載可能な高性能かつ拡張性に優れた4WAYラック型サーバです。
仮想化システム		省スペースで大規模クラウド基盤を実現したい	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2	●PRIMEFLEXは、設計済み・セットアップ済みでお客様のもとへ導入するので、ICT基盤の短期導入や安定稼働に加え、運用・増設・管理の簡略化を実現し、簡単、迅速、柔軟なICT基盤として、従来のインフラ運用における課題を解決するHClソリューションです。
		内蔵ストレージやLANやFCそれぞれ冗長搭載可能で拡張性を実現	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX2450 M2	
		テレワークの実現に向け、仮想デスクトップ基盤を導入したい	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2 RX2540 M7 / RX2450 M2	●RX1440 M2、RX2450 M2は最新のAMD EPYC™ プロセッサを搭載し、高い仮想集約率、優れた低消費電力、高性能を実現します。RX1440 M2は1CPUにもかかわらず最大160コア（320スレッド）のCPUを搭載する1WAYの1Uラック型サーバで、RX2450 M2は2CPUで合計320コア（640スレッド）を実現し、拡張性に優れた2WAYの2Uラック型サーバです。
		仮想デスクトップ基盤のアプリケーション高速化や高解像度画像処理を実現したい	コンパクトサーバ TX1320 M6 タワー / ラック兼用型サーバ TX1330 M6 ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	
		設計・最適化された仮想化基盤をスピーディーに導入したい	ハイパーコンバージドインフラストラクチャー PRIMEFLEX	●RX2530 M7は、Low Profile形状のGPUコンピューティングカードを搭載可能です。 ●RX2540 M7は、Full Height形状のGPUコンピューティングカードを最大2枚搭載可能です。
HPC/AI（人工知能）		小規模から大規模まで、既存環境でHPCを導入したい	ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2 RX2540 M7 / RX2450 M2	●GX2560 M7は、NVIDIA HGX H100(80GBモデル)を標準搭載し、最新のインテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載した2WAY GPUサーバです。水冷モデルもラインナップしています。 ●PRIMERGY CDIは、GPUなどのデバイスを共有プール化し、業務の負荷に応じてインフラを自動構築することで、リソースを無駄なく活用し、性能・電力・コストを最適化するハードウェアソリューションです。
		GPUコンピューティングのトライアルやAI（推論）を実行したい	タワー / ラック兼用型サーバ TX1330 M6 ラック型サーバ RX2530 M7 / RX1440 M2	
		本格的なGPUコンピューティングやAI（学習）を実行したい	ラック型サーバ RX2540 M7 / RX2450 M2	
		GPU標準搭載でより大規模なGPUコンピューティングを実行したい	GPU サーバ GX2560 M7	
		GPUリソースを複数のサーバで共有し、効率的に利用したい	Composable Disaggregated Infrastructure PRIMERGY CDI	

内蔵ストレージ・CPUの選定ポイント

内蔵ストレージの選定ポイント

x86サーバPRIMERGYでは、お客様のシステム環境や用途によって最適なストレージドライブを用意しております。それぞれの特性や違いをご理解いただき、目的に応じた最適なストレージドライブを選択ください。

24時間365日の連続運用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース、または高い信頼性が求められるシステムなどは、高信頼・高性能なストレージドライブ (HDD (SAS) / SSD) のご利用をお勧めします。

＜仕様・運用用途＞

	ハードディスクドライブ SATA: Serial Advanced Technology Attachment	ハードディスクドライブ BC-SATA: Business Critical SATA	ニアライン SAS	ハードディスクドライブ SAS: Serial Attached SCSI	ソリッドステート ドライブ (SSD)	PCIe SSD
インターフェース	SATA	SATA	SAS	SAS	SAS / SATA	PCI Express5.0
サイズ	3.5インチ	3.5インチ	3.5インチ	2.5インチ / 3.5インチケーシング付	2.5インチ / 3.5インチケーシング付	2.5インチ
データ転送方式	シリアル	シリアル	シリアル	シリアル	シリアル	—
コントローラーとの接続形態	Point to Point	Point to Point	Point to Point	Point to Point	Point to Point	—
ホットプラグ機構	無 / 有	無 / 有	有	有	無 / 有	無
アクセス頻度	低頻度アクセス			高頻度アクセス		
稼働時間	8時間程度	24時間365日運用 (注1)		24時間365日運用		
対応する アプリケーション (例)	少容量かつアクセス頻度の 低い用途 ・ファイルサーバ ・プリントサーバ	大容量かつアクセス頻度の低い用途 (注2) ・バックアップ時間が1日数時間程度の バックアップサーバ ・24時間運転のサーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) サーバ		高信頼システム ・データベース ・データベース基幹業務アプリケーション		データベースシステムな どでのキャッシュ用途

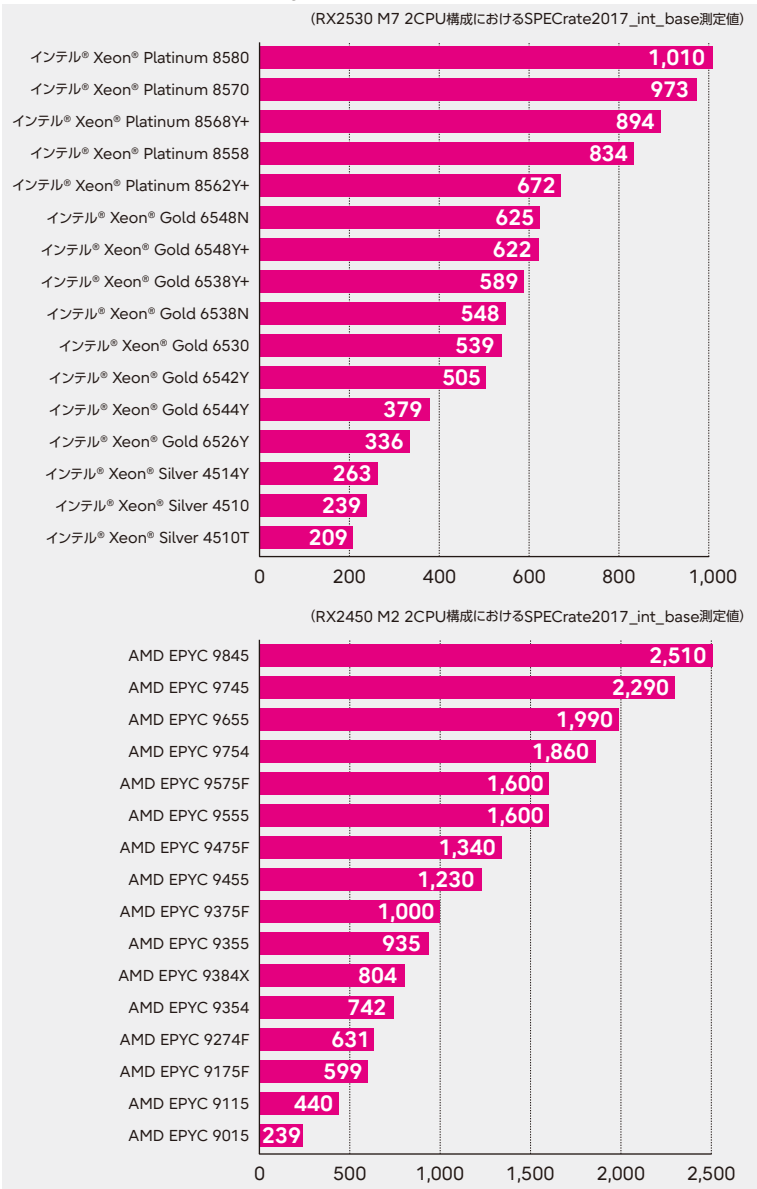
(注1) SATAとBC-SATAを混在してご使用の場合は8時間運用となります。 (注2) 24時間運用のサーバにおいて、アクセス頻度が不明な場合には、SSD/SASを選定することを推奨します。

＜留意事項＞

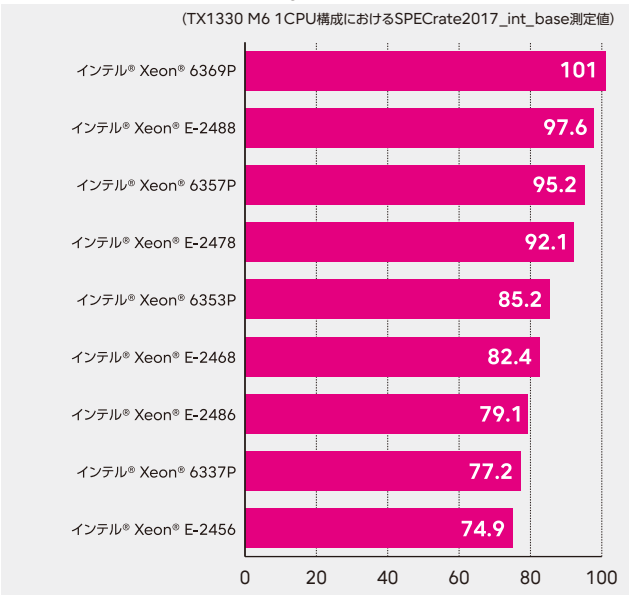
- 大容量内蔵ストレージはリビルドに長時間を要します。内蔵ストレージをアレイ構成にして故障などで交換した場合、新しい内蔵ストレージにデータを復元する「リビルド (アレイの再構築)」処理が行われます。このリビルド処理中は内蔵ストレージに冗長はありません。大容量ディスク500GBのSATAハードディスクの場合、約21時間 (無負荷時10GB当たり約25分)、1日8時間の使用で3日かかります。この間、内蔵ストレージの冗長がありませんのでご注意ください。
- 大切なデータの損失を防ぐため、内蔵ストレージのアレイ化ならびに日頃のデータのバックアップをお願いします。
- PCIe SSDの一部製品には、書き込み保証値を超えると「寿命」となる、「有寿命部品」があります。書き込まれたデータ量は、本製品の管理ソフトであるioSphereやコマンドラインツールにより確認できます。

CPUの選定ポイント

CPU別性能比較グラフ (2Way)



CPU別性能比較グラフ (1Way)



- SPECintとは、整数演算性能を計測するベンチマークです。
- CPUとメモリに集中する演算中心の複数のアプリケーションから構成されます。
- SPECrate2017_int_baseでは、一定時間内に処理される量を測定します。つまり、数字が大きいほど性能は高くなります。
- SPECintについての詳細な情報は、<http://www.spec.org/>をご覧ください。
- 上記数字には推定値も含まれます。性能の詳細な情報は、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/>をご覧ください。

PRIMERGY OS 対応表

	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7	RX1440 M2	RX2450 M2
64 ビット 版	Windows Server® 2025 Standard	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	Windows Server® 2025 Datacenter	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	Windows Server® 2025 Essentials	○	○	○		○					
	Windows Server® IoT 2025 for Storage Standard	○	○	○		○	○				
	Windows Server® 2022 Standard	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	Windows Server® 2022 Datacenter	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	Windows Server® 2022 Essentials	○	○	○		○					
	Windows Server® IoT 2022 for Storage Standard	○	○	○		○	○				
	Windows Server® 2019 Standard	○			○		○	○			
	Windows Server® 2019 Datacenter	○			○		○	○			
	Windows Server® 2019 Essentials	○			○		○				
	Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard	○									
	Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SUSE® Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VMware vSphere® ESXi 8		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VMware vSphere® ESXi 7				○	○	○	○	○	○	○

○=サポート

Windows情報につきましては<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>を参照ください。

※ Windows Server 2025の対応時期と状況については、<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2025/>をご確認ください。

Linux情報につきましては<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/linux/>を参照ください。

またサポート可能なLinuxの版数については、同HP内のLinuxサポート版数一覧表を参照ください。

VMware情報につきましては<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/vmware/>を参照ください。

またサポート可能なVMwareの版数については、同HP内のVMware ESXiサポート版数一覧表を参照ください。

サーバ構成によって、サポートOS版数に制限がある場合があります。

最新情報およびGX2560 M7水冷モデルについては、システム構成図を参照ください。<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

RX1440 M2/RX2450 M2において第 5 世代AMD EPYC™ プロセッサをご使用時はシステム構成図をご参照ください。<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

WindowsやLinux以外にもお客様にPRIMERGYをより広くご利用いただくために、PRIMERGYで正式サポートとはしていないOSを「未サポートOS」とし、動作確認をした情報を提供してまいります。

情報提供している主な「未サポートOS」: CentOS, AlmaLinux, Rocky Linux, Debian GNU/Linux, Ubuntu

詳細は<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html>をご参照ください。

記号早見表

1
WAY

CPU数
CPUの最大搭載数
※1WAY⇒CPUを最大1つ搭載可能

BC-SATA
HDD

BC-SATA HDD
BC-SATA ハードディスクに対応

冗長ファン
ホットプラグ

ホットプラグ対応冗長ファン
ファンの冗長化により、システムを継続して運転させることができます。ホットプラグに対応

●年
標準保証

●年間 翌営業日以降訪問修理
お買い上げ日より●年間、ハードウェアのトラブルに対して翌営業日以降訪問修理が受けられます。

コア

コア数
1つのCPU内に集積したCPUのコア数

PCIe
SSD

PCIe SSD
PCIe SSDに対応

タワー

タワー型
縦長の床置きタイプ

SAS
HDD

SAS HDD
SASハードディスクに対応

SATA
SSD

SATA SSD
SATA SSDに対応

タワー/
ラック

タワー/ラック兼用型
タワー型/ラックマウント型、両方に対応

ニアライン
SAS
HDD

ニアラインSAS HDD
ニアラインSASハードディスクに対応

SAS
SSD

SAS SSD
SAS SSDに対応

ラック

ラック型
ラック搭載専用型。省スペース化に優れています。

SATA
HDD

SATA HDD
SATAハードディスクに対応

冗長電源
ホットプラグ

ホットプラグ対応冗長電源
電源ユニットの冗長化により、システムダウンを防止します。ホットプラグに対応

●U

占有ユニット数
ラック搭載時の占有ユニット数

CPU一覧表

	キャッシュ メモリ	コア数	メモリ バス	DMI / UPI	Intel® Turbo Boost Technology	Intel® Hyper Threading Technology	Intel® Virtualization Technology	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7
インテル® Pentium® Gold プロセッサー																
G7400(3.70GHz)	6MB	2コア	4800MT/s	16GT/s		○	○		○	○		○				
インテル® Xeon® 6 プロセッサー																
6315P(2.80GHz)	12MB	4コア	4800MT/s	16GT/s	○		○		○	○		○				
6325P(3.50GHz)	12MB	4コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6333P(3.10GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6337P(3.50GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6349P(3.60GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6353P(2.70GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6357P(3GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
6369P(3.30GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
インテル® Xeon® E プロセッサー																
E-2414(2.60GHz)	12MB	4コア	4800MT/s	16GT/s	○		○		○	○		○				
E-2434(3.40GHz)	12MB	4コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2436(2.90GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2456(3.30GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2486(3.50GHz)	18MB	6コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2468(2.60GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2478(2.80GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
E-2488(3.20GHz)	24MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○		○	○		○				
インテル® Xeon® プロセッサー-Bronze (U)																
3508U(2.10GHz)	22.5MB	8コア	4400MT/s	—	○		○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサー-Silver																
4416+ (2GHz)	37.5MB	20コア	4000MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
4510(2.40GHz)	30MB	12コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサー-Silver (T)																
4410T(2.70GHz)	26.25MB	10コア	4000MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
4510T (2GHz)	30MB	12コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサー-Silver (Y)																
4410Y(2GHz)	30MB	12コア	4000MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
4509Y(2.60GHz)	22.5MB	8コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
4514Y(2GHz)	30MB	16コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
4516Y+(2.20GHz)	45MB	24コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサー-Gold																
5415+(2.90GHz)	22.5MB	8コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
5420+(2GHz)	52.5MB	28コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6430 (2.10GHz)	60MB	32コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6434(3.70GHz)	22.5MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
5515+(3.20GHz)	22.5MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
5520+(2.20GHz)	52.5MB	28コア	4800MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		○
6530(2.10GHz)	160MB	32コア	4800MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		○
6534(3.90GHz)	22.5MB	8コア	4800MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサー-Gold (H)																
6416H(2.20GHz)	45MB	18コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
6418H(2.10GHz)	60MB	24コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
6434H(3.70GHz)	22.5MB	8コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
6448H(2.40GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
インテル® Xeon® プロセッサー-Gold (M)																
6438M(2.20GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
インテル® Xeon® プロセッサー-Gold (N)																
5418N(1.80GHz)	45MB	24コア	4000MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
6428N(1.80GHz)	60MB	32コア	4000MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
6438N (2GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
6538N(2.10GHz)	60MB	32コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		
6548N(2.80GHz)	60MB	32コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		

CPU一覧表

	キャッシュ メモリ	コア数	メモリ バス	DMI / UPI	Intel® Turbo Boost Technology	Intel® Hyper Threading Technology	Intel® Virtualization Technology	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7
インテル® Xeon® プロセッサ Gold (S)																
5416S (2GHz)	30MB	16コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6454S (2.20GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		○
6554S (2.20GHz)	180MB	36コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサ Gold (U)																
5512U (2.10GHz)	52.5MB	28コア	4800MT/s	—	○	○	○				○		○	○		
インテル® Xeon® プロセッサ Gold (Y)																
5418Y (2GHz)	45MB	24コア	4400MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6426Y (2.50GHz)	37.5MB	16コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6438Y+ (2GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6442Y (2.60GHz)	60MB	24コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6444Y (3.60GHz)	45MB	16コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
6448Y (2.10GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○		○	○		
6526Y (2.80GHz)	37.5MB	16コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		
6538Y+ (2.20GHz)	60MB	32コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		
6542Y (2.90GHz)	60MB	24コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		○
6544Y (3.60GHz)	45MB	16コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		
6548Y+ (2.50GHz)	60MB	32コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○				○		○	○		○
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum																
8468 (2.10GHz)	105MB	48コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
8470 (2GHz)	105MB	52コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8480+ (2GHz)	105MB	56コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
8558 (2.10GHz)	260MB	48コア	5200MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		○
8570 (2.10GHz)	300MB	56コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		○
8580 (2GHz)	300MB	60コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		○
8592+ (1.90GHz)	320MB	64コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		○
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (H)																
8444H (2.90GHz)	45MB	16コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○				○	
8450H (2GHz)	75MB	28コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○				○				○	
8454H (2.10GHz)	82.5MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
8460H (2.20GHz)	105MB	40コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
8468H (2.10GHz)	105MB	48コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○								○	
8490H (1.90GHz)	1125MB	60コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○	○	
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (N)																
8470N (1.70GHz)	97.5MB	52コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (P)																
8458P (2.70GHz)	82.5MB	44コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8558P (2.70GHz)	260MB	48コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (U)																
8558U (2GHz)	260MB	48コア	4800MT/s	—	○	○	○						○	○		
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (V)																
8468V (2.40GHz)	97.5MB	48コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8581V (2GHz)	300MB	60コア	4800MT/s	—	○	○	○						○	○		
8592V (2GHz)	320MB	64コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
インテル® Xeon® プロセッサ Platinum (Y)																
8452Y (2GHz)	67.5MB	36コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8460Y+ (2GHz)	105MB	40コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8462Y+ (2.80GHz)	60MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		○
8562Y+ (2.80GHz)	60MB	32コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		
8568Y+ (2.30GHz)	300MB	48コア	5600MT/s	20GT/s	○	○	○						○	○		○
インテル® Xeon® プロセッサ Max																
9462 (2.70GHz)	75MB	32コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
9460 (2.20GHz)	97.5MB	40コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		
9468 (2.10GHz)	105MB	48コア	4800MT/s	16GT/s	○	○	○						○	○		

○=適用可能

最新情報およびGX2560 M7水冷モデルについては、システム構成図を参照ください。 <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

	キャッシュメモリ	コア数	メモリバス	RX1440 M2	RX2450 M2
AMD EPYC™ プロセッサー					
9124 (3GHz)	64MB	16コア	4800MT/s	○	○
9184X (3.55GHz)	768MB	16コア	4800MT/s	○	○
9174F (4.10GHz)	256MB	16コア	4800MT/s	○	○
9224 (2.50GHz)	64MB	24コア	4800MT/s	○	○
9254 (2.90GHz)	128MB	24コア	4800MT/s	○	
9274F (4.05GHz)	256MB	24コア	4800MT/s	○	○
9334 (2.70GHz)	128MB	32コア	4800MT/s		○
9354 (3.25GHz)	256MB	32コア	4800MT/s		○
9354P (3.25GHz)	256MB	32コア	4800MT/s	○	○
9384X (3.10GHz)	768MB	32コア	4800MT/s	○	○
9454 (2.75GHz)	256MB	48コア	4800MT/s		○
9454P (2.75GHz)	256MB	48コア	4800MT/s	○	○
9534 (2.45GHz)	256MB	64コア	4800MT/s	○	○
9554 (3.10GHz)	256MB	64コア	4800MT/s		○
9554P (3.10GHz)	256MB	64コア	4800MT/s	○	○
9634 (2.25GHz)	384MB	84コア	4800MT/s	○	○
9654 (2.40GHz)	384MB	96コア	4800MT/s		○
9654P (2.40GHz)	384MB	96コア	4800MT/s	○	○
9754 (2.25GHz)	256MB	128コア	4800MT/s	○	○
9015 (3.60GHz)	64MB	8コア	5600MT/s	○	○
9135 (3.65GHz)	64MB	16コア	5600MT/s	○	○
9355 (3.55GHz)	256MB	32コア	5600MT/s	○	○
9115 (2.60GHz)	64MB	16コア	5600MT/s	○	○
9175F (4.20GHz)	512MB	16コア	5600MT/s	○	○
9255 (3.20GHz)	128MB	24コア	5600MT/s	○	○
9275F (4.10GHz)	256MB	24コア	5600MT/s	○	○
9375F (3.80GHz)	256MB	32コア	5600MT/s	○	○
9455 (3.15GHz)	256MB	48コア	5600MT/s	○	○
9475F (3.65GHz)	256MB	48コア	5600MT/s	○	○
9555 (3.20GHz)	256MB	64コア	5600MT/s	○	○
9575F (3.30GHz)	256MB	64コア	5600MT/s	○	○
9655 (2.60GHz)	384MB	96コア	5600MT/s	○	○
9745 (2.40GHz)	256MB	128コア	5600MT/s	○	○
9845 (2.10GHz)	320MB	160コア	5600MT/s	○	○

○＝適用可能
最新情報については、システム構成図を参照ください。<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

メモリー一覧表

種類	容量	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7	RX1440 M2	RX2450 M2
3200 UDIMM (SR/DR)	8GB	○										
	16GB	○										
	32GB	○										
4800 UDIMM (SR/DR)	16GB		○	○		○						
	32GB		○	○		○						
4800 RDIMM (SR/DR)	16GB				○		○	○	○	○	○	○
	32GB				○		○	○	○	○	○	○
	64GB				○		○	○	○	○	○	○
4800 RDIMM 3DS (QR/OR)	128GB				○		○	○	○		○	○
	256GB				○		○	○	○		○	○
5600 RDIMM (SR/DR)	16GB				○		○	○			○	○
	32GB				○		○	○		○	○	○
	64GB				○		○	○		○	○	○
	96GB						○	○	○		○	○
5600 RDIMM 3DS (QR/OR)	256GB				○		○	○			○	○
6400 RDIMM (SR/DR)	16GB											○
	32GB											○
	64GB											○

○＝適用可能 SR : Single Rank、DR : Dual Rank、QR : Quad Rank、OR : Octa Rank

内蔵ストレージ一覧表

内蔵ストレージ一覧表

			回転数 (HDD)	セクター サイズ	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7	RX1440 M2	RX2450 M2
3.5 インチ	ケージ 付き SAS HDD	300GB	10krpm	512n				○		○	○				
		600GB	10krpm	512n				○		○	○				
		1.2TB	10krpm	512n				○		○	○				
		1.8TB	10krpm	512e				○		○	○				
		2.4TB	10krpm	512e				○			○				
	ニアライン SAS HDD	2TB	7.2krpm	512n			○	○	○					○	○
		4TB	7.2krpm	512n			○	○	○					○	○
		6TB	7.2krpm	512e			○	○	○					○	○
		8TB	7.2krpm	512e			○	○	○					○	○
		12TB	7.2krpm	512e			○	○	○	○	○			○	○
		16TB	7.2krpm	512e			○	○	○	○	○			○	○
		20TB	7.2krpm	512e			○	○	○	○	○			○	
	ニアライン SAS HDD (自己暗号化)	6TB	7.2krpm	512e				○						○	○
		8TB	7.2krpm	512e				○						○	○
		12TB	7.2krpm	512e				○		○	○			○	○
		16TB	7.2krpm	512e				○		○	○			○	○
		20TB	7.2krpm	512e				○		○	○			○	○
	SATA HDD	1TB	5.4krpm	512e	○	○	○								
		2TB	5.4krpm	512e	○	○	○								
	BC-SATA HDD	2TB	7.2krpm	512n	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		4TB	7.2krpm	512n	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		6TB	7.2krpm	512e	○	○	○	○	○					○	○
		8TB	7.2krpm	512e	○	○	○	○	○					○	○
	ケージ付き SATA SSD	240GB	—	—	○		○	○	○	○	○			○	○
		480GB	—	—	○		○	○	○	○	○			○	○
		960GB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		1.92TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		3.84TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		7.68TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
	ケージ付き SATA SSD (自己暗号化)	480GB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		960GB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		1.92TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		3.84TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
		7.68TB	—	—			○	○	○	○	○			○	○
	ケージ付き SAS SSD	800GB	—	—						○	○			○	○
		960GB	—	—						○	○			○	○
		1.6TB	—	—						○	○			○	○
		1.92TB	—	—						○	○			○	○
		3.2TB	—	—						○	○			○	○
		3.84TB	—	—						○	○			○	○
		6.4TB	—	—						○	○			○	○
		7.68TB	—	—						○	○			○	○
		15.36TB	—	—						○	○			○	○
	ケージ付き SAS SSD (自己暗号化)	960GB	—	—						○	○			○	○
		1.92TB	—	—						○	○			○	○
		3.84TB	—	—						○	○			○	○
		7.68TB	—	—						○	○			○	○
		15.36TB	—	—						○	○			○	○

			回転数 (HDD)	セクター サイズ	TX1310 M5	TX1320 M6	TX1330 M6	TX2550 M7	RX1330 M6	RX2530 M7	RX2540 M7	RX4770 M7	GX2560 M7	RX1440 M2	RX2450 M2
2.5 インチ	SAS HDD	300GB	10krpm	512n		○	○	○	○	○	○	○		○	○
		600GB	10krpm	512n		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1.2TB	10krpm	512n		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1.8TB	10krpm	512e		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2.4TB	10krpm	512e		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SAS HDD (自己暗号化)	300GB	10krpm	512n				○		○	○	○		○	○
		600GB	10krpm	512n				○		○	○	○		○	○
		1.2TB	10krpm	512n				○		○	○	○		○	○
		1.8TB	10krpm	512e				○		○	○	○		○	○
		2.4TB	10krpm	512e				○		○	○	○		○	○
	SATA SSD	240GB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		480GB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		960GB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1.92TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3.84TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		7.68TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SATA SSD (自己暗号化)	480GB	—	—		○	○	○	○	○	○	○		○	○
		960GB	—	—		○	○	○	○	○	○	○		○	○
		1.92TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○		○	○
		3.84TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○		○	○
		7.68TB	—	—		○	○	○	○	○	○	○		○	○
	SAS SSD	800GB	—	—				○		○	○	○		○	○
		960GB	—	—				○		○	○	○		○	○
		1.6TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		1.92TB	—	—				○		○	○	○	○	○	○
		3.2TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		3.84TB	—	—				○		○	○	○	○	○	○
		6.4TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		7.68TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		15.36TB	—	—				○		○	○	○		○	○
	SAS SSD (自己暗号化)	800GB	—	—				○		○	○	○		○	○
		960GB	—	—				○		○	○	○		○	○
		1.6TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		1.92TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		3.84TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		7.68TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		15.36TB	—	—				○		○	○	○		○	○
PCIe SSD	2.5インチ	1.6TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		1.92TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		3.2TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		3.84TB	—	—				○		○	○	○	○	○	○
		6.4TB	—	—				○		○	○	○	○	○	○
		7.68TB	—	—				○		○	○	○	○	○	○
		12.8TB	—	—				○		○	○	○		○	○
		15.36TB	—	—				○		○	○	○		○	○

○=適用可能

最新情報については、システム構成図を参照ください。 <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

TX1310 M5



オフィス利用に最適な静音性を備えた環境に優しい1WAYエントリーサーバ

■ インテル社最新CPU「インテル® Xeon® Eプロセッサ」を採用

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® Eプロセッサ」を採用。4コアから最大6コアまで選択いただけ、様々なサーバプログラムにも柔軟に対応可能です。PCI Express Gen 4にも対応し、お客様は、より多くのラインナップから用途に応じてオプション選択していただけます。

■ 高信頼メモリの採用

DDR4 3200MT/sのメモリを採用し、最大128GBのメモリを実装可能。

■ 大容量ストレージ採用による高拡張性を実現

8TB BC-SATA HDDを採用。最大で32TBまで実装可能で、高い拡張性を実現します。

■ 多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。さらに、ネットワーク接続ストレージ(NAS)アプライアンスに最適なWindows Server® IoT 2025 for Storage Standardもサポート。

■ 先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度5～45℃(オプション適用時)での動作をサポート(従来10～35℃)し、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

■ 物理的セキュリティ向上の実現

鍵付きフロントベゼルで、サーバ前面の内蔵ストレージに対する物理セキュリティをより高めることができます。

■ サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載した、Board Management Controller対応タイプを選択可能。システムボード上に搭載されている専用ハードウェアで本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンストビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

■ オフィス設置に最適な設置性と静音性

横幅18cm、奥行き31.3cmと設置スペースが小さく、机上での設置にも適しています。また、実測値約23dB(A)の静音化を実現。サーバをオフィス内に設置した場合もストレスの少ない環境をご提供します。

■ 充実のサポートメニュー

1年間の標準保証(翌営業日以降訪問修理)に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

■ 安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。

※Board Management Controller対応タイプ

また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動(アノマリ)を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

■ サーバのセットアップ作業の簡易化

セットアップ支援ツール「ServerView Installation Manager」をご利用いただく事で、ハードウェア設定やOSインストール作業をサポートします。

■ 品質と信頼性へのこだわり

日本のお客様の高い要求にお応えるために、多彩なシステム開発で培った経験と技術力をベースに、PRIMERGY本体の製造(部品受入検査・CPU組込み・装置組込み・最終組立て・出荷試験(品質管理))からサポートを、国内で実施しています。



SATA/HARDディスク注意事項

- SATA/HARDディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/HARDディスク(Business Critical)のみを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用(アプリケーションを搭載しない)ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/HARDディスク/SSDをご利用ください。(SATA/HARDディスク、BC-SATA/HARDディスクとSAS/HARDディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

仕様一覧

PRIMERGY TX1310 M5

モデル		3.5インチモデル	
形状		タワー	
プロセッサ		インテル® Xeon® E プロセッサ、最大1	
チップセット		Intel® C256	
メインメモリ		UDIMM×4、最大:128GB (32GB×4)	
グラフィックス		32ビットカラー:1920×1200	
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×4 [ホットプラグ非対応]
		最大搭載容量	3.5インチSATA HDD:32TB 3.5インチSATA SSD:1.92TB
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB
ODD		オプション (ODDベイ)、最大1	
内蔵バックアップ装置		オプション (アクセス可能なドライブベイ)、最大1	
拡張スロット		拡張バススロットの数・種類はモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。	
ストレージコントローラ		標準搭載 [オンボードSATAコントローラ]、オプション [SASコントローラカード、SASアレイコントローラカード]	
ネットワーク		2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 択一)	
インターフェース		DisplayPort×1 [背面] シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] USB×9 [USB3.2 (Gen2x2 Type C:前面×1 / Gen1x1 Type A:前面×1 / Gen2x1 Type A:背面×2 / Gen1x1:内部×1)、USB2.0 Type A:背面×4] ※以下はBoard Management Controller対応タイプのみ VGAポート×1 [背面]、Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 択一)	
リモート監視機能		iRMC ※Board Management Controller対応タイプのみ	
統合管理機能		Infrastructure Manager (オプション)	
セキュリティチップ		TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)	
電源		標準搭載 [250W (80PLUS® Gold、AC100/200V)]:1 (最大1)	
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)		AC200V:437VA / 284W / 1,022.0kJ/h、AC100V:454VA / 274W / 986.0kJ/h	
ファン		冗長不可	
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)		18.4 (区分1)	
外形寸法 [W×D×H]		180×313×374 [mm]、梱包箱417×502×325 [mm]	
質量		約7~11kg	
環境条件	動作時	周囲温度:10~35℃ (オプション適用時:5~45℃) / 湿度:10~85% (ただし結露しないこと)	
	保管時	周囲温度:-25~60℃ / 湿度:10~85% (ただし結露しないこと)	
サポートOS		WS25S / WS25D / WS25E / WSI25SS / WS22S / WS22D / WS22E / WSI22SS / WS19S / WS19D / WS19E / WSI19SS / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64)	
標準保証		1年間翌営業日以降訪問修理 (月曜~金曜、9:00~17:00 (祝日および年末年始を除く))	

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約23dB (A) の静音化を実現し、オフィス内設置に適しております。

ただし、ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、ご注意ください。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリ一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



インテル® Xeon® E プロセッサ

TX1320 M6

280W電源
500W電源

500W電源

1
WAY最大
8コア2.5"
SAS
HDD2.5"
SATA
SSD3.5"
SATA
HDD3.5"
BC-SATA
HDD

タワー

1年
標準保証

約21dB (A)の静音性と圧倒的な省スペースを実現し、オフィス利用に最適な1WAYコンパクトサーバ

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー 6300シリーズ」を採用

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー6300シリーズ」を採用。4コアから最大8コアまで選択いただけ、様々なサーバプログラムにも柔軟に対応可能です。また、「インテル® Xeon® Eプロセッサー」や、「インテル® Pentium® Gold G7400プロセッサー」も搭載可能で、幅広い用途にご利用可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様のは、より多くのラインナップから用途に応じてオプション選択していただけます。

高速メモリを採用し、128GBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sを採用し、最大128GBのメモリを実装可能。

用途に応じて内蔵ストレージの選択が可能

高信頼で耐障害性の高いSAS HDDと、コストパフォーマンスの高いSATA HDD、読み出し/書き込み性能、低消費電力に優れたSATA SSDを採用。最大で61.44TBまで実装可能です。お客様の用途に応じて選択していただけます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

多様なOS ラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。さらに、ネットワーク接続ストレージ (NAS) アプリケーションに最適なWindows Server® IoT 2025 for Storage Standardもサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度5〜45℃ (オプション適用時)での動作をサポート (従来10〜35℃)し、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。

防塵フィルタオプションで、より安定した稼働の実現

防塵フィルタオプションで、埃等の吸入を低減でき、より安定した稼働を実現できます。

※防塵フィルタは、お客様による定期的な掃除/お手入れ等が必須になります。詳細はマニュアルを参照ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

オフィス設置に最適な設置性と静音性

98×400×340 [mm]という圧倒的な省スペース化を実現。また、実測値約21dB (A)という静音化を実現し、オフィス設置に最適な設計です。

※GPGPUやNVMe接続のFlashモジュールを搭載しない標準的な構成においては動作時で約21dB (A)の静音化を実現。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium (AC200Vのみ) 認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

充実のサポートメニュー

1年間の標準保証 (翌営業日以降訪問修理) に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動 (アノマリ) を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

品質と信頼性へのこだわり

日本のお客様の高い要求にお応えるために、多彩なシステム開発で培った経験と技術力をベースに、PRIMERGY本体の製造 (部品受入検査・CPU組込み・装置組込み・最終組立て・出荷試験 (品質管理)) からサポートを、国内で実施しています。



仕様一覧

PRIMERGY TX1320 M6

モデル			3.5インチモデル / 2.5インチモデル		
形状			タワー		
プロセッサ			インテル® Pentium® Gold プロセッサ / インテル® Xeon® E プロセッサ / インテル® Xeon® 6 プロセッサ-6300シリーズ、最大1		
チップセット			Intel® C266		
メインメモリ			UDIMM×4、最大:128GB (32GB×4)		
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×2 [ホットプラグ非対応] 2.5インチ×8 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	3.5インチ:16TB (BC-SATA HDD) 2.5インチ:19.2TB (SAS HDD) /61.44TB (SATA SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
ODD			オプション (ODDベイ)、最大1		
内蔵/バックアップ装置			オプション (RDXドライブベイ)、最大1		
拡張スロット			1×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x16コネクター) * 1×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x8コネクター) * 2×Low Profile PCI Express 4.0 x4 (x4コネクター) *2×Low Profile PCI Express 5.0 x8または1×Low Profile PCI Express 5.0 x16にPCIe構成を切替可能です。		
ストレージコントローラ			標準搭載 [オンボードSATAコントローラ]、オプション [SASコントローラカード、SASアレイコントローラカード]		
ネットワーク			標準搭載 [2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応)]		
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面]、 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] [背面]、 USB×9 [USB3.2 (Gen2x2 Type C:前面×1 / Gen1 Type A:前面×1、背面×6 / Gen1:内部×1)]、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応)		
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			標準搭載 280W (80PLUS® Platinum、AC100/200V) :1 (最大1) または 500W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応)		
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			[280W電源] AC200V:300VA / 294W / 1,058.4kJ/h、AC100V:310VA / 304W / 1,094.4kJ/h [500W電源] AC200V:461VA / 459W / 1,652.4kJ/h、AC100V:479VA / 477W / 1,717.2kJ/h		
内蔵/バッテリー			オプション (ホットプラグ対応) ※電源冗長ベースユニットのみ選択可能		
ファン			標準搭載、冗長不可		
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			24.9 (区分1)		
外形寸法 [W×D×H]			98 (193 (フット含む)) ×400 [440 (突起部含む)] ×340 [360 (フット含む)] [mm]、梱包箱417×509×219 [mm]		
質量			最大11.4kg		
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ (オプション適用時:5～45℃) / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度:－25～70℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS			WS25S / WS25D / WS25E / WSI25SS / WS22S / WS22D / WS22E / WSI22SS / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8		
標準保証			1年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約18dB (A) ~約49dB (A) となります。

GPGPUやNVMe接続のFlash モジュールを搭載しない標準的な構成においては動作時で約21dB (A) の静音化を実現し、オフィス内設置に適しております。

ただし、ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、ご注意ください。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリ一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



インテル® Xeon® 6 プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

TX1330 M6



内蔵ストレージを最大240TBまで実装可能で、静音性と拡張性を実現する1WAYタワー/ラック型サーバ

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー 6300シリーズ」を採用

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー6300シリーズ」を採用。4コアから最大8コアまで選択いただけ、様々なサーバプログラムにも柔軟に対応可能です。また、「インテル® Xeon® Eプロセッサー」や、「インテル® Pentium® Gold G7400プロセッサー」も搭載可能で、幅広い用途にご利用可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様は、より多くのラインナップから用途に応じてオプション選択していただけます。

高速メモリを採用し、128GBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sを採用し、最大128GBのメモリを実装可能。

用途に応じて内蔵ストレージの選択が可能

高信頼で耐障害性の高いSAS HDDと、コストパフォーマンスの高いSATA HDD、読み出し/書き込み性能、低消費電力に優れたSATA SSDを採用。最大で240TBまで実装可能です。お客様の用途に応じて選択していただけます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージペイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

多様なOS ラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。さらに、ネットワーク接続ストレージ (NAS) アプリケーションに最適なWindows Server® IoT 2025 for Storage Standardもサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度5~45℃(オプション適用時)での動作をサポート(従来10~35℃)し、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。

防塵フィルタオプションで、より安定した稼働の実現

防塵フィルタオプションで、埃等の吸入を低減でき、より安定した稼働を実現できます。

※防塵フィルタは、お客様による定期的な掃除/お手入れ等が必須になります。詳細はマニュアルを参照ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium (AC200Vのみ) 認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

充実のサポートメニュー

1年間の標準保証(翌営業日以降訪問修理)に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動(アノマリ)を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

品質と信頼性へのこだわり

日本のお客様の高い要求にお応えするために、多彩なシステム開発で培った経験と技術力をベースに、PRIMERGY本体の製造(部品受入検査・CPU 組込み・装置組込み・最終組立て・出荷試験(品質管理))からサポートを、国内で実施しています。



仕様一覧

PRIMERGY TX1330 M6

モデル			3.5インチモデル / 2.5インチモデル		
形状			タワー / ラックマウント		
プロセッサ			インテル® Pentium® Gold プロセッサ / インテル® Xeon® E プロセッサ / インテル® Xeon® 6 プロセッサ-6300シリーズ、最大1		
チップセット			Intel® C266		
メインメモリ			UDIMM×4、最大:128GB (32GB×4)		
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×12 (オプション適用時) [ホットプラグ対応] 2.5インチ×24 (オプション適用時) [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	3.5インチ:240TB (ニアラインSAS HDD) /96TB (SATA HDD) /92.16TB (SATA SSD) 2.5インチ:57.6TB (SAS HDD) /184.32TB (SATA SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
内蔵バックアップ装置 / ODD			オプション (アクセス可能なドライブベイ)、最大3		
拡張スロット			1×Full Height/Half Length PCI Express 5.0 x8 (x16コネクタ) * 1×Full Height/Half Length PCI Express 5.0 x8 (x8コネクタ) * 1×Full Height/Half Length PCI Express 4.0 x4 (x4コネクタ) * * 2×Low Profile PCI Express 5.0 x8または1×Low Profile PCI Express 5.0 x16にPCIe構成を切替可能です。		
ストレージコントローラ			標準搭載 [オンボードSATAコントローラ]、オプション [SASコントローラカード、SASアレイコントローラカード]		
ネットワーク			標準搭載 [2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T折一)]		
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面]、シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] [背面]、 USB×9 [USB3.2 (Gen2x2 Type C:前面×1 / Gen1 Type A:前面×1、背面×6 / Gen1:内部×1)]、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T折一)		
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			標準搭載 [450W (80PLUS® Platinum、AC100/200V)]:1 (最大1) または 500W / 900W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W / 900W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応)		
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			[450W] の場合:AC200V:474VA / 465W / 1,674.0kJ/h、AC100V:491VA / 481W / 1,731.6kJ/h [500W/900W] の場合:AC200V:494VA / 492W / 1,771.2kJ/h、AC100V:509VA / 507W / 1,825.2kJ/h		
内蔵バッテリー			オプション (ホットプラグ対応) ※電源冗長ベースユニットのみ選択可能		
ファン			標準搭載 (ホットプラグ非対応) ※電源冗長ベースユニットのみ冗長対応		
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			21.3 (区分1)		
外形寸法 [W×D×H]	タワー	178×534 [548 (突起部含む)] ×448 [457 (突起部含む)] [mm]、梱装箱550×706×360 [mm]			
	ラックマウント	448 [484 (突起部含む)] ×505 [543 (突起部含む)] ×175 (4U) [mm]、梱装箱546×796×400 [mm]			
質量	タワー	最大28.8kg			
	ラックマウント	最大25.8kg [31.3kg (ラックレール含む)]			
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ (オプション適用時:5～45℃) / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度:-25～70℃ (オプション適用時:5～45℃) / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS			WS25S / WS25D / WS25E / WSI25SS / WS22S / WS22D / WS22E / WSI22SS / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8		
標準保証			1年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約20dB (A)～約50dB (A) となります。

GPGPUやNVMe接続のFlash モジュールを搭載しない標準的な構成においては動作時で約26dB (A) の静音化を実現し、オフィス内設置に適しております。

ただし、ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、ご注意ください。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



インテル® Xeon® 6 プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

TX2550 M7



4Uフルサイズ筐体ならではの拡張性でコストパフォーマンスにも優れ
お客様のデジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適な2WAYタワー/ラック型サーバ

インテル社最新CPU「第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ」を採用

インテル社の第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサに加え、最新の第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサをラインナップ、最大36コアのCPUを2個まで搭載可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様は多くのラインナップから用途に応じてオプション選択いただけます。仮想化基盤を始め、昨今のテレワークを実現する仮想デスクトップシステム、高性能が求められるデータベースやAIシステム等、お客様のデジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適です。

大容量、高速メモリを採用し、最大4TBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sおよび5600MT/sに対応（搭載CPUにより異なります）。最大4TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

読み出し性能、低消費電力に優れたSSD、高信頼で耐障害性の高いSAS HDDと、コストパフォーマンスの高いSATA HDD、高速転送に優れたPCIe SSDを採用し、最大で491.52TBまで実装可能。用途に応じて選択していただけます。ホットプラグ対応のため、万が一の故障時にもシステムの運用中に交換可能です。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium (AC200Vのみ) 認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMware vSphere 7/8もサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度10～35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上を実現したデザインを採用

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化する事により、異なる機種種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。自己暗号化機能付きの内蔵ストレージおよびSASアレイコントローラカードをご提供。内蔵ストレージの暗号化機能によりCPUに負荷をかけずにデータの暗号化が可能。また、TPM2.0 (TCG準拠)に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理をスムーズに行い、GPGPU機能や仮想GPU技術を活用したvGPUを実現するGPUカードを提供。タワー型サーバにGPUコンピューティングカードを搭載することで、サーバラックのない環境でのAIワークロードを実行し、エッジコンピューティングの適用範囲の拡大を実現します。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

仕様一覧

PRIMERGY TX2550 M7

モデル			3.5インチ (x4/x8) モデル / 2.5インチ (x8/x24) モデル
形状			タワー / ラックマウント
プロセッサー			第 4 世代 および 第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー・ファミリー、最大2
チップセット			Intel® C741
メインメモリ			RDIMM / RDIMM 3DS×16、最大:4096GB (256GB×16)
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×12 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×32 [ホットプラグ対応]
		最大搭載容量	3.5インチ:28.8TB (SAS HDD) /240TB (ニアラインSAS HDD) /96TB (BC-SATA HDD) /92.16TB (SATA SSD) 2.5インチ:76.8TB (SAS HDD) /491.52TB (SAS SSD) /245.76TB (SATA SSD) /122.88TB (PCIe SSD)
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB
内蔵/バックアップ装置 / ODD			オプション (アクセス可能なドライブベイ)、最大3
拡張スロット			6×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクタ)
ストレージコントローラ			標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]
ネットワーク			標準搭載 [2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折一)]
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [前面:1 (オプション) / 背面:1]、 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン]、USB×6 (USB3.1: 前面×2 / 背面×4)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折一)
リモート監視機能			iRMC
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)
電源			500W / 900W / 1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W / 900W / 1600W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応)
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:3,157VA / 3,094W / 11,137kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h
ファン			冗長、ホットプラグ対応
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			29.0 (区分2)
外形寸法 [W×D×H]	タワー	177×763 [776 (突起部含む)] ×456 [mm]、梱包箱546×949×360 [mm]	
	ラックマウント	448 [483 (突起部含む)] ×734 [772 (突起部含む)] ×175 (4U) [mm]、梱包箱546×949×400 [mm]	
質量	タワー	最大41.9kg	
	ラックマウント	最大38.8kg [43.3kg (ラックレール含む)]	
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)	
	保管時	周囲温度:－20～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)	
サポートOS			WS25S / WS25D / WS22S / WS22D / WS19S / WS19D / WS19E / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約26dB (A) ～約69dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置を推奨いたします。

オフィスへの設置の際には、設置環境に十分ご注意ください。ご購入をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX1330 M6



400W電源
500W電源
900W電源



高信頼性と低消費電力を実現した高さ1Uのラック型サーバ

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー 6300シリーズ」を採用

インテル社最新CPU「インテル® Xeon® 6 プロセッサー6300シリーズ」を採用。4コアから最大8コアまで選択いただけ、様々なサーバプログラムにも柔軟に対応可能です。また、「インテル® Xeon® Eプロセッサー」や、「インテル® Pentium® Gold G7400プロセッサー」も搭載可能で、幅広い用途にご利用可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様は、より多くのラインナップから用途に応じてオプション選択していただけます。

高速メモリを採用し、128GBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sを採用し、最大128GBのメモリを実装可能。

用途に応じて内蔵ストレージの選択が可能

高信頼で耐障害性の高いSAS HDDと、コストパフォーマンスの高いBC-SATA HDD、読み出し/書き込み性能、低消費電力に優れたSATA SSDを採用。最大で80TBまで実装可能です。お客様の用途に応じて選択していただけます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

多様なOS ラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。さらに、ネットワーク接続ストレージ (NAS) アプリケーションに最適なWindows Server® IoT 2025 for Storage Standardもサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度5～45℃（オプション適用時）での動作をサポート（従来10～35℃）し、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種の実用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。また、鍵付きフロントベゼルオプションで、ラック型サーバ前面の内蔵ストレージに対する物理セキュリティをより高めることができます。

省スペースで柔軟なシステム構成が可能

省スペースで柔軟なシステム構成を実現します。例えば、同一ラック内にWebサーバやPROXYサーバ等のインターネットシステムを構築したり、アプリケーションサーバに対するフロントエンドサーバとしてスケーラブルなシステムを構築することができます。

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium (AC200Vのみ) 認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

充実のサポートメニュー

1年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

品質と信頼性へのこだわり

日本のお客様の高い要求にお応えするために、多種多様なシステム開発で培った経験と技術力をベースに、PRIMERGY本体の製造（部品受入検査・CPU組込み・装置組込み・最終組立て・出荷試験（品質管理））からサポートを、国内で実施しています。



仕様一覧

PRIMERGY RX1330 M6

モデル			3.5インチ (x4) モデル / 2.5インチ (x8/x10) モデル		
形状			ラックマウント		
プロセッサ			インテル® Pentium® Gold プロセッサ / インテル® Xeon® E プロセッサ / インテル® Xeon® 6 プロセッサ-6300シリーズ、最大1		
チップセット			Intel® C266		
メインメモリ			UDIMM×4、最大:128GB (32GB×4)		
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×4 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×10 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	3.5インチ:80TB (ニアラインSAS HDD) /32TB (BC-SATA HDD) /30.72TB (SATA SSD) 2.5インチ:24TB (SAS HDD) /76.8TB (SATA SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
ODD			—		
拡張スロット			2×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x8コネクター) 1×Low Profile PCI Express 4.0 x4 (x4コネクター) オプションのライザーカードを手配することでPCIe構成を変更可能です。		
ストレージコントローラ			標準搭載 [オンボードSATAコントローラ]、オプション [SASコントローラカード、SASアレイコントローラカード]		
ネットワーク			標準搭載 [2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 取—)]		
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面:1] ※3.5インチモデル、2.5インチ (x8) モデルはオプションで [前面:1] を追加可能 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] [背面] USB×7 [USB3.2 (Gen2x2 Type C:前面×1 / Gen1 Type A:前面×2 / Gen1 Type A:背面×4)] ※2.5インチ (x10) モデルはUSB×6 [USB3.2 (Gen1 Type A:前面×2 / Gen1 Type A:背面×4)] Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 取—)		
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			標準搭載 [400W (80PLUS® Platinum、AC100/200V)]:1 (最大1) または 500W / 900W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W / 900W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応)		
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			[400W電源] AC200V:400VA / 392W / 1,411.2kJ/h、AC100V:413VA / 405W / 1,458.0kJ/h [500W/900W電源] AC200V:480VA / 478W / 1,720.8kJ/h、AC100V:496VA / 494W / 1,778.4kJ/h		
内蔵型バッテリー			オプション (ホットプラグ対応) ※電源冗長ベースユニットのみ搭載可		
ファン			標準搭載 (ホットプラグ非対応) ※電源冗長ベースユニットのみ冗長対応		
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			22.0 (区分1)		
外形寸法 [W×D×H]			436 [483 (突起部含む)] ×556 [612 (突起部含む)] ×43 (1U) [mm]、梱包箱546×891×194 [mm]		
質量			最大13.1kg [17.7kg (ラックレール含む)]		
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ (オプション適用時:5～45℃) / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度:－25～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS			WS25S / WS25D / WS25E / WSI25SS / WS22S / WS22D / WS22E / WSI22SS / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) vS8		
標準保証			1年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約21dB (A) ~ 約50dB となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置を推奨いたします。
オフィスへの設置の際には、設置環境に十分ご注意のうえ、ご導入をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



インテル® Xeon® 6 プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX2530 M7



500W電源
900W電源
1600W電源
2200W電源

500W電源
900W電源
1600W電源
2400W電源



1Uの筐体ながら、優れた性能・拡張性、高密度省スペースでお客様システムの更なる高速化を実現し、お客様のデジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適な2WAYラック型サーバ

インテル社最新CPU「第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ」を採用

インテル社最新の第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを採用、最大64コアのCPUを2個まで搭載可能。PCI Express Gen5にも対応し、多くのラインナップからオプション選択可能。仮想化基盤を始め、テレワークを実現する仮想デスクトップシステム、高性能が求められるデータベースやAIシステム等、デジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適です。

筐体の新設計により消費電力を削減しTCO削減に貢献

冷却ファンを含めた消費電力の最適化のためサーバ筐体内のレイアウトを再設計。冗長電源の両側配置によりエアフローの改善を行い、サーバ内部に熱だまりができないような設計で、効率的なエアフローでサーバ内を冷却し、TCO削減と安定稼働を実現します。

大容量、高速メモリを採用し、最大8TBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sおよび5600MT/sに対応（搭載CPUにより異なります）。最大8TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

大容量（15.36TB）SSDに対応し、最大容量153.6TBと高い拡張性を実現。高信頼で耐障害性の高いSAS HDD、読み出し性能、低消費電力に優れたSSD、高速転送に優れたPCIe SSDを採用、用途に応じて選択できます。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium（AC200Vのみ）認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能（Resilient File System（ReFS））や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9 およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMware vSphere 7/8もサポートし、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

先進の技術で省電力化を実現

周囲温度10～35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進。オプションで、周囲温度の拡張が可能で、データセンターや企業において空調などのファシリティ設備全体を含め、大幅な省電力化が可能となります。

水冷モデルをラインナップ

水冷モデルは、発熱の大きいCPUを水冷モジュールを使用して冷却します。これにより、一般モデル（空冷）に比べてCPUをより効率よく冷却することができ、高いパフォーマンスでの安定稼働が可能となります。

Short Depth筐体をラインナップ

通常のRX2530 M7より奥行きが短い728mmのShort Depth筐体をラインナップ（通常モデル808mm）。これにより、奥行き短いサーバラックに対してでも搭載可能となる場合があります。

※奥行き短いサーバラックへの搭載可否については、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/>をご参照ください。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。また、鍵付きフロントベゼルオプションで、ラック型サーバ前面の内蔵ストレージに対する物理セキュリティをより高めることができます。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」（以下ISM）をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。自己暗号化機能付きの内蔵ストレージおよびSASアレイコントローラカードをご提供。内蔵ストレージの暗号化機能によりCPUに負荷をかけずにデータの暗号化が可能。また、TPM2.0（TCG準拠）に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

※RX2530 M7に搭載可能なPCIeカードはLow Profileとなります。

仕様一覧

PRIMERGY RX2530 M7

モデル	3.5インチ (x4) モデル / 2.5インチ (x8/x10) モデル				
形状	ラックマウント				
プロセッサ	第 4 世代 および 第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ・ファミリー、最大2				
チップセット	Intel® C741				
メインメモリ	RDIMM / RDIMM 3DS×32、最大:8192GB (256GB×32)				
グラフィックス	32ビットカラー:1920×1200				
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×4 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×10 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	3.5インチ:7.2TB (SAS HDD) /80TB (ニアラインSAS HDD) /16TB (BC-SATA HDD) /61.44TB (SAS SSD) /30.72TB (SATA SSD) 2.5インチ:24TB (SAS HDD) /153.6TB (SAS SSD) /76.8TB (SATA SSD) /153.6TB (PCIe SSD)		
	リア	形状/最大搭載数	2.5インチ×2 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	2.5インチ:4.8TB (SAS HDD) /30.72TB (SAS SSD) /15.36TB (SATA SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
ODD	－				
拡張スロット	拡張バススロットの数・種類はモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。				
ストレージコントローラ	標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]				
ネットワーク	標準搭載 [1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折－)]				
インターフェース	ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面: 1]、シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン]、USB×4 (USB3.0: 前面×2 / 背面×2)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折－)				
リモート監視機能	iRMC				
統合管理機能	Infrastructure Manager (オプション)				
セキュリティチップ	TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)				
電源	500W / 900W / 1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W / 900W / 1600W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1300W (-48V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1600W (380V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応)				
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)	AC200V:2,635VA / 2,608.6W / 9,391kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h				
ファン	冗長、ホットプラグ対応				
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)	29.7 (区分2)				
外形寸法 [W×D×H]	435 [483 (突起部含む)] ×808 [871 (突起部含む)] ×43 (1U) [mm]、梱包箱600×1030×224 [mm] 435 [483 (突起部含む)] ×728 [792 (突起部含む)] ×43 (1U) [mm]、梱包箱600×1030×224 [mm] (Short Depth筐体モデル)				
質量	最大22.4kg [26.6kg (ラックレール含む)] 最大20.5kg [24.2kg (ラックレール含む)] (Short Depth筐体モデル)				
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度:－25～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS	WS25S / WS25D / WS22S / WS22D / WS19S / WS19D / WS19E / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7				
標準保証	3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))				

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約52dB (A) ~約74dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※水冷モデルの詳細はシステム構成図をご参照ください。 <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリ一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX2540 M7



500W電源
900W電源
1600W電源
2200W電源

500W電源
900W電源
1600W電源
2400W電源



充実した機能により高性能・高信頼とお客様システムの更なる高速化を実現し、
お客様のデジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適な2WAYラック型サーバ

インテル社最新CPU「第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ」を採用

インテル社最新の第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを採用、最大64コアのCPUを2個まで搭載可能。PCI Express Gen5にも対応し、多くのラインナップからオプション選択可能。仮想化基盤を始め、テレワークを実現する仮想デスクトップシステム、高性能が求められるデータベースやAIシステム等、デジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適です。

筐体の新設計により消費電力を削減しTCO削減に貢献

冷却ファンを含めた消費電力の最適化のためサーバ筐体内のレイアウトを再設計。冗長電源の両側配置によりエアフローの改善を行い、サーバ内部に熱だまりができないような設計で、効率的なエアフローでサーバ内を冷却し、TCO削減と安定稼働を実現します。

大容量、高速メモリを採用し、最大8TBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sおよび5600MT/sに対応（搭載CPUにより異なります）。最大8TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

大容量（15.36TB）SSDに対応し、最大容量368.64TBを実現。高信頼で耐障害性の高いSAS HDD、読み出し性能、低消費電力に優れたSSD、高速転送に優れたPCIe SSDを採用、用途に応じて選択できます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium（AC200Vのみ）認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能（Resilient File System（ReFS））や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMware vSphere 7/8もサポートし、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

水冷モデルをラインナップ

水冷モデルは、発熱の大きいCPUを水冷モジュールを使用して冷却します。これにより、一般モデル（空冷）に比べてCPUをより効率よく冷却することができ、高いパフォーマンスでの安定稼働が可能となります。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度10～35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。また、鍵付きフロントベゼルオプションで、ラック型サーバ前面の内蔵ストレージに対する物理セキュリティをより高めることができます。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」（以下ISM）をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。自己暗号化機能付きの内蔵ストレージおよびSASアレイコントローラカードをご提供。内蔵ストレージの暗号化機能によりCPUに負荷をかけずにデータの暗号化が可能。また、TPM2.0（TCG準拠）に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション「GPUカード」を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

仕様一覧

PRIMERGY RX2540 M7

モデル			3.5インチ (x6/x10/x12) モデル / 2.5インチ (x8/x16/x24) モデル		
形状			ラックマウント		
プロセッサ			第 4 世代 および 第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ・ファミリー、最大2		
チップセット			Intel® C741		
メインメモリ			RDIMM / RDIMM 3DS×32、最大:8192GB (256GB×32)		
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×12 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×24 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	3.5インチ:28.8TB (SAS HDD) /240TB (ニアラインSAS HDD) /48TB (BC-SATA HDD) /184.32TB (SAS SSD) /92.16TB (SATA SSD) 2.5インチ:57.6TB (SAS HDD) /368.64TB (SAS SSD) /184.32TB (SATA SSD) /368.64TB (PCIe SSD)		
	リア	形状/最大搭載数	2.5インチ×6 [ホットプラグ対応]		
		最大搭載容量	2.5インチ:14.4TB (SAS HDD) /92.16TB (SAS SSD) /46.08TB (SATA SSD) /92.16TB (PCIe SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flashモジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
ODD			詳細はシステム構成図をご参照ください。		
内蔵バックアップ装置			詳細はシステム構成図をご参照ください。		
拡張スロット			拡張バススロットの数・種類はモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。		
ストレージコントローラ			標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]		
ネットワーク			標準搭載 [1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折一)]		
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面] ※一部モデルはオプション適用でVGAポート×1 [前面] を追加可能 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] USB×4 (USB3.0:前面×2 / 背面×2)、Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折一)		
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			500W / 900W / 1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 500W / 900W / 1600W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1300W (-48V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1600W (380V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応)		
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:2,635VA / 2,608.6W / 9,391kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h		
ファン			冗長、ホットプラグ対応		
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			30.1 (区分2)		
外形寸法 [W×D×H]			435 [483 (突起部含む)] ×812 [873 (突起部含む)] ×87 (2U) [mm]、梱包箱600×1030×280 [mm]		
質量			最大35.0kg [39.1kg (ラックレール含む)]		
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度: -25～60℃ / 湿度: 8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS			WS25S / WS25D / WSI25SS / WS22S / WS22D / WSI22SS / WS19S / WS19D / WS19E / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7		
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約53dB (A) ～約78dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※水冷モデルの詳細はシステム構成図をご参照ください。 <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリ一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX4770 M7



1600W電源
2200W電源

1600W電源
2400W電源



大規模な仮想化、インメモリデータベースに最適な高いパフォーマンスと十分な拡張性、信頼性を備え、お客様のデジタルイノベーションを支える4WAYラック型サーバ

インテル社CPU「第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ」を採用

3Uの筐体にインテル社の第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを採用、最大60コアのCPUを4個まで搭載可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様は多くのラインナップから用途に応じてオプション選択いただけます。仮想化基盤を始め、高性能が求められるデータベースやAIシステム等、お客様のデジタルイノベーションを支える幅広い用途に最適です。

大容量、高速メモリを採用し、最大16TBまで搭載可能

データ転送速度は4800MT/sに対応。最大16TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

内蔵ストレージベイ数は最大24で、大容量(15.36TB) SSDに対応することで、最大容量368.64TBと高い拡張性を実現。高信頼で耐障害性の高いSAS HDD、読み出し性能、低消費電力に優れたSSD、高速転送に優れたPCIe SSDを採用、お客様の用途に応じて選択していただけます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium (AC200Vのみ) 認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能(Resilient File System (ReFS))や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9 およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

サーバ管理機能の拡充

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度10~35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上のデザイン採用と物理的セキュリティ向上の実現

稼働状況を目視するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化することにより、異なる機種種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。また、鍵付きフロントベゼルオプションで、ラック型サーバ前面の内蔵ストレージに対する物理セキュリティをより高めることができます。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証(翌営業日以降訪問修理)に対応。さらに、当日中の訪問修理やリモート通報による予防保守などを実施する運用・保守サービス「SupportDesk」をご用意。充実したサービス内容でお客様システムの安定稼働を支えます。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」(以下ISM)をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動(アノマリ)を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。また、TPM2.0 (TCG準拠)に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

高解像度画像処理やGPUコンピューティングを実現

高解像度画像処理やGPGPU用途、さらに仮想GPU技術を活用したvGPUとして利用可能なGPUカードを提供。

※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション「GPUカード」を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

仕様一覧

PRIMERGY RX4770 M7

モデル		2.5インチ (x8/x24) モデル	
形状		ラックマウント	
プロセッサ		第 4 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ・ファミリー	
チップセット		Intel® C741	
メインメモリ		RDIMM / RDIMM 3DS×64、最大:16384GB (256GB×64)	
グラフィックス		32ビットカラー:1920×1200	
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	2.5インチ×24 [ホットプラグ対応]
		最大搭載容量	SAS HDD:57.6TB SAS SSD:368.64TB SATA SSD:184.32TB PCIe SSD:368.64TB
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB
ODD		オプション (ODDベイ)、最大1	
拡張スロット		4×Full Height/Half Length PCI Express 5.0 x16 (x16 コネクター) 4×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16 コネクター) 2×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x16 コネクター) 1×OCP (LANカード専用)	
ストレージコントローラ		標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]	
ネットワーク		標準搭載 [1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 取—)]	
インターフェース		ディスプレイ (VGAポート)×1 [前面:1 (オプション) / 背面:1]、 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] [背面]、 USB×4 (USB3.1:前面×2 / 背面×2)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 取—)	
リモート監視機能		iRMC	
統合管理機能		Infrastructure Manager (オプション)	
セキュリティチップ		TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)	
電源		1600W (80PLUS® Platinum, AC100/200V、最大3、冗長、ホットプラグ対応) 1600W (80PLUS® Titanium, AC200V、最大3、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum, AC200V、最大3、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium, AC200V、最大3、冗長、ホットプラグ対応)	
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)		AC200V:3,776VA / 3,700W / 13,320kJ/h、AC100V:2,505VA / 2,480W / 8,928kJ/h	
ファン		冗長、ホットプラグ対応	
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)		24.9 (区分3)	
外形寸法 [W×D×H]		435 [483 (突起部含む)] ×800 [859 (突起部含む)] ×130 (3U) [mm]、梱包箱600×1030×320 [mm]	
質量		最大38.6kg [42.74kg (ラックレール含む)]	
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)	
	保管時	周囲温度:－25～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)	
サポートOS		WS25S / WS25D / WS22S / WS22D / WS19S / WS19D / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7	
標準保証		3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))	

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約65dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



第 4 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX1440 M2



AMD社最新CPU「AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサ」を搭載し、高性能、コストパフォーマンスを追求した、クラウド基盤や仮想化集約に最適な1WAYラック型サーバ

AMD社最新CPU「AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサ」を採用

AMD EPYC™ 9004シリーズ・プロセッサに加え、最新のAMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサもラインナップ。1CPUにもかかわらず最大160コア（320スレッド）まで搭載可能で、高い仮想集約率、優れた低消費電力、高性能を実現。また、AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサでは、従来にはない8コアCPUをラインナップし、小規模構成のお客様に最適です。

TCO削減

優れた低消費電力、高性能の実現で、システムのランニングコストを低減でき、HPC、各種サービス基盤、仮想化基盤やデータベース、さらにテレワークの基盤となる仮想デスクトップなどの様々な用途に最適。お客様システムのTCOを削減可能です。

大容量、高速メモリを採用し、最大6TBまで搭載可能

データ転送速度は5600MT/sおよび4800MT/sに対応（搭載CPU世代により異なります）。最大6TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

1Uの筐体ながら、大容量（15.36TB）のSSDに対応することで、最大容量153.6TBと高い拡張性を実現。高信頼で耐障害性の高いSAS HDD、価格あたり容量に優れた3.5インチニアラインSAS HDD、読み出し・書き込み性能に優れ、消費電力が低いSSD、高速転送が可能なPCIe SSDを採用、お客様の用途に応じて選択いただけます。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium（AC200Vのみ）認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能（Resilient File System（ReFS））や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

※詳細についてはシステム構成図を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度10～35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上を実現したデザインを採用

稼働状況を視認するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化する事により、異なる機種種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。

サーバ管理機能の充実

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。
※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」（以下ISM）をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。自己暗号化機能付きの内蔵ストレージおよびSASアレイコントローラカードをご提供。内蔵ストレージの暗号化機能によりCPUに負荷をかけずにデータの暗号化が可能。また、TPM2.0（TCG準拠）に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

GGPU機能や画像処理を高速化するGPUカードを採用

GGPU機能や画像処理をスムーズに行う各種GPUカードを提供。
※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

仕様一覧

PRIMERGY RX1440 M2

モデル			3.5インチ (x4) モデル / 2.5インチ (x8/x10) モデル
形状			ラックマウント
プロセッサ			第 4 世代 および 第 5 世代 AMD EPYC™ プロセッサ、最大1
メインメモリ			RDIMM / RDIMM 3DS×24、最大:6144GB (256GB×24)
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×4 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×10 [ホットプラグ対応] ※PCIe SSDの対応可否についてはシステム構成図をご確認ください。
		最大搭載容量	3.5インチ:80TB (ニアラインSAS HDD) /32TB (BC-SATA HDD) /61.44TB (SAS SSD) /30.72TB (SATA SSD) 2.5インチ:24TB (SAS HDD) /153.6TB (SAS SSD) /76.8TB (SATA SSD) /153.6TB (PCIe SSD)
	リア	形状/最大搭載数	2.5インチ×3 [ホットプラグ対応] ※PCIe SSDの対応可否についてはシステム構成図をご確認ください。
		最大搭載容量	2.5インチ:7.2TB (SAS HDD) /46.08TB (SAS SSD) /23.04TB (SATA SSD) /46.08TB (PCIe SSD)
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB
ODD			詳細はシステム構成図をご参照ください。
拡張スロット			3×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクタ) 2×OCP (LANカード専用)
ストレージコントローラ			標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]
ネットワーク			標準搭載 [1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T折ー)]
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [前面:1 (オプション) / 背面:1] ※3.5インチ (x4) モデル、2.5インチ (x8) モデルは、オプション適用で [前面 x1] を追加可能 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン] [背面] USB×4 (USB3.2:前面×2 / 背面×2) Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T折ー)
リモート監視機能			iRMC
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)
電源			900W / 1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 900W / 1600W (80PLUS® Titanium、AC200、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1300W (-48V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1600W (380V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応)
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:2,635VA / 2,608.6W / 9,391kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h
ファン			冗長、ホットプラグ対応
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			46.3 (区分1)
外形寸法 [W×D×H]			3.5インチモデル:435 (483 (突起部含む)) ×779 (842 (突起部含む)) ×43 (1U) [mm] 2.5インチモデル:435 (483 (突起部含む)) ×739 (802 (突起部含む)) ×43 (1U) [mm] 梱装箱600×1030×224 [mm]
質量			最大20.5kg (24.6kgラックレール含む)
環境条件	動作時		周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)
	保管時		周囲温度:－25～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)
サポートOS			WS25S / WS25D / WS22S / WS22D / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約39dB (A) ～約74dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。

AMD
EPYC

SATA/Hาร์ดディスク注意事項

- SATA/Hาร์ดディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/Hาร์ดディスク (Business Critical)、ニアラインSAS Hาร์ดディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) Hาร์ดディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/Hาร์ดディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/Hาร์ดディスク、BC-SATA/Hาร์ดディスクとSAS/Hาร์ดディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

RX2450 M2



AMD社最新CPU「AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサ」を最大2個搭載し、高性能、コストパフォーマンスを追求した、仮想化集約、VDIやHPC、AIに最適な2WAYラック型サーバ

AMD社最新CPU「AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサ」を採用

AMD EPYC™ 9004シリーズ・プロセッサに加え、最新のAMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサもラインナップし、最大2個搭載可能。2CPUで合計320コア（640スレッド）ものサーバ構成が可能となり（1CPUあたり最大160コア）、高い仮想集約率、優れた低消費電力、高性能を実現。また、AMD EPYC™ 9005シリーズ・プロセッサでは、従来にはない8コアCPUをラインナップし、小規模構成のお客様に最適です。

TCO削減

優れた低消費電力、高性能の実現で、システムのランニングコストを低減でき、HPC（ハイパフォーマンス・コンピューティング）、各種サービス基盤、仮想化基盤やデータベース/AI、さらにテレワークの基盤となる仮想デスクトップなどの様々な用途に最適。お客様システムのTCOを削減可能です。

大容量、高速メモリを採用し、最大6TBまで搭載可能

データ転送速度は5600MT/sおよび4800MT/sに加え、6400MT/sに対応（搭載CPU世代により異なります）。最大6TBまで搭載可能で、仮想化システムやインメモリデータベースにおけるデータ処理時間を大幅に短縮。お客様の業務効率化をご支援します。

柔軟なストレージ構成を実現

大容量（15.36TB）のSSDに対応することで、最大容量368.64TBを実現。高信頼で耐障害性の高いSAS HDD、価格あたり容量に優れた3.5インチニアラインSAS HDD、読み出し・書き込み性能に優れ、消費電力が低いSSD、高速転送が可能なPCIe SSDを採用、お客様の用途に応じて選択でき、様々なニーズにお応えします。

OSブート専用モジュールの採用

システムボード上の専用スロットに挿入するOSブート専用製品「M.2 Flash モジュール」を選択可能。システム領域とすることで、内蔵ストレージベイに搭載されるストレージを全てデータ領域として使用することが可能です。

80PLUS® Platinum/Titanium認証の電源ユニットを採用

80PLUS® PlatinumおよびTitanium（AC200Vのみ）認証電源を採用し、電源冗長化にも対応。効率よくサーバに電力を供給し、省エネ化を推進します。

多様なOSラインナップ

Windows Server 2022をベースに、Storage機能（Resilient File System（ReFS））や仮想マシンの強化をしたマイクロソフト社最新OS Windows Server 2025をサポート。また、Linux OSは、Red Hat Enterprise Linux 8/9およびSUSE Linux Enterprise Server 15をサポート。VMwareもサポートしており、お客様の運用に合わせて、様々な選択が可能です。

※詳細についてはシステム構成図を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

先進の技術で省電力化を実現

使用環境の周囲温度10～35℃での動作をサポートし、サーバ設置環境のさらなる省電力化を促進します。オプションで、使用環境の周囲温度の拡張が可能です。これによりデータセンターや企業において、空調などのファシリティ設備全体を含めて、大幅な省電力化が可能となります。

視認性や操作性などのユーザビリティ向上を実現したデザインを採用

稼働状況を視認するフロントパネルでは、アイコン自体を点灯させ、視認性向上を実現します。また、ドライブカバーやHDDベゼルなどを直感的に操作可能なデザインで高ユーザビリティを実現します。さらに、フロントパネルやHDDベゼルのデザインを共通化する事により、異なる機種の運用性の統一を実現し、お客様の負担を軽減します。

サーバ管理機能の充実

「リモートマネジメントコントローラ」を標準搭載。本体の電源/OSの状態に依存しない、サーバ監視、電源制御が可能です。管理LAN経由での監視/制御を実現しており、モバイル端末からの操作も可能。HTTPS接続で利便性、セキュリティも向上しています。また、追加オプション「リモートマネジメントコントローラアップグレード」により、サーバ設定画面をそのまま遠隔地の端末に転送し操作する、アドバンスドビデオリダイレクション他の機能が有効になります。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。
※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

安定稼働/運用管理の省力化

iRMCはサーバ単体をいつでもどこからでも管理することができるインフラ管理ツールで、CPU/メモリ/内蔵ストレージ/ファンの稼働状況や筐体内の温度、電圧等のサーバステータスを確実に把握できます。また、システム全体の効率的な運用管理が可能な、運用管理ソフトウェア「Infrastructure Manager」（以下ISM）をご利用いただく事で、複雑化するシステムの安定稼働をサポートします。ISMの「アノマリ検知」機能は、ハード/ソフト/仮想マシンの動作やリソース消費状態を常時監視し、普段とは異なる挙動（アノマリ）を検知します。従来はシステム管理者の勘と経験で設定されていた閾値をISMが運用開始直後に自動設定、その後は運用データを蓄積し自律的に精度向上し改善。お客様の業務影響の予防や、更なる運用管理軽減を実現します。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。自己暗号化機能付きの内蔵ストレージおよびSASアレイコントローラカードをご提供。内蔵ストレージの暗号化機能によりCPUに負荷をかけずにデータの暗号化が可能。また、TPM2.0（TCG準拠）に対応した「セキュリティチップ」をご提供。ハードウェアレベルでのセキュリティ強化により、安全なシステム環境とプライバシー保護を実現します。

GPGPU機能や画像処理を高速化するGPUカードを採用

GPGPU機能や画像処理をスムーズに行う各種GPUカードを提供。
※GPUカードの詳細については、拡張カードオプション【GPUカード】を参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/gpu.html>

仕様一覧

PRIMERGY RX2450 M2

モデル			3.5インチ (x8/x10/x12) モデル / 2.5インチ (x16/x24) モデル		
形状			ラックマウント		
プロセッサー			第 4 世代 および 第 5 世代 AMD EPYC™ プロセッサー、最大2		
メインメモリ			RDIMM / RDIMM 3DS×24、最大:6144GB (256GB×24)		
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×12 [ホットプラグ対応] 2.5インチ×24 [ホットプラグ対応] ※PCIe SSDの対応可否についてはシステム構成図をご確認ください。		
		最大搭載容量	3.5インチ:240TB (ニアラインSAS HDD) /96TB (BC-SATA HDD) /184.32TB (SAS SSD) /92.16TB (SATA SSD) 2.5インチ:57.6TB (SAS HDD) /368.64TB (SAS SSD) /184.32TB (SATA SSD) /368.64TB (PCIe SSD)		
	リア	形状/最大搭載数	2.5インチ×12 [ホットプラグ対応] ※PCIe SSDの対応可否についてはシステム構成図をご確認ください。		
		最大搭載容量	2.5インチ:14.4TB (SAS HDD) /92.16TB (SAS SSD) /46.08TB (SATA SSD) /92.16TB (PCIe SSD)		
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×2		
		最大搭載容量	SATA SSD:1.92TB PCIe SSD:1.92TB		
ODD			詳細はシステム構成図をご参照ください。		
内蔵バックアップ装置			詳細はシステム構成図をご参照ください。		
拡張スロット			4×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクター) 2×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x8コネクター) 1×OCP (LANカード専用) オプションのライザーカードを手配することでPCIe構成を変更可能です。 詳細はシステム構成図をご参照ください。		
ストレージコントローラ			標準搭載のストレージコントローラはモデルによって異なります。詳細はシステム構成図をご参照ください。 オプション [SASコントローラカード / SASアレイコントローラカード]		
ネットワーク			標準搭載 [1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 10G)]		
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面] ※3.5インチ (x8/x10) モデル、2.5インチ (x16) モデルは、オプション適用で [前面×1] を追加可能 シリアルポート×1 (オプション) [D-SUB9ピン]、 USB×4 (USB3.2:前面×2 / 背面×2)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 10G)		
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			900W / 1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 900W / 1600W (80PLUS® Titanium、AC200、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2200W (80PLUS® Platinum、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 2400W (80PLUS® Titanium、AC200V、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1300W (-48V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応) 1600W (380V DC、最大2、冗長、ホットプラグ対応)		
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:2,635VA / 2,608.6W / 9,391kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h		
ファン			冗長、ホットプラグ対応		
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			42.8 (区分2)		
外形寸法 [W×D×H]			435 [483 (突起部を含む)] ×813 [874 (突起部を含む)] ×87 (2U) [mm]、梱包箱600×1030×280 [mm]		
質量			最大34.1kg [38.2kg (ラックレール含む)]		
環境条件	動作時		周囲温度:10～35℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)		
	保管時		周囲温度:－25～60℃ / 湿度:8～85% (ただし結露しないこと)		
サポートOS			WS25S / WS25D / WS22S / WS22D / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7		
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約50dB (A) ~約77dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。

AMD
EPYC

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク (Business Critical)、ニアラインSAS ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用 (アプリケーションを搭載しない) ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。
(SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。)
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

GX2560 M7



NVIDIA HGX H100 (80GBモデル) を標準搭載、より大規模な解析業務や人工知能 (AI) / ディープラーニング用途に最適な2WAYラック型 (4U) サーバ

NVIDIA HGX H100 (80GBモデル) を標準搭載

標準搭載の「NVIDIA HGX H100」は、単一ベースボード上に4基のNVIDIA H100(GPUメモリ80GB)を搭載しており、GPUメモリの合計は320GBです。

利用シーン

より大規模な解析業務や人工知能 (AI) / ディープラーニング用途に最適。4基のGPGPUはNVLinkで相互接続されており、高速なマルチGPU動作が可能。

インテル社最新CPU「第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ」を採用

インテル社の第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサに加え、最新の第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサをラインナップ。最大64コアのCPUを2個まで搭載可能。PCI Express Gen5にも対応し、お客様は用途に応じてオプション選択していただけます。消費電力あたりのパフォーマンスが大幅に向上し、一般的な用途（ワークロード）だけでなく、AI、データベース、HPC等の用途においてもパフォーマンス向上とTCO削減を実現します。

充実のサポートメニュー

3年間の標準保証（翌営業日以降訪問修理）に対応。

※SupportDeskの詳細については、<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>を参照ください。

万全なセキュリティ

米国政府機関が定める政府調達のためのセキュリティ規格「NIST SP800」に準拠し、グローバル基準のセキュリティで、お客様に安全なITインフラをご提供します。

水冷モデルをラインナップ

GX2560 M7水冷モデルは、発熱の大きいGPUとCPUを水冷モジュールを使用して冷却します。これにより、空冷に比べてGPUとCPUをより効率よく冷却することができ、高いパフォーマンスでの安定稼働が可能となります。

※詳細はシステム構成図を参照ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

SATA/ハードディスク注意事項

- SATA/ハードディスクを搭載したモデルは、小規模かつアクセス頻度の比較的低い用途において、1日8時間程度で5年間のご使用を前提とした設計となっております。
- BC-SATA/ハードディスク（Business Critical）、ニアラインSAS/ハードディスクを搭載したモデルでは、バックアップ時間が1日数時間程度のバックアップサーバ、サーバのOS Boot専用（アプリケーションを搭載しない）ハードディスクなど、大容量かつアクセス頻度の低い用途において、24時間365日の連続使用が可能です。
- 24時間365日の連続使用や、頻繁にアクセスが繰り返されるデータベース用途、高い信頼性が求められる基幹業務用途等の場合は、高性能なSAS/ハードディスク/SSDをご利用ください。（SATA/ハードディスク、BC-SATA/ハードディスクとSAS/ハードディスク、SSDの違いは、<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/>をご参照ください。）
- なお、大切なデータの損失を防ぐため、日頃からのデータバックアップを推奨します。

仕様一覧

PRIMERGY GX2560 M7

モデル			2.5インチ HDD/SSD/PCIe SSD×6
形状			ラックマウント
プロセッサ			第 4 世代 および 第 5 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ・ファミリー、最大2
チップセット			Intel® C741
メインメモリ			RDIMM×32、最大:2048GB (64GB×32)
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	2.5インチ×6 [ホットプラグ対応 (PCIe SSD除く)]
		最大搭載容量	SAS HDD:14.4TB SAS SSD:23.04TB SATA SSD:46.08TB PCIe SSD:15.36TB
	内部	形状/最大搭載数	M.2 Flash モジュール×1
		最大搭載容量	PCIe SSD:960GB
ODD			－
拡張スロット			1×GPUモジュール標準搭載 [NVIDIA HGX H100 (80GBモデル)] 6×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクタ)
ストレージコントローラ			標準搭載 [オンボードSATAコントローラ、オンボードPCIe]、オプション [SASコントローラカード/SASアレイコントローラカード]
ネットワーク			標準搭載 [2ポート (10GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX択一)]
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート)×1 [背面]、USB×2 (USB3.0:背面×2)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T択一)
リモート監視機能			BMC
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)
セキュリティチップ			－
電源			標準搭載 [3000W (80PLUS® Titanium、AC200V、冗長、ホットプラグ対応)]:4 (最大4)
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:6,160VA / 6,098.1W / 21,953.3kJ/h
ファン			冗長不可
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			18.8 (区分2)
外形寸法 [W×D×H]			448 [483 (突起部含む)] ×843 [869 (突起部含む)] ×176 (4U) [mm]、梱装箱624×1101×360 [mm]
質量			最大49.2kg [55.2kg (ラックレール含む)]
環境条件	動作時	周囲温度:10～35℃ / 湿度:10～85% (ただし結露しないこと)	
	保管時	周囲温度:－25～60℃ / 湿度:10～85% (ただし結露しないこと)	
サポートOS			RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

※本装置の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約81dBとなります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置を推奨いたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※搭載可能CPUの詳細はCPU一覧表 (P.13) を参照ください。

※搭載可能メモリの詳細はメモリー一覧表 (P.15) を参照ください。

※搭載可能な容量については内蔵ストレージ一覧表 (P.16) を参照ください。



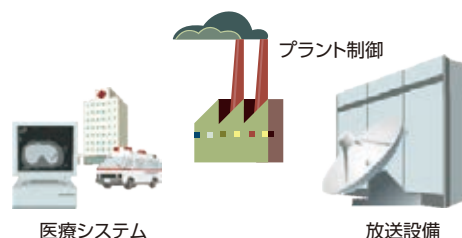
長期保守対応タイプ

RX2530 M7 RX2540 M7 TX1330 M6



プラント制御や監視などの産業用コンピュータ、医療機器、および放送機器に代表される組み込み用コンピュータの分野においても、ICT機器のオープン化が進み、ビジネス分野でご利用されているサーバをそのまま組み込み用コンピュータとしてお使いになるお客様が増えてきております。この組み込み用コンピュータは、これを取り巻く装置設備やファシリティの利用環境から、長期間（10年間程度）の安定稼働を実現することが求められます。

このようなご要望にお応えするため、x86サーバ「PRIMERGY」では、10年間の保守サポートを可能とする「長期保守対応タイプ」を提供。お客様のICT投資コストの削減、システムの長期安定稼働を支えます。



PRIMERGYで提供する長期保守対応タイプ

組み込み市場等で長期保守へのご要望が特に多い、x86サーバ PRIMERGY「RX2530 M7」・「RX2540 M7」、1WAYタワーサーバ「TX1330 M6」にて、長期保守対応タイプをご提供します。

活用事例

- 産業現場 : プラント、組立製造分野
- SCM分野 : 生産/物流
- CRM分野 : 金融/コールセンター
- ITS分野 : 高速道路など社会インフラ

10年間のハードウェア保守対応

高信頼のハードウェアと保守・運用支援サービス「SupportDesk」契約を組み合わせることにより、長期に渡るシステムの安定稼働を実現します。PRIMERGY長期保守対応タイプでは、ハードウェアのご購入と同時に本タイプ専用の「SupportDeskパックStandard / Standard24 (OSサポートなし)」をご契約いただくことにより、最長10年間の保守サポートをご提供します。

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
保守サポート期間 (※5)	通常保守契約モデル	→									
	長期保守対応タイプ	→									
		導入					5年目				
		SupportDeskパック Standard/ Standard24(OSサポートなし)契約 (※1) (※2)					定期交換部品一括交換 作業実施 (※3) (※4)				

※1: 本製品ご購入と同時に長期保守対応タイプ用SupportDeskパック Standard/Standard24 (OSサポートなし) をご契約いただくことで「10年間」の保守サポートをご利用いただけます。SupportDeskパック未契約の場合、保守サポート期間は通常保守契約モデルと同様「5年間」となりますので、ご注意ください。

※2: 本保守サポートの対象はハードウェアのみです。OSのサポートが必要な場合は別途ご契約が必要です。OSサポート期間については、各OSのサポートポリシーにより異なりますので、ご注意ください。

※3: 本製品は、導入から5年目に「定期交換部品一括交換作業」が必要となります。その際、一時的にシステムの停止が必要となりますので、予めご了承ください。

※4: 定期交換部品の交換に伴う、ハードディスクに保存されているデータのバックアップおよびリストア作業については、サービスの対象外となります。

※5: 本製品の一般モデルでの保守終息以降は、製品に搭載または添付しているドライバ、ファームウェア、BIOS、添付ソフトウェア等のアップデートに関して、当社が提供する無償サービス（ホームページからのドライバ、ファームウェア、BIOSのアップデート版のダウンロードを含む）は終了となります。新たに問題が発見された場合には、これまでのようなサービスが提供できない場合があります。

留意事項

定期交換部品の交換対応について

下記定期交換部品は、導入から5年目に一括交換作業が必要となります。

交換作業には、通常120分程度要すると想定されます。その際一時的にシステムの停止が必要となります。

主な定期交換部品	電源ユニット	内蔵ハードディスク	ファン
	メインボード	Dualportファイバーチャネルカード (16Gbps)	

長期保守対応タイプ

品名			PRIMERGY RX2530 M7 (3.5インチモデル) 長期保守対応タイプ	PRIMERGY RX2540 M7 (3.5インチモデル) 長期保守対応タイプ	PRIMERGY TX1330 M6 (3.5インチモデル) 長期保守対応タイプ
形状			ラックマウント		タワー
型名			PYR2537ZLY		PYT1336ZLY
プロセッサー			標準搭載 [インテル® Xeon® Silver 4510 プロセッサー (2.40GHz, 12C/24T, 30MB, 4400MT/s, 16GT/s, 150W)]:1 (最大2)		標準搭載 [インテル® Xeon® プロセッサー 6325P (3.50GHz, 4C/8T, 12MB, 4800MT/s, 16GT/s, 55W)]:1 (最大1)
チップセット			Intel® C741		Intel® C266
メインメモリ			標準搭載 [16GB RDIMM]:1、最大:512GB (16GB×32)		UDIMM×4、最大:64GB (16GB×4)
グラフィックス			32ビットカラー:1920×1200		
ドライブベイ	フロント	形状/最大搭載数	3.5インチ×4 [ホットプラグ対応]	3.5インチ×10 [ホットプラグ対応]	3.5インチ×4 [ホットプラグ対応]
		最大搭載容量	BC-SATA HDD:8TB	BC-SATA HDD:20TB	BC-SATA HDD:8TB
ODD			標準搭載 [DVD-RAMドライブユニット (ODDベイ)]:1 (最大1)		標準搭載 [DVD-ROMドライブユニット (アクセス可能なドライブベイ)]:1 (最大1)
拡張スロット			3×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクター) 標準搭載 [OCP (LANカード専用)]:1 (最大2)	1×Low Profile PCI Express 4.0 x16 (x16コネクター) (ストレージコントローラ専用) 4×Low Profile PCI Express 5.0 x16 (x16コネクター) 2×Low Profile PCI Express 5.0 x8 (x8コネクター) 標準搭載 [OCP (LANカード専用)]:1 (最大1)	1×Full Height/Half Length PCI Express 5.0 x8 (x16コネクター) 1×Full Height/Half Length PCI Express 5.0 x8 (x8コネクター) 2×Full Height/Half Length PCI Express 4.0 x4 (x4コネクター)
ストレージコントローラ			SASアレイコントローラカード (オプション)		
ネットワーク			標準搭載 [5ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)]、 オプション [4ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)]	標準搭載 [5ポ ート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)]	標準搭載 [2ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)]
インターフェース			ディスプレイ (VGAポート) ×1、USB×4 (USB3.0: 前面×2 / 背面×2)、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)		ディスプレイ (VGAポート) ×1 [背面]、 USB×9 [USB3.2 (Gen2x2 Type C: 前面×1 / Gen1 Type A: 前面×1, 背面×6 / Gen1: 内部×1)]、 Management LAN×1 [背面] (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 折ー)
リモート監視機能			iRMC		
統合管理機能			Infrastructure Manager (オプション)		
セキュリティチップ			TPM2.0モジュール:TCG準拠 (オプション)		
電源			標準搭載 [900W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、冗長、ホットプラグ対応)]:2 (最大2)	標準搭載 [1600W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、冗長、ホットプラグ対応)]:2 (最大2)	標準搭載 [500W (80PLUS® Platinum、AC100/200V、冗長、ホットプラグ対応)]:2 (最大2)
皮相電力 / 消費電力 / 発熱量 (最大)			AC200V:2,635VA / 2,608.6W / 9,391kJ/h、AC100V:1,252VA / 1,240W / 4,464kJ/h		AC200V:494VA / 492W / 1,771.2kJ/h、 AC100V:509VA / 507W / 1,825.2kJ/h
ファン			冗長、ホットプラグ対応		冗長
エネルギー消費効率 (2021年度基準) (*1)			29.7 (区分2)	30.1 (区分2)	21.3 (区分1)
外形寸法 [W×D×H]			435 [483 (突起部含む)] × 808 [871 (突起部含む)] × 43 (1U) [mm]、梱包箱 600 × 1030 × 224 [mm]	435 [483 (突起部含む)] × 812 [873 (突起部含む)] × 87 (2U) [mm]、梱包箱 600 × 1030 × 280 [mm]	178 × 534 [548 (突起部含む)] × 448 [457 (突起部含む)] [mm]、梱包箱 550 × 706 × 360 [mm]
質量			最大22.4kg [26.6kg (ラックレール含む)]	最大35.0kg [39.1kg (ラックレール含む)]	最大28.8kg
環境条件	動作時	周囲温度: 10～35℃ / 湿度: 8～85% (ただし結露しないこと)			
	保管時	周囲温度: -25～60℃ / 湿度: 8～85% (ただし結露しないこと)			
サポートOS			WS22S / WS22D / WS19S / WS19D / WS19E / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8 / vS7		WS22S / WS22D / WS22E / RHEL9 (Intel64) / RHEL8 (Intel64) / SLES 15 (x86_64) / vS8
標準保証			3年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))		1年間翌営業日以降訪問修理 (月曜～金曜、9:00～17:00 (祝日および年末年始を除く))
ハードウェア保守サポート期間			10年 (*2) (*3)		

(*1) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した中央演算処理装置 (CPU)、補助記憶装置 (ストレージ) および主記憶装置 (メインメモリ) の消費電力あたりの性能を幾何平均したものです。

(*2) 長期保守対応タイプ用SupportDesk/パック Standard/Standard24 (OSサポートなし) 10年の同時手配が必要となります。

(*3) OSのサポートは含まれません。

※本装置 (TX1330 M6) の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約20dB (A) ～約32dB (A) となります。

※本装置 (RX2530 M7) の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約52dB (A) ～約74dB (A) となります。

※本装置 (RX2540 M7) の通常運用時の騒音値 (ISO7779に準拠した実測値) は、約53dB (A) ～約78dB (A) となります。

ファンが高速回転する電源投入時や高温環境下では、装置構成により通常運用時の騒音値を上回る場合がありますので、専用室への設置をお願いいたします。

※製品仕様および制限の詳細、オプション/製品の搭載についての詳細は、システム構成図 (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

※サポートOSについては、PRIMERGY OS対応表 (P.12) を参照ください。



第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー

PRIMEFLEX for VMware vSAN



第5世代 インテル® Xeon®
プロセッサ・ファミリー
(Emerald Rapids)

当社が提案する新たなインフラのスタイル

ICT基盤が企業の経営戦略を支える重要な役割を担い、広がりを見せる中、そのシステムは日々複雑化し、インフラの維持、運用にかかるコストや負荷も増大しています。PRIMEFLEX for VMware vSANは、Software-Defined Storage技術により、ストレージをサーバに統合することでシンプルな構成を実現しました。また、当社独自ソフトウェア「Infrastructure Manager for PRIMEFLEX」(以下、ISM for PRIMEFLEX)によって導入・運用・拡張における煩雑さを排除します。シンプルで手軽な次世代プラットフォームとして、お客様の経営環境の変化に合わせた、簡単・柔軟なインフラ運用を可能とし、投資の最適化を実現します。

特長1: 安心のスピード導入

設計済み・セットアップ済みで導入、導入後も安心のワンストップサポート

■ 設計作業を大幅に削減

当社のノウハウで統合された検証済みの仮想化基盤が導入前の設計作業を大幅に削減します。また導入時に、お客様のご要望に合わせた機器構成のカスタマイズを可能としており、スピーディーな導入が可能です。

■ 工場セットアップ済みで即時利用可能

PRIMEFLEX for VMware vSANの導入サービスを組み合わせることで、工場でセットアップまで実施して納品されるため、設定不要で電源投入後、即時利用可能です。システム稼働までの期間を大幅に削減します。

■ 安心のワンストップサポート(運用・保守サービス SupportDesk)

ハードウェア/ソフトウェアに関する各種専門技術者が、お客様の問題を一括でサポートし、ユーザーの運用負荷を軽減します。

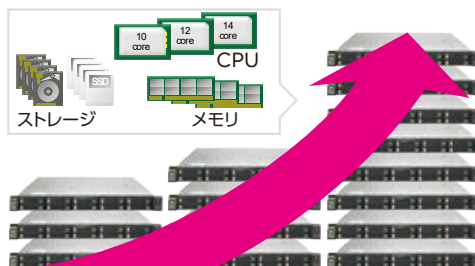


特長2: 優れた柔軟性と高い拡張性

インフラ投資の最適化

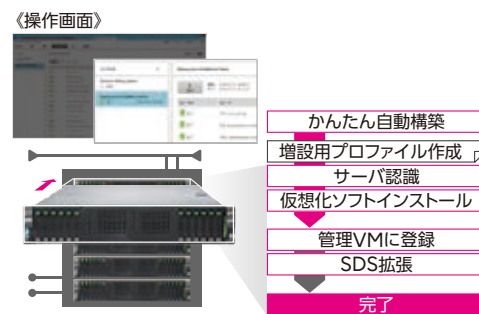
■ 最小3ノードからのスモールスタート

サーバだけのシンプルな構成で最小3ノードからのスモールスタートが可能。小さく導入して規模に応じて大きく拡張することが可能です。最大64ノードまで増設可能で、利用者の増加や業務負荷の増大によってリソースが不足した場合、ノード単位の増設に加えて、CPU/メモリ/内蔵ストレージ単位の増強も可能です。



■ 簡単かつ迅速な増設

機器増設作業は、インフラ統合運用管理ソフトウェアの機能である自動構築ツールによって、簡単、迅速に実施することが可能で、従来と比較して作業工数50%削減* することができます。



*当社の標準手順に基づき算出。削減効果をお約束するものではありません。

特長3: 簡単運用

専用ソフトウェアがもたらす新たなインフラ運用

PRIMEFLEX for VMware vSANの専用ソフトウェア「ISM for PRIMEFLEX」は、直感的な視認性と操作性、多様な自動化機能を提供。インフラの構築・運用・管理を一層、省力化させます。

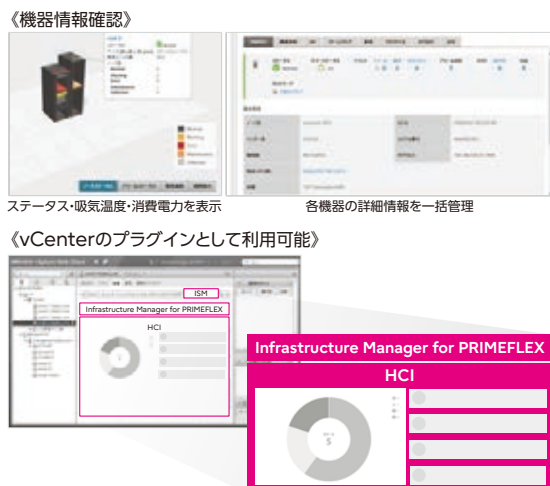
■ わかりやすい管理画面

機器の管理は直感的な操作を可能とするGUIで一元化。吸気温度や消費電力などの状況監視や、各機器の詳細情報の一括管理を実現します。3Dカラー画面で機器の配置を確認することが可能で、異常発生時などは色を変えて表示することで認識性が向上し、容易に障害箇所を特定できます。

■ 使い慣れたvCenter画面からシステムを一元管理

ISM for PRIMEFLEXは、VMware vCenter Server (以下、vCenter) プラグインを提供しており、使い慣れたVMware vSphere Web Clientからシステムを一元管理することができます。さらに、ISM for PRIMEFLEXでは、物理環境と仮想環境をまとめて管理できるだけでなく、PRIMEFLEX for VMware vSAN以外の他社製ハードウェア* も含めた別システムまでも、単一の画面から管理することが可能。各々の管理画面を立ち上げる必要がなくなり、シンプルな運用を実現します。

*対象は当社担当営業、販売パートナーにお問い合わせください。



管理者の負荷を軽減する多様な機能

ファームウェア適用に関する作業を自動（ローリングアップデート）で行うことで、管理者の作業工数を大幅に削減できます。自動化することで手順違いを防止します。ハードウェア、OSのログを一括収集することが可能です。定期的にログを収集することで管理工数削減を実現します。

《仮想環境の状況確認》



《ログの収集と管理》



《ローリングアップデート》



利用シーン

VDI基盤

PRIMEFLEX for VMware vSAN なら

システム規模に応じた段階的な拡張が可能

仮想化基盤

PRIMEFLEX for VMware vSAN なら

ストレージを含め既存システムをサーバに集約することが可能。
専用ソフトウェアでインフラの運用管理をシンプル化

仮想集約
物理集約

仕様概略

採用サーバ		PRIMERGY RX2530 M7		PRIMERGY RX2540 M7				
タイプ		ベースタイプ		高性能/大容量タイプ		GPU搭載タイプ		
モデル		ハイブリッド	オールフラッシュ	ハイブリッド	オールフラッシュ (SSD+SSD)	ハイブリッド	オールフラッシュ	
ノード数		3～64						
ノードの追加単位		1						
ノードあたりの高さ		1U		2U				
ハイパーバイザー		VMware vSphere ESXi 8.0U2						
SDS		VMware vSAN 8.0U2						
運用管理ソフトウェア		Infrastructure Manager for PRIMEFLEX						
収容VM数 (1ノードあたり)	サーバ仮想化 ^{※1}	～80VM	～160VM			～133VM	～160VM	
	VDI ^{※2}	～200VM						
構成サーバ仕様 (1ノードあたり)	プロセッサ搭載数		1 or 2			2		
	プロセッサ種類		インテル Xeon プロセッサ スケーラブルファミリー					
	メモリ容量		48GB～4096GB			48GB～2048GB		
	ネットワークインターフェース		10GBASE/10GBASE-T×4または25GBASE×4					
	ストレージ 容量 ^{※4} 構成設計書 最大/最小	NVMeキャッシュ ^{※3}	-					
		SSDキャッシュ ^{※3}	800GB～23.04TB		800GB～38.4TB			
		SSDデータ領域	-	480GB～61.44TB	-	480GB～161.28TB	-	480GB～107.52TB
		HDDデータ領域	600GB～19.2TB	-	600GB～50.4TB	-	600GB～33.6TB	-
電源		100V / 200V : 500W / 900W / 1600W × 2, 200V : 2200W / 2400W × 2, DC48V : 1300W × 2, DC380V : 1600W × 2						

※1 記載のVM数は、1VMあたりCPU: 1GHz、メモリ 4GB、HDD: 100GB、IOPS: 100を割り当て、Broadcom社のvSAN ReadyNode Sizerで算出した目安です。

※2 記載のVM数は、1VMあたりCPU: 630MHz、メモリ 4GB、HDD: 50GB、(Linked clone)、IOPS: 8を割り当て、Broadcom社のvSAN ReadyNode Sizerで算出した目安です。

※3 キャッシュの選択可能な範囲は、データ領域の容量によって変わります。

※4 SSD/HDDを搭載した場合の物理容量

PRIMEFLEX for VMware vSphere



第4世代 インテル® Xeon®
スケーラブル・プロセッサ

ビジネスイノベーションを加速する垂直統合型 仮想化・クラウド基盤

グローバル化の進展、異業種企業との競争の激化、顧客ニーズの多様化など、経営環境が急速に変化しつづける今、その変化にスピーディーに対応し、ビジネスイノベーションの原動力となるICTシステムが求められています。

PRIMEFLEX for VMware vSphereは、既存のICTシステムを最適化し、新しい価値の創造や変革につながる新たなICTシステムを迅速かつ柔軟に実現できる次世代プラットフォームです。

PRIMEFLEX for VMware vSphereの特長



高品質な仮想化・クラウド基盤を手間なく導入

ハードウェアとソフトウェアをシステム全体として最適化。
構築・基本設定済みのシステムとして提供するので、導入後すぐに使えます。

安定稼働を実現する仮想化・クラウド基盤

■ 高品質なICT基盤を簡単・スピーディーに導入できます。

PRIMEFLEX for VMware vSphereは、当社の社内実践で培った仮想化・クラウド運用のノウハウに加え、規模や要件の異なる数多くの仮想化・クラウド商談を通じて得た知見を結集した商品です。

性能、機能、価格、信頼性、保守性など、多岐にわたる観点から最適な構成品を選定し、設計・検証を実施。お客様は、高品質な仮想化・クラウド基盤をスピーディーに導入できます。



多様なニーズに応えるラインナップ

■ お客様の要件にマッチしたシステム構成を選択可能です。

サーバやストレージのタイプ、仮想化ソフトウェアや、運用規模に応じてご希望のモデルを選択できます。将来的な拡張性を考慮した設計になっているため、まずは小規模でスタートしたいというお客様にも最適です。

さらに、搭載するメモリや外部ストレージ容量、CPUなどの詳細なスペックも複数の選択肢からシステム要件に応じてお選びいただけます。

垂直統合型商品であることの信頼性はそのままに、お客様に最適なシステムを提供します。

あらかじめ構築・基本設定済みの状態で提供

■ 導入後、短期間でシステムの運用を開始できます。

PRIMEFLEX for VMware vSphereは、ハードウェアの構築やソフトウェアのインストール、さらにはIPアドレスやログインIDといったお客様の固有環境情報の設定も実施した状態で納入されます。

そのため、導入後すぐに業務アプリケーション環境の構築などを開始でき、システム稼働開始までの期間を大幅に短縮することができます。



簡単に安定したシステム運用を支援

ハードウェアの監視からクラウド運用まで、システム運用を支える様々な機能を搭載しています。
これにより、管理者の負荷を軽減しTCOを削減すると同時に、利用者にも高い利便性を提供します。

ハードウェアを統合監視

■ まるでラックの前にいるかのように、
機器の情報や稼働状況を直感的に把握できます。

機器の管理は直感的な操作を可能とするGUIで一元化。吸気温度や消費電力などの状況監視や、各機器の詳細情報の一括管理を実現します。

3Dカラー画面で機器の配置を確認することが可能で、異常発生時などは色を変えて表示することで認識性が向上し、容易に障害箇所の特定できます。

《機器情報確認》



ステータス・吸気温度・消費電力を表示

各機器の詳細情報を一括管理

使い慣れたvCenter画面からシステムを一元管理

■ 物理環境と仮想環境の関係が一目瞭然です。

Infrastructure Manager (以下、ISM) は、VMware vCenter Server (以下、vCenter) プラグインを提供しており、使い慣れたVMware vSphere Web Clientからシステムを一元管理することができます。さらに、ISMでは、物理環境と仮想環境をまとめて管理できるだけでなく、PRIMEFLEX for VMware vSphere以外の他社製ハードウェアも含めた別システムまでも、単一の画面から管理することが可能。各々の管理画面を立ち上げる必要がなくなり、シンプルな運用を実現します。

《vCenterのプラグインとして利用可能》



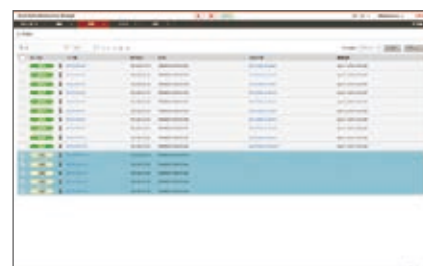
システム増設時の負担を軽減

導入後の機器の増設を考慮した設計で、お客様環境の変化に柔軟に対応します。増設時の運用負担を軽減し、人的ミスを排除する様々な機能を搭載しています。

機器の増設作業を大幅に簡略化

■ 増設作業を大幅に簡略化できます。

PRIMEFLEX for VMware vSphereは、導入後の機器増設をあらかじめ考慮して設計されています。例えば、2台のサーバで導入したシステムを、業務の拡大や仮想環境への移行システムの追加に合わせて、最大60台まで増設することができます。実際の増設作業においても、増設したサーバへのBIOSの設定やOSインストール作業の自動化機能により、作業負担を軽減し、作業品質を向上させることができます。



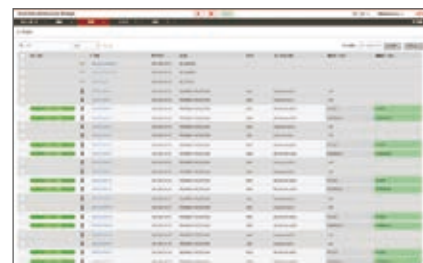
統合保守で安定稼働をサポート

充実の機能と安心のバックアップ体制で保守作業の負担を軽減します。

手間なくファームウェアをアップデート

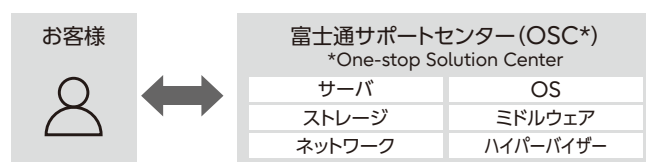
■ 安心・簡単にファームウェアを更新できます。

構成機器に現在適用されているファームウェアの版数と、その更新の有無を一覧で表示するため、更新が必要な機器を簡単に把握できます。また、ファームウェアを一括でアップデートすることも、その中から選択して順次アップデートすることも可能です。さらに、更新を適用する必要があるファームウェアについては、組み合わせ検証を実施した上で集約し、定期的にサポート契約者様向けのWebサイトで提供します。



安心のワンストップサポート (運用・保守サービス SupportDesk)

ハードウェア/ソフトウェアに関する各種専門技術者が、お客様の問題を一括でサポートし、ユーザーの運用負担を軽減します。



過去のサポート対応ノウハウを蓄積したデータベースを活用

仮想化基盤

PRIMEFLEX for Nutanix

安心のMade in Japanによる高い信頼性の「x86サーバ PRIMERGY」に、
Nutanix社が提供する「Nutanix クラウドプラットフォーム」を採用した
ハイパーコンバージドインフラストラクチャー



AOS

ソフトウェアデファインド環境の基盤OS

AHV

KVMをベースに機能追加し
実装されたハイパーバイザー

Prism

統合運用管理ソフト



第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ
第5世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ

安心のサポート

サービス拠点
全国 850 か所HW・SW サポートを
まとめて提供

高信頼性

Made In Japan

徹底した
品質管理

シンプルな運用・管理

シンプルな
操作画面システム
一元管理

利用シーン

- 仮想化統合 : Nutanixの仮想化ソフトウェアでストレージもアプリケーションもサーバに一括統合。
ソフトウェアもハードウェアも一括してサポートを提供。管理者の負担を大幅に軽減します。
- VDI導入 : スモールスタートから無制限に増設可能。シンプルな操作性でテレワークに最適な仮想デスクトップ (VDI) を迅速に導入可能です。

最小構成 : 3ノード

XF1070 M7

x86サーバ PRIMERGY RX2530 M7
(3.5" HDD / SSD × 4)

4ドライブ搭載可能な1ノード /
1U 1CPU 3.5インチ
エントリーモデル



XF3070 M7

x86サーバ PRIMERGY RX2530 M7
(2.5" HDD / SSD × 10)

10ドライブ搭載可能な1ノード /
1U 2CPU 2.5インチ
スタンダードモデル



XF8050 M7

x86サーバ PRIMERGY RX2540 M7
(2.5" HDD / SSD × 24)

24ドライブ搭載可能な1ノード /
2U 2CPU 2.5インチ
高性能モデル



XF8055 M7

x86サーバ PRIMERGY RX2540 M7
(3.5" HDD / SSD × 12)

12ドライブ搭載可能な1ノード /
2U 2CPU 3.5インチ
大容量モデル



XF8055 VDI M7

x86サーバ PRIMERGY RX2540 M7
(3.5" HDD / SSD × 6)

コンピューティング用途から
CAD対応可能なVDI用途まで
使用可能なモデル



仕様概略

PRIMEFLEX for Nutanix													
モデル		XF1070 M7		XF3070 M7		XF8050 M7		XF8055 M7		XF8055 VDI M7			
サーバ		PRIMERGY RX2530 M7 (3.5"HDD / SSD×4)		PRIMERGY RX2530 M7 (2.5"HDD / SSD×10)		PRIMERGY RX2540 M7 (2.5"HDD / SSD×24)		PRIMERGY RX2540 M7 (3.5"HDD / SSD×12)		PRIMERGY RX2540 M7 (3.5"HDD / SSD×6)			
ドライブ搭載モデル		ハイブリッド	オール フラッシュ	ハイブリッド	オール フラッシュ	ハイブリッド	オール フラッシュ	ハイブリッド	オール フラッシュ	ハイブリッド	オール フラッシュ		
ノード数		3 ～ 無制限 (AHV) , 3 ～ 64 (ESXi)											
ノードの追加単位		1											
ノードあたりの高さ		1U					2U						
対応ハイパーバイザー ^{※1}		Nutanix AHV, VMware ESXi											
SDS		Nutanix Acropolis											
運用管理ソフトウェア		Nutanix Prism											
構成サーバ仕様 (1ノードあたり)	プロセッサ搭載数		1		2								
	プロセッサ種類		インテル Xeon プロセッサスケラブルファミリーより選択 (プロセッサ種類は下記より仕様表を参照ください。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/integrated-systems/virtual/primeflex-nutanix/)										
	メモリ容量		96～4096GB			128～8192GB							
	ブートモジュール ^{※4}		M.2 Flashモジュール (240GB / 480GB) × 2										
	セキュリティチップ (オプション)		TPM2.0モジュール (TCG準拠)										
	ネットワーク インターフェース ^{※2※3}	オンボード (ポート拡張 オプション)	10GBASE-T (2port)		1枚必須		2枚まで		1枚まで				
			10GBASE-T (4port)										
			10GBASE (2port)										
			10GBASE (4port)										
			25GBASE (2port)										
			25GBASE (4port)										
		搭載LAN カード ^{※5}	Dual port LANカード (10GBASE-T)		搭載不可		3枚まで		4枚まで				
			Quad port LANカード (10GBASE-T)										
			Dual port LANカード (10GBASE)										
			Quad port LANカード (10GBASE)										
			Dual port LANカード (25GBASE)										
			Quad port LANカード (25GBASE)						4枚まで		搭載不可		
	ネットワークインターフェース (オンボード)		1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T × 1 (データネットワークとしては使用不可)										
	管理ポート		1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T × 1										
	VDIグラフィックスカード (NVIDIA A16)		－							2枚まで			
	VDI/GPGPUカード ^{※5}		－				4枚まで						
	内蔵ストレージコントローラ		SASコントローラカード × 1				SASコントローラカード × 2～3		SASコントローラカード × 1				
	ストレージ 容量	SSDデータ領域		3.84～ 30.72TB	3.84～ 61.44TB	3.84～ 30.72TB	3.84～ 153.6TB	7.68～ 122.88TB	7.68～ 368.64TB	3.84～ 61.44TB	7.68～ 184.32TB	3.84～ 30.72TB	7.68～ 92.16TB
		HDDデータ領域		2.4～ 40TB	－	4.8～ 19.2TB	－	9.6～ 48TB	－	48～ 200TB	－	48～ 80TB	－
	電源ユニット		100V / 200V : 500W / 900W / 1600W × 2 200V : 2200W / 2400W × 2 DC48V : 1300W × 2 DC380V : 1600W × 2										

※1 Microsoft Hyper-Vは非対応。

※2 オンボード (ポート拡張オプション) または搭載LANカードはいずれか必須。

※3 データ用ネットワークは10GbE以上での接続を推奨。

※4 ブートモジュールは必ずRAID1で構成。

※5 周辺温度、搭載するオプションの組み合わせ等によって、搭載可能数は変動します。

PRIMERGY CDI

-Composable Disaggregated Infrastructure-

ICT基盤が企業の経営戦略を支える重要な役割を担う中、企業はSDGsの達成に向け、変化への対応や価値を迅速に高め、競争力強化を図っています。

CDIは、リソース・ワークロードの状況を検知しインフラを自動構築する仕組みにより、「インフラを気にせず、迅速なアプリ/サービスの開発、運用」を可能とする次世代技術のコンポーザブルインフラです。CDIにより、ハードウェア資源を無駄なく活用し、性能・電力・コストを最適化いたします。

PRIMERGY CDIでは、GPU、NVMe SSDなどの各ハードウェアコンポーネントを共有プール化し、ワークロードに合わせたサーバのハード構成をソフトウェアで定義することで、より柔軟で効率的な構成を実現いたします。

また、部品故障によるシステム停止で、復旧に時間がかかるという課題に対し、故障を検知し自動リソース切替と再構築を行うことで、システムの即時復旧を実現します。

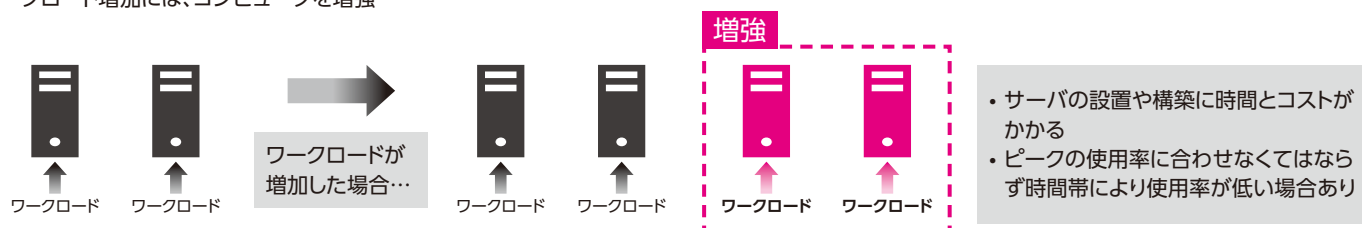
将来的には、GPU、NVMe SSDのみならず、CPUやメモリのリソースプール化にも対応することが期待されます。

CDIの概要

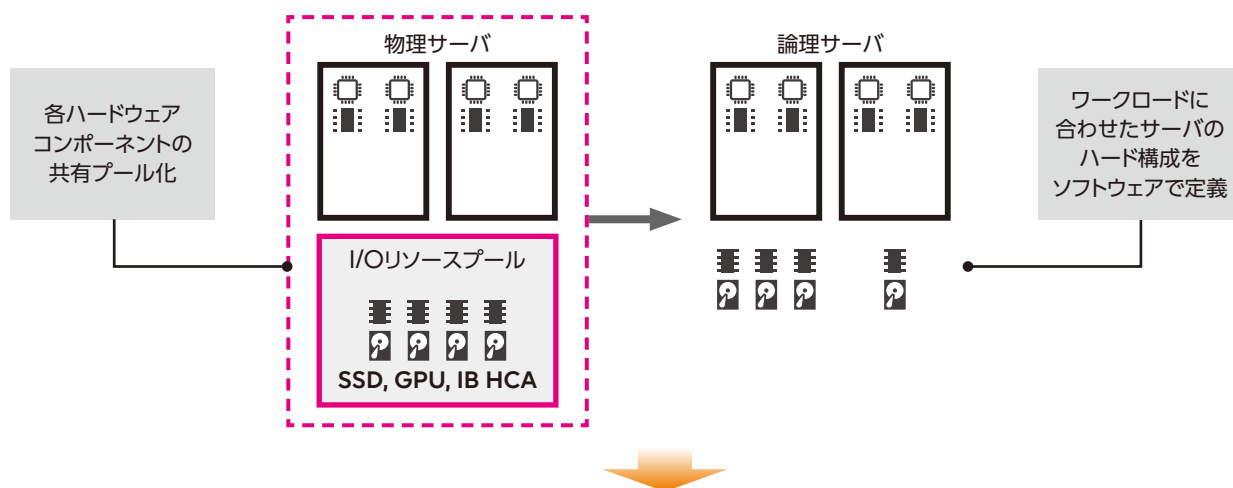
CDIは、ディスアグリゲータッドコンピューティング技術により、クラウドの柔軟性をハードウェアで実現することで、高性能、省電力/省コスト、運用効率化を実現するアーキテクチャです。従来は各物理サーバに内蔵されていたデバイスリソース（GPU、ストレージ等）を共有可能なリソースとしてリソースプールに集約し、ワークロードに合わせて必要なデバイスリソースが接続された論理サーバを自由に構築できます。さらに、新しく仲間に加わった「PRIMERGY CDI V1.1 powered by Red Hat OpenShift Container Platform」では、ワークロードの変化を監視し、論理サーバ単位で自動で追加・解放（スケールイン・スケールアウト）するオートスケール機能をはじめとする新機能も充実します。

従来のコンピューティング技術の課題

コンピュータに合わせてワークロードを投入
ワークロード増加には、コンピュータを増強



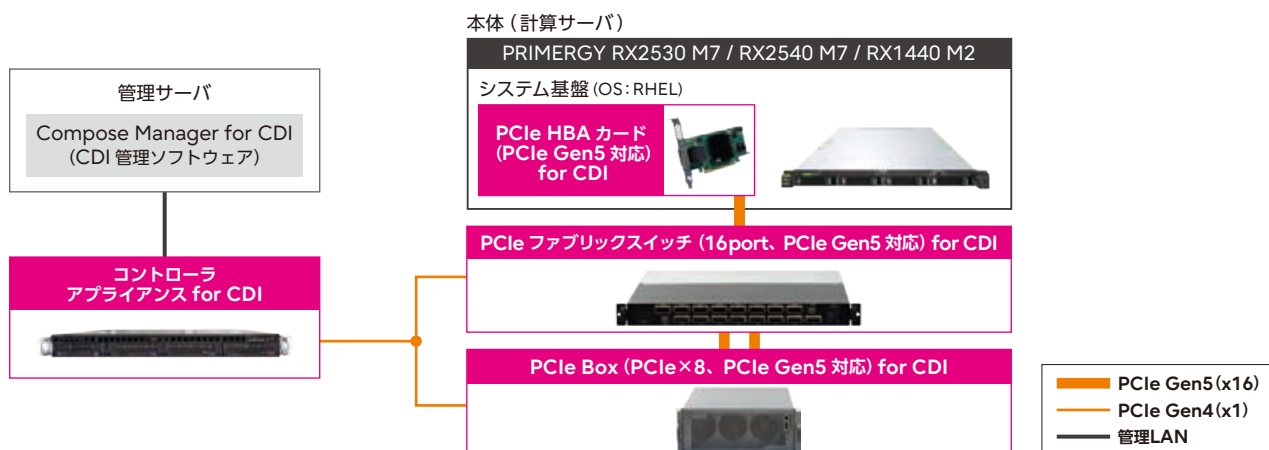
CDIによる課題解決



社会やビジネス環境の変化に対し、即応し、止めず、無駄なく、を追求。

投資・運用を効率化

PRIMERGY CDI V1.1 システム最小構成



※ HBAカード、PCIe BoxのPCIe規格はGen5となります。

※ PCIe SSDのPCIe規格はGen4となります。

※ [RHEL]は、「Red Hat Enterprise Linux」の略称です。

※本最小構成の例は、PRIMERGY CDI V1.1 PCIe Box (PCIe×8, PCIe Gen5対応) for CDIで構成した場合です。PCIe Box (PCIe×10) for CDIを使った構成の場合は、本体 (計算サーバ) 1台、10Slot PCIe Box1台、管理サーバ1台、コントローラアプライアンス for CDI1台の構成となります。

CDIの特長と導入効果

CDIの特長

- 筐体に縛られない自由なベアメタルサーバ構築
 - 様々なデバイスリソース (CPU、メモリ、AIC等^{*1}) をディサグリゲーション技術により論理的に分解し、システム全体の共有リソースプールとして管理することで、自由に組み合わせることを可能にする。
- 最適なインフラ構築
 - リソースプールの中から条件に合ったデバイスリソースを選択し、リモートで論理サーバを構築。
 - 使用後の論理サーバを自動的に解体・消去し、再利用可能な状態でリソースプールへ返却。
- 監視による自動構成変更^{*2}
 - ワークロードの変化やリソースの状態を監視し、ポリシーに応じてインフラを自動的に増強/縮退。

^{*1} : V1.1時点ではGPU、HCA、SSDが対象 ※AIC: Add-in Cards (GPU、HCA、SSD、FPGAなど)

^{*2} : 論理サーバ単位の自動構成変更は2025年1月に提供開始。デバイスリソース単位の自動構成変更はV2.0以降で提供予定

導入効果



※ CDIは、「Composable Disaggregated Infrastructure」の略称です。

仕様概略		コントローラ アプライアンス for CDI	PCIe ファブリックスイッチ (16port、 PCIe Gen5対応) for CDI ^{※3}	PCIe Box (PCIe×8、 PCIe Gen5対応) for CDI ^{※3}	PCIe Box(PCIe×10) for CDI	PCIe HBAカード (PCIe Gen5対応) for CDI ^{※3}	PCIe SSD-960GB (R) ×8 for CDI PCIe SSD-800GB (MU) ×8 for CDI
外形寸法		W437×D503×H43 (1U) [mm]	W445×D407×H43 (1U) [mm]	W439×D470×H178 (4U) [mm]	W439×D602×H178 (4U) [mm]	D168×H68 [mm]	W18×D269×H122 [mm]
最大質量		9.1kg	8.7kg	17.5kg	20.8kg	152.0g	567.0g
電源装置 (PSU)		400W×2 (冗長構成) (80PLUS® Platinum 認定取得) ^{※1}	550W×2 (冗長構成) (80PLUS® Platinum 認定取得) ^{※1}	2,600W×2(冗長時構成 ^{※2}) (80PLUS® Titanium 認定取得) ^{※1}	2,400W×4 (冗長時構成) (80PLUS® Platinum 認定取得) ^{※1}	—	—
外部AC入力電圧		AC100V (50/60Hz) AC200V (50/60Hz)	AC100V (50/60Hz) AC200V (50/60Hz)	AC200V (50/60Hz)	AC200V (50/60Hz)	—	—
周囲環境 条件 (動作時)	周囲温度	5～35℃	0～35℃	0～35℃	0～35℃	－10～40℃	0～55℃
	周囲湿度	8～90% (結露なし)	10～90% (結露なし)	10～90% (結露なし)	20～80% (結露なし)	10～90% (結露なし)	5～95% (結露なし)
消費電力		最大400W	最大225W	最大4,200W	最大4,800W	最大27W	アクティブ時: 約65W (平均値)
ポート帯域幅		—	128GB/s (全二重)	128GB/s (全二重)	最大64GB/s (全二重)	128GB/s (全二重)	—
総合帯域幅		—	2,048GB/s (全二重)	1,024GB/s (全二重)	最大256GB/s (全二重)	—	—
レイテンシ		—	115ns	115ns	105ns	115ns	リードアクセスレイテンシ: ～80μs ライトアクセスレイテンシ: ～20μs
その他固有の 仕様/機能		・システム冷却: 4×40×28mm PWM ファン	・フェイルオーバー: 冗長構成不可 ・PCIe Gen 5.0スイッチ、 16ポート ・PCIeケーブル: CDFPケーブル ・拡張性: 複数スイッチのトポロジー	・データポート: PCIe Gen 5.0 x16レーン (2ポート) ・システム冷却: 300CFM 120mm ファン×3 ・PCIeケーブル: CDFPケーブル	・データポート: PCIe Gen 4.0 x16レーン (4ポート) ・システム冷却: 136CFM 80mm ファン×5 ・PCIeケーブル: MiniSAS HD ケーブル	・コネクタ: PCIe x16 カードエッジ コネクタ 標準CDFPコネクタ ・ケーブルタイプ: PCIeケーブル ・PCIe Switch: Broadcom PEX89032 ・32GT/s 32 レーン PCI Express Gen5 スイッチ ・DMコントローラ ・SSC分離	・フォームファクター: スタンダードフォーム ファクターFHFL カード ・NANDタイプ: TLC 3D NAND ・リード帯域幅: 最大24GB/s ライト帯域幅: 最大24GB/s ・プロトコル: NVMe 1.3 ・バスインターフェース: PCI Express 4.0 x16 ・セキュリティ: AES データ暗号化 ・吸排気: 最小400 LFM ・ランダムリードIOPS(4k): ～4,000,000 ・ランダムライトIOPS(4k): ～4,000,000 ・耐久性: 最大61.53 PBW

※1 接続先によってプラグの形状は異なります。詳細はシステム構成図をご確認ください。
※2 総消費電力が2,600Wを超えると、非冗長構成で動作します。
※3 PCIeファブリックスイッチ (48port) for CDI / PCIe Box (PCIe×8) for CDI / PCIe HBAカード for CDIは公開サイトをご確認ください。

- 「CDI」は、「Composable Disaggregated Infrastructure」の略称です。
- 「HBA」は、「Host Bus Adapter」の略称です。
- 「CXL」は、「Compute Express Link」の略称です。
- 「RHEL」は、「Red Hat Enterprise Linux」の略称です。

PRIMERGYバックアップ製品がお客様のデータを守ります！

データ量の増大・多様化、効率化、セキュリティ、法規制によるデータ保護の重要性が高まっています。

重要なデータにこんな危険はありませんか？

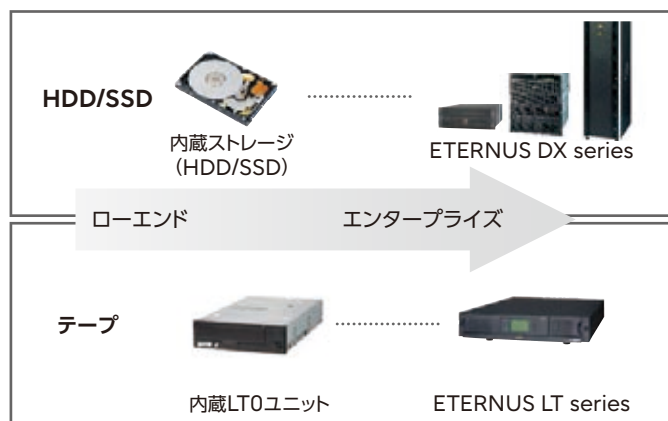
ハードウェア、システム障害によるデータの損失
誤って大事なデータを削除
ソフトウェアの不具合によるデータ破壊
コンピュータウイルスによるデータ破壊
自然災害(火災・震災等)によるシステム破損



バックアップとメディア保管により、データ喪失を防ぎ、
ビジネス損失を回避します。

用途・規模に合わせてバックアップ製品をお選びください

当社ではローエンドからエンタープライズまでさまざまなバックアップ製品を用意しています。



シングルドライブ装置仕様表

品名	内蔵データカートリッジドライブユニット		
型名	PY-RD111 / PY-RD112		
希望小売価格 (税別)	39,000円		
設置形態	サーバ内蔵型		
搭載可能データ媒体数	1巻		
記憶容量	40GB, 80GB, 120GB, 160GB, 320GB, 500GB, 1TB, 2TB, 3TB, 4TB (カートリッジによる)		
最大転送速度	100MB / 秒		
インターフェース	USB3.0		
消費電力 / 発熱量	最大20W / 72kJ/h		
備考	最大転送速度で動作するためにはUSB3.0に対応した接続ポートおよび接続ケーブルが必要です。		

品名	内蔵LTO7ユニット	内蔵LTO8ユニット	内蔵LTO9ユニット
型名	PY-LT711	PY-LT811	PY-LT911
希望小売価格 (税別)	1,060,000円	1,182,000円	1,655,000円
設置形態	サーバ内蔵型	サーバ内蔵型	サーバ内蔵型
データ記録形式	Ultrium-7, Ultrium-6, Ultrium-5 (Ultrium 5はRead機能のみ)	Ultrium-8, Ultrium-7	Ultrium-8, Ultrium-9
搭載可能データ媒体数	1巻	1巻	1巻
記憶容量	6.0TB	12.0TB	18.0TB
圧縮時 (*1)	約15.0TB	約30.0TB	約45.0TB
最大転送速度 (非圧縮時)	300MB/s	300MB/s	300MB/s
インターフェース	SAS	SAS	SAS
消費電力 / 発熱量	最大 64.5W / 232.2kJ/h	最大64.5W / 232.2kJ/h	最大64.5W / 232.2kJ/h

(*1) 圧縮時の記憶容量は目安です。バックアップ対象データがすでに圧縮済みであったり、データ形式により圧縮率は異なりますのでご注意ください。

注 1 : 対応OS / ソフトウェアについてはシステム構成図を参照してください。

注 2 : テープ、カートリッジ (HDD) は添付されていません。別途手配が必要です。

注 3 : 最大転送速度はバックアップソフトおよびシステム環境に依存します。

バックアップソフトウェアで安心バックアップ！

Arcserve Backup [Windows]

Arcserve Backupは、x86サーバPRIMERGY上のデータおよびシステムのバックアップを行うソフトウェアです。

簡単インストールで扱いやすい操作画面、かつ作業性が非常によいソフトウェアです。

当社は、Arcserve、PRIMERGY、バックアップ装置を組み合わせ、徹底した動作検証を行い、高い品質を確保しています。

また、Arcserveの国内最大ベンダーとしての豊富な事例と経験をベースに、ハイレベルなサポートを提供します。

➡ 価格はP.71をご覧ください。

NetVault Backup [Windows / Linux]

NetVault Backupは、あらゆる規模のシステム要求に合わせて、必要な時、必要なだけ拡張ができるバックアップ / リストア・ソフトウェアです。

今日のマルチプラットフォーム環境や、膨大なデータを扱うアプリケーションが抱えるデータ保護問題をシンプルに解決します。

NetVault Backupをお客様に安心してご利用いただくため、当社では、PRIMERGY、OS、バックアップ装置を組み合わせた検証を実施しております。

また、システムの安全稼働、継続性を強力に支援する為のサポートデスク (有償) もご用意しています。

Symantec Backup Exec [Windows]

世界シェアNo.1バックアップソフト「Symantec Backup Exec」は、PRIMERGY上のデータのバックアップを行うソフトウェアであり、ビジネスの成長に合わせた信頼性の高いバックアップおよびリカバリを提供します。

重複排除の利用により、ストレージと管理に要するコストを削減しながら、より多くのデータを簡単に管理できます。

また、ビジネスの停止時間を削減し、仮想または物理システム上の重要情報を常に保護し短時間でリストアできるようにします。

サーバ集約ニーズや日本の使用環境を熟知した、ラックシステムソリューション

高冷却に対応した専用ラック

サーバ集約のニーズに対応できる高冷却ラック

冷却能力/ケーブル収容力を向上させたスタンダードラックです。従来のラックよりも扉の開閉率を大幅にアップすることで、発熱量の大きなサーバに対しても十分な冷却能力を持たせています。また、ラックの奥行を拡張することで、ケーブルの収容能力を向上させました。UNIX製品やストレージ製品との混在した搭載もできますので、部門などに散在するサーバの集約にも最適な製品です。

耐震性に優れている当社のラック

震度5の地震にも耐えられる当社のラック

システム管理者の方から、万が一、地震が発生したときにラックが崩れ、搭載された機器が壊れないか心配。という声がよく聞かれます。地震は防げなくとも、ラックが耐えられれば、業務停止による損失、システム復旧のための損失（破損による新規購入など）を最小限に抑えることができます。お客様の大切なシステムやデータを守り抜くこだわりを実現しています。



試験風景

ここがすごい

日本の環境を知りつくした、当社ならではの

システムの稼働状態で最大震度5強まで加震したテストをしています。本物の地震波で振動を与える試験を行っているので安心です。

実際の使用に役立つ、多彩なラックまわりのオプション



増設ラック



耐震キット

必要なオプションをご用意。

ラックに搭載したサーバを安心・快適に運用するためには、拡張に必要な増設ラックや地震対策用のキットも必要です。当社はこれら必要なラック回りのオプションを多数ご用意しております。

19インチラック ラインナップ													
収容ユニット数	42U								37U		24U		16U
	ワイド				スリム		スタンダード		スタンダード		スリム	スタンダード	スリム
	基本	増設	基本	増設	基本	増設	基本	増設	基本	増設	基本	基本	基本
型名	PY-RBRCA	PY-RBRCB	PY-RBRCA3	PY-RBRCB3	19R-264A2	19R-264B2	19R-274A2	19R-274B2	19R-273A2	19R-273B2	19R-262A2	19R-272A2	19R-261A2
外観													
希望小売価格	940,000円	700,000円	940,000円	700,000円	361,000円	350,000円	328,000円	317,000円	341,000円	330,000円	300,000円	264,000円	248,000円
サイズ (W×D×H) [mm] [ネジ・ハンドル等の突起物含む]	800×1200×2000				600×1050×2000 [600×1075×2008]		700×1050×2000 [700×1075×2008]		700×1050×1792 [700×1075×1800]		600×1050×1200 [600×1075×1208]	700×1050×1200 [700×1075×1208]	600×1050×845 [600×1075×853]
ラック質量	155kg	125kg	155kg	125kg	114kg	88kg	129kg	103kg	124kg	100kg	79kg	91kg	67kg
最大搭載質量	840Kg				840kg				740kg		480kg	480kg	320kg
用途	PRIMERGY 製品の搭載が可能なPRIMERGY 専用ラックです。また、水冷対応ラックとして RackCDUの取付け・搭載が可能です。				プラットフォーム共通ラックとしての機能を継承しつつ、設置性の改善等の新機能を加えた19インチラックです。								

■上記ラックは全てEIA規格に準拠しています。

不慮の電源障害に備えていますか？

無停電電源装置 (UPS) でデータ破壊を回避、安心確保!

電源トラブルはいつ発生するかわかりません

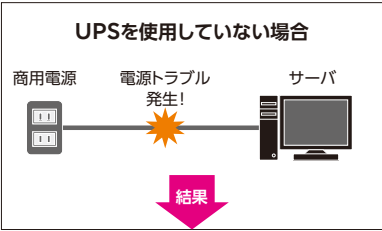
落雷などによる、停電、瞬断、電圧変動など、コンピュータ機器に影響を与える電源トラブルはいつ発生するかわかりません。こんなときUPSがあれば、コンピュータ機器のデータ損失やハードディスクの破損を防ぐことができます。電源障害によってシステムがダウンすると、業務がストップし企業活動に深刻な打撃を与えかねません。

もしものときに備えてUPSの導入をお勧めします。

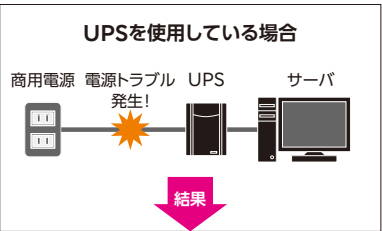
UPSを導入していないと...

電圧低下・瞬断・電圧変動などのさまざまな電源障害は、ハードウェア損傷、データ損失、ファイル破壊などを引き起こし、これらのデータの復旧には莫大な時間と費用を要します。

また、LAN・インターネットなど情報通信機器の普及により、ネットワーク全体のアベイラビリティが重要となってきています。ネットワークシステムの停止は物的損害だけでなく、ビジネス機会の損失や信用の失墜など、より大きな問題へと発展していく危険性を含んでいます。こうした事態を未然に防ぐためにUPSは欠かせないのです。

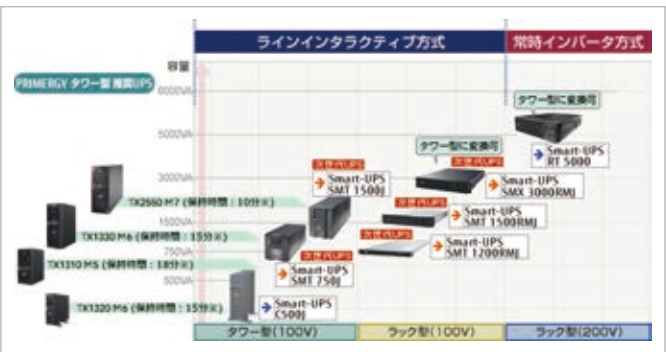


ハードウェアの損傷、データの損失などさまざまな障害にみまわれ、システムダウンにつながります。



電源のトラブル (停電、瞬断、電圧低下等) でも、サーバが正常なシャットダウン処理を行いシステムを保護し、安定運用を確保。データを守ります。

環境に合わせてUPSをお選びいただけます



UPSのラインナップにはタワー型/ラックマウント型があります。PRIMERGYの形状と負荷側機器の消費電力に合わせて、最適なUPSをお選びいただけます。

UPSのバッテリーは、電源の投入/切断時間にかかわらず約2年または3年を経過すると寿命となります。さらに、この期間を超えて交換しないまま使用し続けた場合、バッテリー内部の化学変化により膨張し、異臭の発生や発煙などの原因になる場合があります。これらを防ぐためには、適時交換が必須となります。

電源管理ソフトウェアPowerChuteでより安全な運用を!

UPS搭載のバッテリーが電力を供給できる時間には限りがあります。そのため長時間に及ぶ電源障害の場合、データ破壊は時間の問題です。PowerChuteは停電時にサーバシャットダウンを正常に行い、データ破壊を回避します。また、スケジュール運転も可能です。

商品ラインナップ

PowerChute Serial Shutdown

複数のOSが混在するシステムにおいて、管理者によるUPSの一元管理を効率的に行えます。



PowerChute Network Shutdown

ネットワークマネジメントカードとの組み合わせによりWebブラウザからLAN経由でシステムを安全に自動シャットダウンすることができます。同一ネットワーク内での、遠隔地における複数台のサーバ制御が行えます。



製品・価格の詳細はP.72をご覧ください。

製品名	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS C500J)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMT 750J)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMT 1200RMJ)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMT1500J)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMT 1500RMJ)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMX 3000RMJ)	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS RT 5000)
型名	PY-UPAT503	PY-UPAT752	PY-UPAR122	PY-UPAT152	PY-UPAR152	PY-UPAC3K2	PY-UPAC5K4
希望小売価格 (税別)	65,000円	73,000円	174,000円	130,000円	135,000円	282,000円	662,000円
定格電圧	100V						200V
定格容量	500VA / 360W	750VA / 500W	1200VA / 1000W	1500VA / 980W	1500VA / 1200W	2400VA / 2400W	5200VA / 4600W
タイプ	タワー型		ラックマウント型	タワー型	ラックマウント型	タワー型 / ラックマウント型	タワー型 / ラックマウント型
入力コンセント	NEMA 5-15P (平行2P、アース付き)			NEMA 5-15P (平行2P、アース付き) (*1)	NEMA 5-15P (平行2P、アース付き) (*1)	NEMA L5-30P (標準装備) ×6	NEMA L6-30P
出力コンセント	3P (平行2P、アース付き) ×4	3P (平行2P、アース付き) ×6	3P (平行2P、アース付き) ×4	3P (平行2P、アース付き) ×8	3P (平行2P、アース付き) ×6	3P (平行2P、アース付き) ×6 / NEMA L5-30R ×1	NEMA L6-20R (20A / 250V) 2口 NEMA L6-30R (30A / 250V) 2口

(*1) 標準入力プラグのままでは最大容量を使用することはできません。(12A/1200VAまで使用可能)。最大容量を必要とする場合は、20Aのプラグへの変更が必要です。

x86サーバ PRIMERGY向けの工場セットアップサービス

すぐにご利用いただける高品質なITインフラを短納期でご提供します

x86サーバ PRIMERGYの製造工場で実施するサービスです。
OSセットアップやサーバのラックへの搭載や複数RAID環境の構築、オプション製品のサーバへの実装などの、サーバを導入する上での初期作業を、あらかじめ製造工場で実施してお届けするため、機器納品後の作業工数の削減を可能にします。

■ OS基本導入 (Windows)

<基本>

OS基本導入 (Windows)

【選択】対象OS

- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2022 Essentials
- Windows Server 2025 Standard
- Windows Server 2025 Essentials

<オプション>

システムパーティション領域拡張 (+50GB)

基本システムパーティション領域変更 (60GB)

アプリケーションインストール (PowerChute)

凡 例

当社の標準パラメーターに設定してお届けするサービス。

お客様指定のパラメーター、また搭載位置に搭載してお届けするサービス。
本サービスはサービス実施前に、サービス依頼書を送付いただく必要があります。

<オプション>

ネットワーク情報設定 (コンピュータ名/IPアドレス)

OS設定値であるコンピュータ名・IPアドレスをお客様指定の値に設定

ネットワーク情報設定 (リモートマネジメントコントローラ)

リモートマネジメントコントローラのIPアドレスをお客様指定の値に設定

■ OS基本導入 (Linux)

OS基本導入 (Linux)

【選択】対象OS

- Red Hat Enterprise Linux 8.6
- Red Hat Enterprise Linux 8.8
- Red Hat Enterprise Linux 8.9

■ カスタムメイドプラスサービス

カスタムメイドプラスサービス

【選択】

- RAID設定 (レベル選択可)
 - RAID設定 (ホットスワップ)
 - PCIカード搭載
 - ラック搭載
 - ラベル作成/貼付*
 - 添付品カスタマイズ*
 - 情報リスト作成*
- ※10台以上の適用となります。

Fujitsuロゴ変更サービス

【選択】

- Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS非対応版)
- Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS対応版)
- Fujitsuロゴ変更サービス (PRIMERGY筐体ノーブランド)
- Fujitsuロゴ変更サービス (PRIMERGY筐体オリジナルブランド)

インフラ基本導入サービス

■ OS基本導入 (Windows)

<サービス内容>

- ☐ サーバ本体にインストールされているWindows OSの開封および基本設定 (当社指定の標準パラメーター値)
- ☐ 当社保守/運用支援ツール (ServerView Agentless Serviceなど) のインストール
- ☐ 当社指定のOSセキュリティ更新プログラムの適用
- ☐ システムパーティション領域を100GBに設定
- ☐ 出荷状態での動作確認・検査

品名	型名	希望小売価格	OSバージョン
OS基本導入 (Windows Server 2019 Standard)	PYBDK9003	オープン価格/台	WS19S
OS基本導入 (Windows Server 2022 Standard/Essentials)	PYBDK3003	オープン価格/台	WS22S/WS22E
OS基本導入 (Windows Server 2025 Standard/Essentials)	PYBDK2501	オープン価格/台	WS25S/WS25E

[表中略称] WS19S:Windows Server 2019 Standard、WS22S:Windows Server 2022 Standard、WS22E:Windows Server 2022 Essentials
WS25S:Windows Server 2025 Standard、WS25E:Windows Server 2025 Essentials

■ OS基本導入 (Windows) -オプション

「システムパーティション領域拡張 (+50GB)」

- ＜サービス内容＞
- ☐ システムパーティション領域を100GBから“50GB”拡張することで、150GBに拡張します。
 - ☐ 最大3つまで手配が可能。本サービスを2つ手配することで、システムパーティション領域を100GB→200GBへ、3つ手配することで、100GB→250GBに拡張します。

品名	型名	希望小売価格
システムパーティション領域拡張 (+50GB)	PYBDKP003	オープン価格 / 台

「基本システムパーティション領域変更-60GB」

- ＜サービス内容＞
- ☐ システムパーティション領域を100GBから「60GB」へと変更し、設定します。

品名	型名	希望小売価格
基本システムパーティション領域変更-60GB	PYBDKP001	オープン価格 / 台

「アプリケーションインストール (PowerChute)」

- ＜サービス内容＞
- ☐ サーバ本体と同時購入された対象ソフトウェアを工場出荷時にインストール
 - ☐ 当社指定の標準パラメーター設定

品名	型名	希望小売価格	対象ソフトウェア
アプリケーションインストール (PowerChute)	PYDA00002	オープン価格/台	PowerChute Serial Shutdown ＜留意事項＞ ※対象ソフトウェア以外に「無停電電源装置 (UPS)」の同時購入が必要です。 (UPS用 RS-232C拡張ボード経由は対象外となります。 またSmart-UPS RT 10000、Smart-UPS RT 5000 を除く)

「ネットワーク情報設定 (コンピュータ名/IPアドレス)」

- ＜サービス内容＞
- ☐ 「コンピュータ名」や「オンボードLANのIPアドレス」などのWindows Server OSの設定値の一部を指定いただいた値に設定
 - ☐ システムパーティション領域を、指定いただいた値に設定
 - ※100GB以上の指定値が対象です。
 - なお「基本システムパーティション領域変更-60GB (PYBDKP001)」を手配されている場合は、60GBを超えて、100GB未満の値が範囲となります。
 - ☐ リモートデスクトップの設定を指定いただいた値に設定
 - ☐ Administratorのパスワードや、新規ユーザ設定を指定いただいた値に設定

品名	型名	希望小売価格
ネットワーク情報設定 (コンピュータ名/IPアドレス)	PYDW00001	オープン価格 / 台

「ネットワーク情報設定 (リモートマネジメントコントローラ)」

- ＜サービス内容＞
- ☐ PRIMERGYに標準搭載[※]のハードウェア監視モジュール「リモートマネジメントコントローラ」を、事前に指定いただいたIPアドレスに設定
 - ※TX1310 M5はBoard Management Controller対応タイプのみ

品名	型名	希望小売価格
ネットワーク情報設定 (リモートマネジメントコントローラ)	PYDW00002	オープン価格 / 台

■ OS基本導入 (Linux)

- ＜サービス内容＞
- ☐ OSのインストールおよび基本設定 (当社指定の標準パラメーター値)
 - ☐ セキュリティの設定
 - ファイアウォールの初期設定
 - 管理者権限 (rootアカウント) でのリモートログイン (ssh接続) の無効化
 - ログイン/パスワード対応の強化 (初回起動時に変更必須)
 - ※お客様向けのシステム要件に合わせてセキュリティ設定は別途必要となります。
 - ☐ 当社指定のOSセキュリティ更新プログラム (errata) [※]の適用
 - ※OSセキュリティ更新プログラム (errata) は、SupportDesk Standard/Standard24 (RHEL) の基本サポートの範囲で適用します。
 - ☐ 当社保守/運用支援ツール (ServerView Agentless Service) のインストール
 - ☐ 出荷状態での動作確認・検査

品名	型名	希望小売価格
OS基本導入 (Red Hat Enterprise Linux 8.6 (for Intel64))	PYDKL8602	オープン価格 / 台
OS基本導入 (Red Hat Enterprise Linux 8.8 (for Intel64))	PYDKL8801	オープン価格 / 台
OS基本導入 (Red Hat Enterprise Linux 8.9 (for Intel64))	PYDKL8901	オープン価格 / 台

カスタムメイドプラス

お客様システムの要件に対し、カスタムメイド構成で手配できないRAIDレベルや複数構成での設定、PCIカードの搭載、ラックへの搭載、および複数台のシステム展開に有効なラベル作成/貼付、添付品のカスタマイズなどを当社指定工場で実施してお届けするサービスです。

品名	型名	希望小売価格	サービス内容
RAID関連			PRIMERGY本体の内蔵ストレージ (HDD/SSD) の実装およびRAID設定/変更を行います。 <対象本体> ・PRIMERGYサーバ ・JX40 S2 (ハードディスクキャビネット) ※JX40 S2 (ハードディスクキャビネット) を除く、ETERNUSディスクアレイ装置は対象外
RAID設定 (レベル選択可)	PYDPRA001	28,000円 /RAID構成	指定のRAIDレベル1つの設定/変更、およびホットスベア設定 (1本まで) を行います。(注1) ※内蔵ストレージの購入方法は以下の通りです。 <PRIMERGY本体> カスタムメイドのRAID設定サービスを購入されている場合: PRIMERGY本体に対する一般型名 (非カスタムメイド型名) による内蔵ストレージの購入をお願いします。 カスタムメイドのRAID設定サービスを購入されていない場合: PRIMERGY本体に対するカスタムメイド型名による内蔵ストレージの購入をお願いします。 <JX40 S2 (ハードディスクキャビネット)> JX40 S2 (ハードディスクキャビネット) に対するカスタムメイド型名による内蔵ストレージの購入をお願いします。
RAID設定 (ホットスベア)	PYDPRH001	15,000円 /本	内蔵ストレージ (HDD/SSD) に対して、ホットスベア設定 (1本) を行います。 ※設定対象ディスクグループを構成している内蔵ストレージと同一仕様 (容量/回転数) の内蔵ストレージの購入をお願いします。 ※内蔵ストレージの購入方法は以下の通りです。 <PRIMERGY本体> PRIMERGY本体に対する一般型名 (非カスタムメイド型名) による内蔵ストレージの購入をお願いします。 <JX40 S2 (ハードディスクキャビネット)> JX40 S2 (ハードディスクキャビネット) に対するカスタムメイド型名による内蔵ストレージの購入をお願いします。
ハードウェア搭載関連			
PCIカード搭載	PYDPEC001	9,000円 /枚	PRIMERGY本体のご指定の空きスロット位置にPCIカードを搭載して出荷します。 <対象本体> ・PRIMERGYサーバ 一般モデル ※PCIカード搭載後の動作確認はサービス対象外です。 ※PCIカードの添付品は、PRIMERGY本体に同梱します。 ※PCIカードの梱包箱は廃棄します。
ラック搭載	PYDPM0001	100,000円 /ラック	以下の対象装置をラックのご指定の位置に搭載して出荷します。(注2) (注3) (注4) (注5) <対象装置> ・PRIMERGY ラックマウント型サーバ (RX, GX) ・PRIMERGY タワー型サーバ (TX) のラックマウントタイプ ・PRIMERGY ラックマウント関連オプション ・ETERNUS オールフラッシュストレージ/ハイブリッドストレージ/テープライブラリ ・ネットワーク機器 IPCOM (注6) ・無停電電源装置 (UPS) <対象ラック> ・収容ユニット16U/24U/37U/40U/42Uの19インチラック
大規模セットアップ			PRIMERGY本体の複数台展開時に、必要となる作業を実施して出荷します。 本サービスは、PRIMERGY本体 10台以上からの適用となります。
ラベル作成/貼付	PYDPS0001	3,500円 /台	お客様ご指定の文字列にてラベルを作成し、梱包箱とPRIMERGY本体それぞれに1枚貼付します。
添付品カスタマイズ	PYDPA0001	3,000円 /台	お客様からご提供いただいた添付品の追加や、PRIMERGY本体の添付品を削除します。
情報リスト作成	PYDPL0001	1,300円 /台	PRIMERGY本体の装置号機、Onboard LAN のMACアドレス、BIOS/iRMC/SDR版数、保証期間、iRMCライセンス情報 (リモートマネジメントコントローラアップグレード手配時のみ)、リモートマネジメントコントローラのログインパスワード情報 (2way M7以降) を、当社規定のフォーマット (Excelファイル) でリスト化します。
その他	個別型名	個別見積	BIOSの設定変更やお客様専用マスタのインストールなど、本表に記載されていないPRIMERGYのセットアップ内容。 詳細は弊社担当営業もしくは販売店までお問い合わせください。
Fujitsuロゴ変更サービス			PRIMERGY本体の複数台展開時に、必要となる作業を実施して出荷します。 本サービスは、PRIMERGY本体10台以上からの適用となります。
Fujitsuロゴ変更サービス (プレ設定)	PYBSSS2	1,000円 /台	以下、Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS対応/非対応版) を実施する際のBIOSのプレ設定を行います。 Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS対応/非対応版) のいずれか一つと同時手配必須です。 ・Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS非対応版) PYDBRA001 ・Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS対応版) PYDBRA002
Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS非対応版)	PYDBRA001	15,600円 /台	BIOS/iRMCのFujitsuロゴ/Fujitsuの文字列等を削除し、お客様指定ロゴや文字列を表示します。 「Fujitsu」や「PRIMERGY」などの文字列もお客様企業名などご指定の文字列へ変更が可能 (注7) です。 サーバ運用管理ソフトウェア「Fujitsu Software ServerView Suite」が使用できないため、運用管理は別の方法で行っていただく必要があります。 Fujitsuロゴ変更サービス (プレ設定) 【型名:PYBSSS2】と同時手配必須です。
Fujitsuロゴ変更サービス (BIOS・iRMC、SVS対応版)	PYDBRA002	15,600円 /台	BIOS/iRMCのFujitsuロゴ/Fujitsuの文字列等を削除し、お客様指定ロゴを表示します。 お客様指定の文字列への変更はできません。 サーバ運用管理ソフトウェア「Fujitsu Software ServerView Suite」を使用することができます。 Fujitsuロゴ変更サービス (プレ設定) 【型名:PYBSSS2】と同時手配必須です。
Fujitsuロゴ変更サービス (PRIMERGY筐体 ノーブランド)	PYDBRB001	16,000円 /台	サーバ筐体のFujitsuロゴやインフィニティマークなどを取外します。
Fujitsuロゴ変更サービス (PRIMERGY筐体 オリジナルブランド)	PYDBRB002	17,400円 /台	サーバ筐体のFujitsuロゴやインフィニティマークなどを取外します。 お客様提供のロゴプレート等を取付けます。 取付けるロゴプレート等は、お客様にて作成いただく必要があります。 作成いただくプレートサイズやその他規定につきましては、制限があります。

注1: Windows OS インストールオプションを同時購入し、本サービスにてシステムディスクのRAIDを再設定する場合、Windows OSの再インストールは実施いたしません。
注2: お客様搬入先への搬入経路を確保できない場合は、「ハードウェア設置サービス」による現調作業が必要となりますので、必ず事前に搬入経路をご確認ください。
注3: 保守時の作業性や運送時の安定性を考慮して、ご希望の搭載パターンにできない場合があります (重量物の高位置へのラック搭載等の場合)。
注4: ケーブル接続およびフォーミングは行いません。作業を委託される場合は、「ハードウェア設置サービス」を購入ください。
注5: サービス実施対象ラックが19インチラック 2***の場合、ケーブルホルダは取付けできません。
注6: ラック取付金具がオプションとなっている製品は、必ず購入ください。
注7: 変更使用するイメージの種類やサイズ、文字列の文字コードや文字数には制限があります。

快適な使用環境を実現するPRIMERGYだけのこだわり

x86サーバ PRIMERGYでは、人間工学的な観点から研究を重ね、サーバでありながら、お客様に快適にご使用いただけるよう、設計・製造・導入・運用にこだわりつづけています。

24時間、365日運用でも止まらない高信頼性に向けて

日々進化しているインターネットシステムや、ミッションクリティカルなシステムにおいて、サーバの24時間、365日稼働は最も重要な課題です。x86サーバ PRIMERGYは、設計段階から製造、導入、そして運用における全てのフェーズにおいて、徹底した設計検証、厳密な品質管理、充実のサーバ管理機能等により、高信頼を追求し続けています。

高品質にこだわる、Made in Japan

日本のお客様の高い要求にお応えするために、多彩なシステム開発で培った経験と技術力をベースとして、PRIMERGY本体の製造（部品受入検査・CPU組込み・装置組込み・最終組立て・出荷試験（品質管理））からサポートを、国内で実施しています。



開発での高い品質追求

設計段階では環境に配慮した材料選択、設計検証では疑似障害テストや振動試験等、製造段階では高温ランニング試験等による不良検出や経年変化試験などを実施しています。



高・低温ランニング試験

高温または低温状況下でのランニング試験、低温度または高温度でのランニング試験による評価



落下試験

梱包状態での落下後、正常に動作することを検証



EMI（電波障害）テスト

稼働時に装置より発生する電波を測定し、VCCI等の規格に適合することを検証



振動試験

装置に振動を加えた後、正常に動作することを検証



ラック耐震性試験

合成地震波試験による震度5の揺れでも壊れず、業務再開可能を検証



経年変化試験

高温高湿状態での加速試験により、部品品質の信頼性を評価



高負荷ランニング試験

電源のOn-Off試験、HDのリードライト試験、データ負荷試験などを行う。

オフィスでの快適な運用を実現する静音性

オフィス設置に最適な静音設計

オフィス環境の静音化に対するお客様の要望に応えるため、冷却効率の向上等により、冷却ファンからの騒音を抑え、静音化を実現しています。



TX1310 M5

約23dB (A) (実測値)



TX1320 M6

約18dB (A)～約49dB (A) (実測値)

※ GPGPUを搭載しない標準的な構成においては動作時で約21dB (A)の静音化を実現



TX1330 M6

約20dB (A)～約50dB (A) (実測値)

騒音に関するガイドライン*

50dB 静かな事務所

40dB 深夜の市内・図書館

30dB 人のささやき声

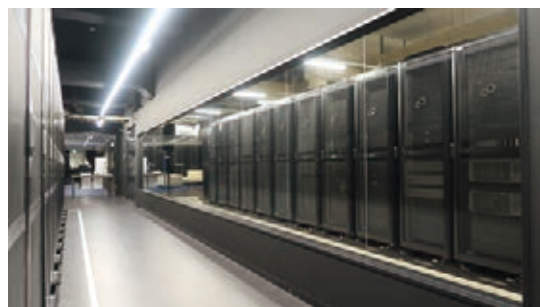
20dB 木葉のふれあう音

※参考資料：東京都環境局「東京の環境2009」（2009年7月発行）平成21年7月発行環境資料第21013号登録第22号

導入検討支援、保守サポート体制

最新プラットフォーム製品を体感頂ける検証・デモ施設 Platform Solution Lab

Platform Solution Labは、導入を検討頂いている機器上でのお客様業務アプリケーションや実績のないソフトウェア・機器などの組合せによる動作確認、レスポンスや処理時間を確認するための性能検証、プラットフォームソリューションをご覧頂けるデモンストレーション、などさまざまな最新プラットフォーム製品・ソリューションの機能や導入効果を事前にご確認ください。お客様事務所やテレワーク先などからリモート接続してのご利用が可能な環境もご用意しております。



Platform Solution Lab (東京・蒲田 富士通ソリューションスクエア内)
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/validation/>

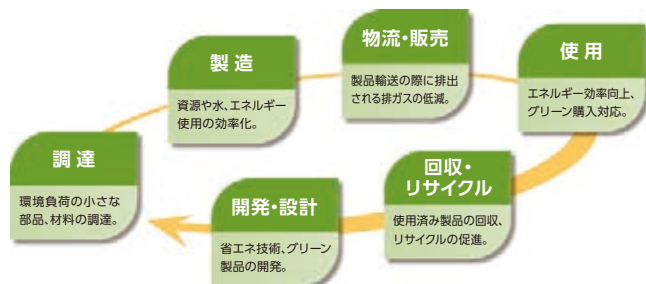
原則当日2時間以内のオンサイト対応が可能な保守サポート

ハードウェアのトラブル時には、日本全国約850箇所の保守サービス拠点、約8,000名のサービスエンジニア、約300箇所のパーツセンターにより原則当日2時間以内*でオンサイト対応が可能です。

*サーバを「SupportDesk Standard」契約した場合の目標値。(クライアント製品およびソフトウェアをのぞく)。ただしサービス時間終了の2時間前までに受付け、重大障害と判断した場合に限りません。また対象機器の設置地域/交通/天候などにより、2時間を超える場合や翌営業日以降の対応になる場合があります。

地球にやさしいx86サーバ PRIMERGY

設計から、回収まで。ライフサイクルを通して環境保全に取り組んでいます。



環境負荷の低減

●RoHS指令

電気・電子機器に含まれる特定化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、PBB(ポリ臭化ビフェニル)、PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)、フタル酸ブチルベンジル(BBP)、フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ジイソブチル(DIBP)の10物質>の使用を制限する欧州の規定である「RoHS指令」に対応しています。

●マニュアルの電子化

紙資源の節約のため、マニュアルの電子化を推進。下記のWebページにてマニュアルデータをご提供しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

●回収・リサイクルについて

当社は法人のお客様のご使用済ICT製品を回収・リサイクル(有償)し、資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。
 詳細は以下のWebページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」をご覧ください。
<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>

●ISO14001

富士通および主要な国内連結子会社において、環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/iso14001/index.html>

省電力

●省エネ法

このカタログに記載されているPRIMERGYは、省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)の2021年度目標基準に基づくエネルギー消費効率を表示しています。製品ごとのエネルギー消費効率は、各本体仕様一覧をご覧ください。



目標年度2021年度

グリーン購入

●グリーン購入法への対応

PRIMERGYは2001年4月から施行のグリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に基づく調達の2020年度基本方針(判断の基準)に対応しています。

環境ラベル

●グリーン製品

当社の厳しい環境評価基準(省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供など)をクリアした地球環境に配慮した、「グリーン製品」として提供しています。



Green Policy Innovation



EC 98J 2005

Windows Server® 2025

Windows Server® 2025は、Windows Server® 2022の後継製品であり、Windows Server® 2022のすべての機能は基本的にサポートされます。Windows Server 2025は、Windows Server 2022をベースに、Storage機能 (Resilient File System (ReFS)) や仮想マシンの機能等がエンハンスされた新バージョンのWindows Server OSです。

Windows Server® 2025は、Windows Server® 2022と同様に、Datacenter、Standard、およびEssentialsの3つのエディションが提供されます。ライセンスモデルはWindows Server® 2022と同じく、コアライセンスとなります。

Windows Server® 2025エディション概要

製品名	プラットフォーム	概 要
Windows Server 2025 Datacenter	64-bit	無制限の仮想インスタンスを実行可能な、データセンターおよびプライベートクラウド環境向けのエディションです。Datacenterエディションのみの機能として、記憶域スペースダイレクト、ネットワークコントローラーなどのSoftware Defined Network (SDN) の機能が利用できます。
Windows Server 2025 Standard	64-bit	標準で2つの仮想インスタンスを実行可能な、物理環境または、低密度な仮想環境向けのエディションです。Windows Server 2025の基本機能を利用できます。
Windows Server 2025 Essentials	64-bit	25ユーザーまたは50デバイスまで利用可能な小規模ビジネス向けのエディションです。1CPUおよびMAX10コアのサーバ製品で使用でき、1つの仮想インスタンス (Essentialsエディション限定) を実行することができます。

Windows Server® 2025エディション機能比較

	Datacenter	Standard	Essentials
ライセンスモデル	コアライセンス	コアライセンス	コアライセンス (10コアまで)
CAL	別途必要	別途必要	不要 (25ユーザーまたは50デバイス)
仮想インスタンス数	無制限	2	1
Windows Server基本機能	○	○	○
Remote Desktop Service	○	○	—
記憶域レプリカ (*1)	○	○	—
記憶域スペースダイレクト	○	—	—

(*1) ただしエディションにより機能差があります。

Windows Server® 2025のシステム要件

	Datacenter	Standard	Essentials
推奨CPU	1.40GHz以上の x64プロセッサ		
最大物理CPU数	64CPU (コア数の上限は無し)		1CPU
最小メモリ容量	デスクトップ エクスペリエンス使用時は2GB (Server Core 使用時は512MB)		2GB
最大メモリ容量	48TB	24TB	64GB
ドライブ	DVD-ROM (*1)		

※各種装置のサポート状況、最新情報は<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2025/>を参照ください。

(*1) OEMインストールメディアはDVD-ROMで提供されます。

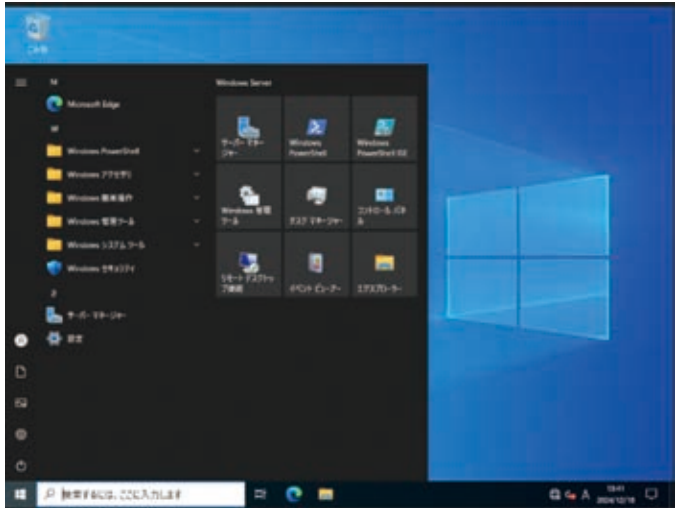
Windows Server® 2025のエンハンス機能

エンハンス機能 — デスクトップシェルの統一化

■ デスクトップシェルエクスペリエンスを統一

デスクトップシェルエクスペリエンスをWindows 11のスタイルと外観に準拠しました。クライアントPCと同じにすることで、より使いやすいエクスペリエンスを提供します。

Windows Server 2022



Windows Server 2025



エンハンス機能 — Storage機能の強化

■ Resilient File System (ReFS) 重複除去と圧縮

ReFS重複除去と圧縮機能は、ファイルサーバや仮想デスクトップなどの静的ワークロードとアクティブワークロードの両方のストレージ効率を最適化するための機能で、重複除去のみ、圧縮のみ、重複除去と圧縮の3つのモードが存在しており、ニーズに基づいて最適化を可能にします。

ReFSは、データの整合性を保つために設計されており、データ損失や破損リスクが大幅に軽減されます。また、大規模なデータセットや高負荷のワークロードに対して最適化されており、将来的な拡張もできます。そのためVirtual Desktop Infrastructure (VDI) 環境などに適しています。

そして本機能は、VDIなどのアクティブなワークロード向けに設計されており、要求の厳しい環境で効率的なパフォーマンスを確保するため、Microsoftの検証環境では、file Serverで60%、VHD/ISO backupで90%のスペース節約を行えます。本機能の実行方法は、Windows Admin CenterまたはPowerShellで可能です。スケジュールを曜日設定することにより、毎週決まった曜日と時間に自動的にジョブを実行することが可能です。PowerShellで実行する場合は、手動でのジョブ実行も可能です。

エンハンス機能 — パフォーマンスの強化

■ 仮想マシンの強化

仮想マシン世代のデフォルトが第2世代に拡張されました。これにより、柔軟なワークロードを使用することが可能となります。なお、拡張に伴い下記表の通り、その他のデフォルト値も変更となります。

	Windows Server 2022ホスト		Windows Server 2025ホスト
	第1世代	第2世代	第2世代
仮想マシン世代設定のデフォルト	○	×	○
仮想プロセッサ (VP) 割り当てデフォルト値	1	1	1～(*1)
仮想プロセッサ (VP) 割り当て最大値	64	240	2048(*2)
仮想メモリ割り当てデフォルト値	1024MB	1024MB	4096MB
仮想メモリ割り当て最大値	1TB	12TB	240TB(*3)
仮想HDDサイズのデフォルト値	127GB	127GB	127GB
仮想マシン構成バージョン	10.0	10.0	12.0

(*1) 割り当てられるVP数は、ホスト物理コア数により可変
実際の動作例：ホスト物理コア数が8の場合、自動で仮想マシンに割り当てられるVP数は4（あくまでデフォルト値のため後から変更は可能）
(*2) VP2048割り当ては、ゲストOSがWS2025の場合のみ、ゲストOSがWS2022の場合はVP1024まで割り当て可能
(*3) 240TB割り当ては、ゲストOSがWS2022/WS2025の場合のみ

Windows Server® IoT 2025 for Storage

Windows Server® IoT 2025 for Storageは、Windows Server® 2025をベースにした、ネットワーク接続ストレージ(NAS) アプライアンスに最適なOSです。Windows Server® をベースにしているため、Windows環境との親和性が高く、Active Directory環境にメンバーサーバとして参加できます。またバックアップソフトやウイルス対策ソフトなどの各種ソフトウェアを搭載することも可能です。

さらに、マルチプロトコルをサポートしているため、Windows/Linux/UNIX/Macintoshクライアントの共有ファイルサーバとして、ご利用いただけます。x86サーバ PRIMERGYでは、Windows Server® IoT 2025 for Storage Standardインストールオプション(*)をご用意しています。

(*) 対応機種はPRIMERGYシステム構成図を参照してください。

Windows Server® IoT 2025 for Storageエディション概要

製品名	プラットフォーム	概 要
Windows Server IoT 2025 for Storage Standard	64-bit	Windows Server IoT 2025 for Storage Standardはライセンスモデルがコアライセンスとなります。 CAL (クライアントアクセスライセンス) は不要であるため、ファイルサーバへの接続ユーザーが増えても、追加のCAL購入は不要です。 また、実行できる仮想インスタンスは最大2つです。

Windows Server® IoT 2025 for Storage Standardのシステム要件

Windows Server® IoT 2025 for Storageエディション	Standard
最大プロセッサソケット	64
最大メモリ	24TB
最大ディスク数	無制限
最大接続ユーザー数	無制限

Windows Server® IoT 2025 for Storageエディション	Standard
ライセンスモデル	コアライセンス
CAL (クライアントアクセス ライセンス)	不要
利用できる仮想インスタンス数	2

Windows Server® IoT 2025 for Storageの特長

CAL (クライアント アクセス ライセンス) が不要

Windows Server® 2025 Standard/Datacenterでは、サーバにアクセスするユーザーまたはデバイスごとに、CAL (クライアント アクセス ライセンス) が必要になりますが、Windows Server® IoT 2025 for Storage Standardはクライアント数に応じたCALをご用意する必要はありません。そのため導入・運用コストを大きく削減することが可能です。

Windows Server® 2025 Standard/Datacenter の場合



Windows Server® IoT 2025 for Storage Standard の場合



SMBの強化

SMB over QUICは、TCPネットワークトランスポートの代替手段を導入し、インターネットなどの信頼されていないネットワークを介してエッジファイルサーバへの安全で信頼性の高い接続を提供します。

Windows Server® IoT 2025 for Storage Standardは、在宅勤務者、モバイルデバイスユーザー、および高セキュリティ組織に“SMB VPN”を提供します。サーバー証明書は、従来のTCPポート445ではなく、インターネット対応のUDPポート443を介してTLS1.3で暗号化されたトンネルを作成します。

NVMeの強化

NVMeは、高速ソリッドステートドライブ (SSD) の新しい標準です。

Windows Server® IoT 2025 for Storage Standardは、NVMeストレージのパフォーマンスは最適化され、ストレージIOPSパフォーマンスが向上し、CPU使用率が軽減されます。

Windows Server® 2022

Windows Server® 2022は、Windows Server® 2019の後継製品であり、Windows Server® 2019のすべての機能は基本的にサポートされます。Windows Server 2019をベースに、セキュリティ強化(Secured-core Server)、Azureハイブリッド連携、アプリケーションプラットフォーム強化を中心にエンハンスされた新バージョンのOSです。

Windows Server® 2022は、Windows Server® 2019と同様に、Datacenter、Standard、およびEssentialsの3つのエディションが提供されます。Datacenter、StandardエディションのライセンスモデルはWindows Server® 2019と同じく、コアライセンスとなります。Essentialsエディションは、サーバライセンスからコアライセンスに変更となります。

Windows Server® 2022エディション概要

製品名	プラットフォーム	概 要
Windows Server 2022 Datacenter	64-bit	無制限の仮想インスタンスを実行可能な、データセンターおよびプライベートクラウド環境向けのエディションです。Datacenterエディションのみの機能として、記憶域スペースダイレクト、ネットワークコントローラーなどのSoftware Defined Network (SDN) の機能が利用できます。
Windows Server 2022 Standard	64-bit	標準で2つの仮想インスタンスを実行可能な、物理環境または、低密度な仮想環境向けのエディションです。Windows Server 2022の基本機能を利用できます。
Windows Server 2022 Essentials	64-bit	25ユーザーまたは50デバイスまで利用可能な小規模ビジネス向けのエディションです。Windows Server 2022からはCPUライセンスからコアライセンスに変更されました。1CPUおよびMAX 10コアのサーバ製品で使用でき、1つの仮想インスタンス (Essentialsエディション限定) を実行することができます。

Windows Server® 2022エディション機能比較

○=あり —=なし

	Datacenter	Standard	Essentials
ライセンスモデル	コアライセンス	コアライセンス	コアライセンス (10コアまで)
CAL	別途必要	別途必要	不要 (25ユーザーまたは50デバイス)
仮想インスタンス数	無制限	2	1
Windows Server基本機能	○	○	○
記憶域レプリカ (*1)	○	○	—
記憶域スペースダイレクト	○	—	—
Software Defined Network ネットワークコントローラー	○	—	—

(*1) ただしエディションにより機能差があります。

Windows Server® 2022のシステム要件

	Datacenter	Standard	Essentials
推奨CPU	1.40GHz以上の x64プロセッサ		
最大物理CPU数	64CPU (コア数の上限は無し)		1CPU
最小メモリ容量	デスクトップ エクスペリエンス使用時は2GB (Server Core 使用時は512MB)		2GB
最大メモリ容量	48TB		
ドライブ	DVD-ROM (*1)		

※各種装置のサポート状況、最新情報は<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2022/>を参照ください。

(*1) OEMインストールメディアはDVD-ROMで提供されます。

Windows Server® 2022のエンハンス機能

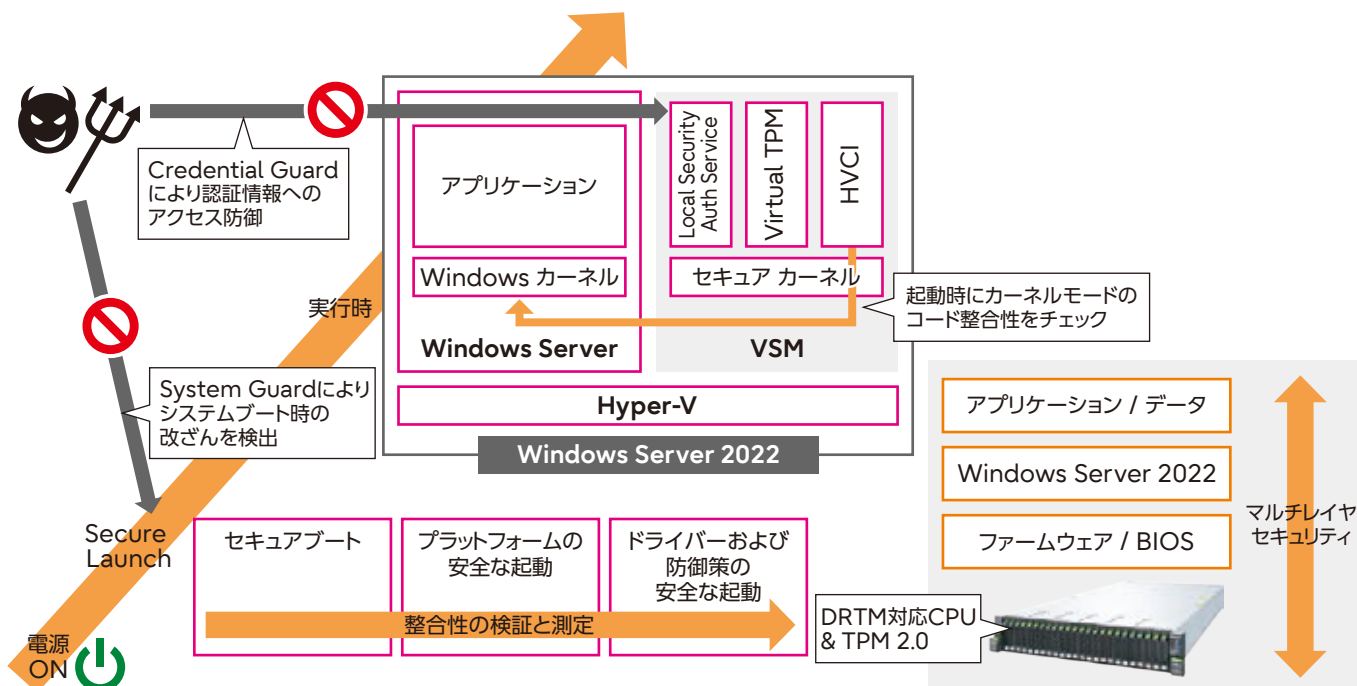
エンハンス機能 — セキュリティの強化

■ Secured-core Server

Secured-core Serverは、対応したハードウェア、BIOS、ファームウェアとOS設定によって、BIOSやファームウェアなどへの外部からの不正アクセスや、悪意のあるコードによる情報改ざんを防ぎ、マルチレイヤレベルでサーバ内の情報を統合的に守ります。

Dynamic Root of Trust for Measurement (DRTM) に対応したプロセッサとTrusted Platform Module (TPM) 2.0を搭載することで、起動時にSystem Guard Secure Launchによってファームウェアの改ざんチェックを行います。また、仮想化ベースセキュリティ (VBS) 技術により通常のオペレーションシステムから分離してVirtual Secure Mode (VSM) を起動します。VSMはセキュアラウンチの過程で安全性を確保しながら起動し、VSM起動後は、Hypervisor-protected code integrity (HVCI) がOSカーネルやデバイスドライバの改ざんを検出します。これらによって脆弱性によるリスクを最小限に抑え、Windows Serverを安全に起動します。

さらに、Credential Guardによって認証情報などの機密資産を保護することができます。



■ 接続セキュリティの向上

Windows Server 2022では接続のセキュリティも向上しています。より高速でセキュアな暗号化ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア (HTTPS) およびトランスポート層セキュリティ (TLS) 1.3がデフォルトで有効になりました。また、業界標準のAES-256暗号化を使用してサーバ通信のセキュリティを強化することもできます。サーバメッセージブロック (SMB) においてAES-256の暗号化に対応し、優れたセキュリティ機能をサポートします。

エンハンス機能 — Azureハイブリッド連携の強化

■ Azureとのハイブリッド連携強化

Windows Server 2022においてもWindows Admin CenterによるAzureとのハイブリッド環境の機能拡張や改善が継続して行われています。また、前バージョン同様、Windows Admin Center はWindows Serverにインストールされていないためマイクロソフト社サイトから別途ダウンロードが必要です。



Windows Admin Centerは、デザインがよりグラフィカルになり、仮想マシン関連の新機能などが大幅に改善されています。これまで拡張機能として提供されていたクラスタ新規作成が標準機能として提供され、クラスタ展開が簡単になりました。さらにWindows Admin Centerの拡張機能としてコンテナの新規作成・管理が可能となりました。

エンハンス機能 — プラットフォームの強化

■ コンテナ機能のエンハンス

Windows Server 2022は、Windowsコンテナのサイズが小さくなります。Windowsコンテナイメージのサイズ縮小は、ダウンロード時間短縮やパフォーマンス向上につながります。

■ 大規模アプリケーションのサポート

Windows Server 2022は、48TBメモリと64物理ソケット上で動作する2,048の論理コアを必要とする、SQL Serverなどのビジネスクリティカルで大規模なアプリケーションに対応しています。

Windows Server® IoT 2022 for Storage

Windows Server® IoT 2022 for Storageは、Windows Server® 2022をベースにした、ネットワーク接続ストレージ(NAS) アプライアンスに最適なOSです。Windows Server® をベースにしているため、Windows環境との親和性が高く、Active Directory環境にメンバーサーバとして参加できます。またバックアップソフトやウイルス対策ソフトなどの各種ソフトウェアを搭載することも可能です。

さらに、マルチプロトコルをサポートしているため、Windows/Linux/UNIX/Macintoshクライアントの共有ファイルサーバとして、ご利用いただけます。x86サーバ PRIMERGYでは、Windows Server® IoT 2022 for Storage Standardインストールオプション(*) をご用意しています。

(*) 対応機種はPRIMERGYシステム構成図を参照してください。

Windows Server® IoT 2022 for Storageエディション概要

製品名	プラットフォーム	概 要
Windows Server IoT 2022 for Storage Standard	64-bit	Windows Server IoT 2022 for Storage Standardはライセンスモデルがコアライセンスとなります。 CAL (クライアントアクセスライセンス) は不要であるため、ファイルサーバへの接続ユーザーが増えても、追加のCAL購入は不要です。 また、実行できる仮想インスタンスは最大2つです。

Windows Server® IoT 2022 for Storage Standardのシステム要件

Windows Server® IoT 2022 for Storageエディション	Standard	Windows Server® IoT 2022 for Storageエディション	Standard
最大プロセッサソケット	64	ライセンスモデル	コアライセンス
最大メモリ	48TB	CAL (クライアント アクセス ライセンス)	不要
最大ディスク数	無制限	利用できる仮想インスタンス数	2
最大接続ユーザー数	無制限		

Windows Server® IoT 2022 for Storageの特長

CAL (クライアント アクセス ライセンス) が不要

Windows Server® 2022 Standard/Datacenterでは、サーバにアクセスするユーザーまたはデバイスごとに、CAL (クライアント アクセス ライセンス) が必要になりますが、Windows Server® IoT 2022 for Storage Standardはクライアント数に応じたCALをご用意する必要はありません。そのため導入・運用コストを大きく削減することが可能です。

Windows Server® 2022 Standard/Datacenter の場合

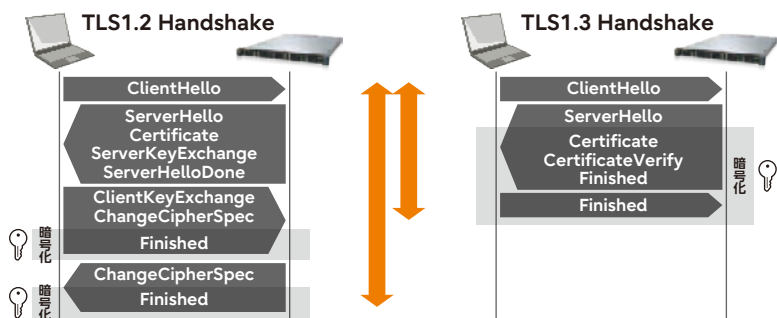


Windows Server® IoT 2022 for Storage Standard の場合



接続セキュリティの向上

Windows Server® IoT 2022 for Storage Standardは、Windows Server® 2022同様、接続のセキュリティが向上しています。より高速でセキュアな暗号化ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア (HTTPS) およびトランスポート層セキュリティ (TLS) 1.3がデフォルトで有効になりました。TLS1.3では暗号化通信開始までのエンドポイント間のハンドシェイクの回数が減ることにより効率化し、優れたセキュリティ機能をサポートします。



SMB暗号化

SMB暗号化は、業界標準のAES-256暗号化を使用して、SMBデータをエンドツーエンドで暗号化し、信頼できないネットワークで発生する傍受からデータを保護できます。Windows Server® IoT 2022 for Storage Standardは、Windows Server® 2022同様、SMB暗号化をサポートする最新バージョンのSMBを搭載します。そして、それを搭載する別のコンピューターに接続するときに自動的にネゴシエートされます。これは、グループポリシーによって強制させることもできます。さらに下位互換としてAES-128を引き続きサポートします。

VMware シリーズ

x86サーバ PRIMERGYはBroadcom社の認証を取得し、安定した仮想化プラットフォームをご提供します。また、当社はBroadcom社との長年にわたるパートナーシップと5,500社以上の導入実績があり、サーバ仮想化からストレージ仮想化、ネットワーク仮想化まで、お客様にとって最適なソリューションをご提案します。

VMware製品ラインナップ

期間ライセンス (サブスクリプション型ライセンス) を3つのエディションで提供

VMware Cloud Foundation

仮想環境の構築から運用管理を高度に実現するエディションです。vSAN、NSXによるSoftware-Defined Datacenterの実現、Aria AutomationによるHybrid基盤の自動化を利用できます。

VMware vSphere Foundation

vSphereのフル機能に加え、vSANやAria Operationsも利用できます。HCI との組み合わせとして最適なエディションです。

VMware vSphere Enterprise Plus

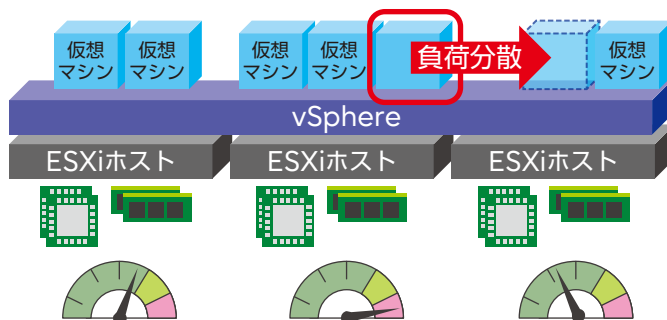
基本的なvSphere仮想化基盤を実現します。vSphereのフル機能が利用できます。

VMwareの機能概要と導入メリット

VMware vSphere サーバ仮想化

サーバ仮想化環境を提供する基本機能です。高可用性を実現する機能やサーバリソース、ストレージ、ネットワークを効率的に活用する機能により日々の運用負荷を軽減します。

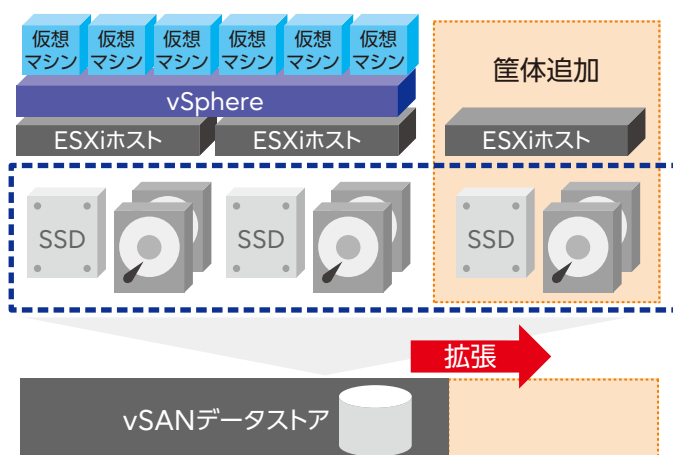
効率的なリソース活用



VMware vSAN ストレージの仮想化

複数の物理サーバの内蔵ディスクを1つの仮想的な共有ストレージとして提供する機能です。スケールアウト型ストレージのため、筐体を追加するだけで性能と容量の拡張ができます。

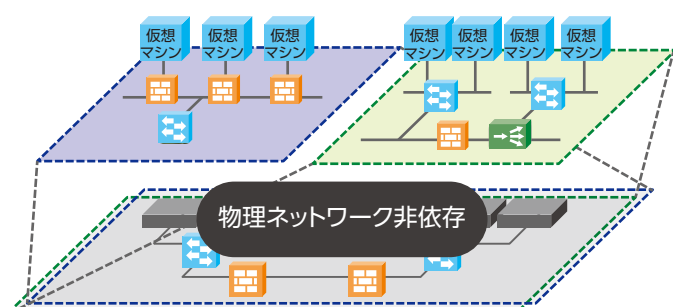
筐体追加で性能・容量の拡張



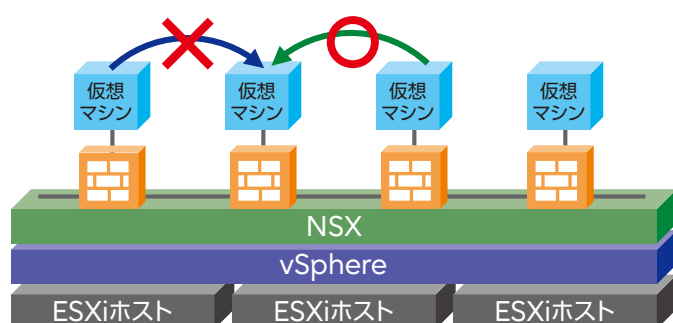
VMware NSX ネットワークの仮想化およびセキュリティ

スイッチ・ファイアウォール・ルータ・ロードバランサなどの機能を、ソフトウェアで提供する機能です。実際の物理ネットワークセグメントに依存することなくネットワーク構成を変更できます。また、仮想環境のネットワークセキュリティを強固にできます。

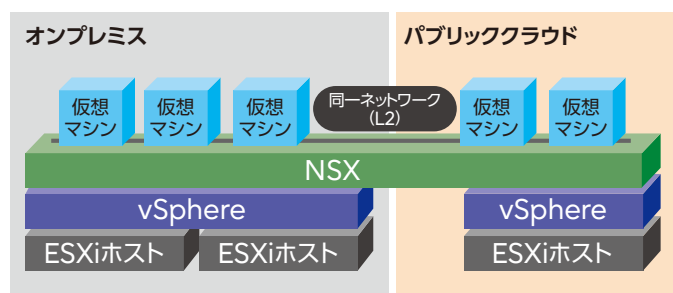
物理ネットワーク環境に依存しない仮想ネットワーク



仮想マシン間の不正通信を防止



ハイブリッドIT環境—ネットワークをシームレスに接続



VMware Aria クラウド管理および自動化

VMware Ariaは、プライベートクラウド運用における仮想マシン貸出の効率化と運用業務の自動化、課金管理、システムの問題解決支援を実現するための機能群です。管理者の運用管理負荷やコストを低減します。

Red Hat Enterprise Linux

Red Hat Enterprise Linux (以下RHEL) は、世界最大のLinuxディストリビューターであるレッドハット社が提供する企業向けディストリビューションです。当社は、レッドハット社とのグローバルな戦略的提携の下でミッションクリティカル向け機能などの共同開発を緊密に連携して進めています。その成果は、ビジネス分野で必要な安定性や運用の容易性として結実しています。

お客様のシステム運用に合わせた RHEL サポートを提供

RHELは、サポート契約にプログラムを含めて提供しており、ご利用にあたってはサポート契約が必須となります。当社が提供するRHELサポートでは、3つのサービスレベルからお客様のシステム運用要件に応じて選択いただけます。また、期間は1/3/4/5年、時間は平日/24Hサポートからご選択可能です。

■ 基本サポート

常に最新の機能とセキュリティ維持の両立を必要とするWebサーバやメールサーバなどのシステムに最適です。同一マイナーリリースに対する修正提供期間は最長6か月となります。

■ 拡張サポート (EUS)

富士通製ミドルウェアと組み合わせた業務システムに適しています。特定マイナーリリースに対する修正提供期間が最長2年間に延長されるため、計画的なアップデート運用が可能となります。

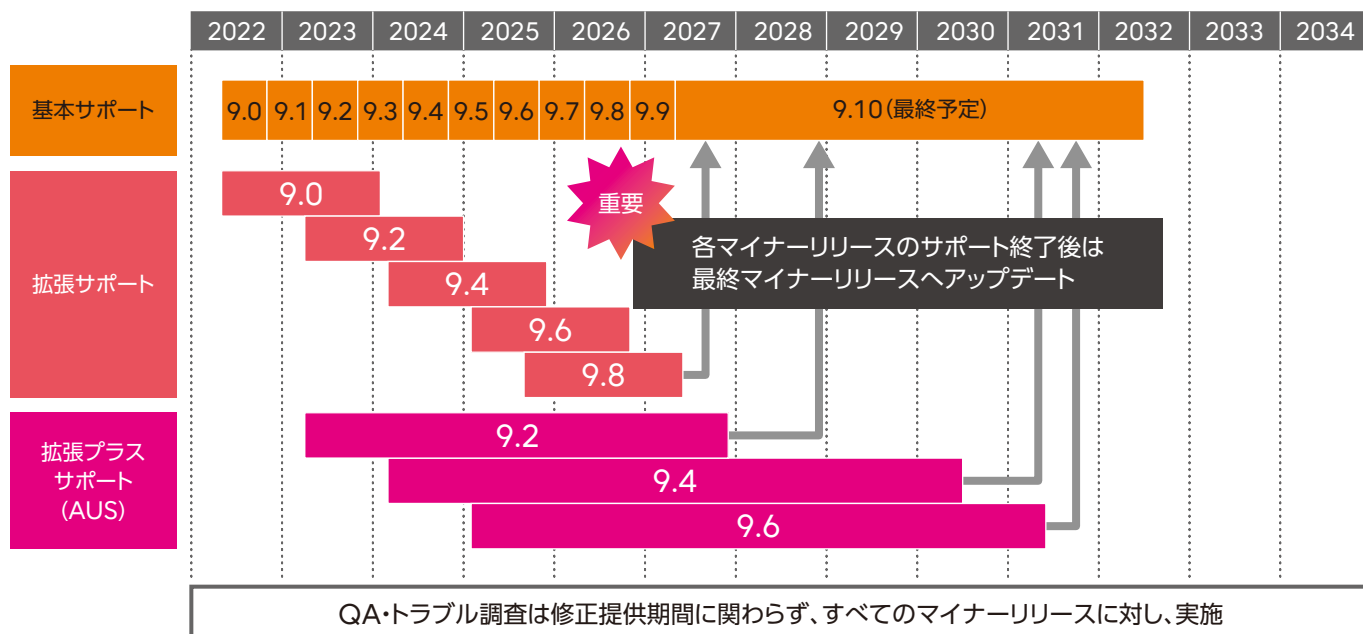
■ 拡張プラスサポート (AUS)

ダウンタイムが社会的影響を与える重要システムに適しています。特定マイナーリリースに対する修正提供期間が最長6年間に延長されるため、長期安定稼働が実現可能となります。

RHEL商品サポート内容

項目	内容	基本サポート	拡張サポート	拡張プラスサポート
問題解決支援	仕様、操作方法に関する質問や、ソフトウェアが正常に動作しない場合の原因調査、回避措置に関する質問・相談	○	○	○
SupportDesk-Webでの情報提供	ご契約ユーザ専用ホームページで修正情報や技術情報、セキュリティ情報などを提供	○	○	○
Red Hatカスタマーポータルのご利用IDを提供	プロダクトID	○	○	○
	AUS-ID	—	—	○
マイナーリリースに対する新規修正提供期間		最長6か月	最長2年	最長6年

修正提供期間について



※本図はライフサイクルの考え方を示したものであり、各マイナーリリースの提供時期、期間を保証するものではありません。

複数年サポートでサブスクリプションの更新漏れ、年間運用費用の削減のお悩みも一気に解決

PRIMERGY同時手配のお買い得な複数年サポートで、サブスクリプションの更新漏れも未然に防ぐ。



5年サポートがお買い得！

特に5年サポート商品は、お客様システムの運用費用削減をご支援します。



豊富なラインナップ

1/3/4/5年、平日/24Hサポートをご用意しています。

4年サポートは、当社だけです（当社調べ）。



サブスクリプションの更新漏れを未然に防ぐ！

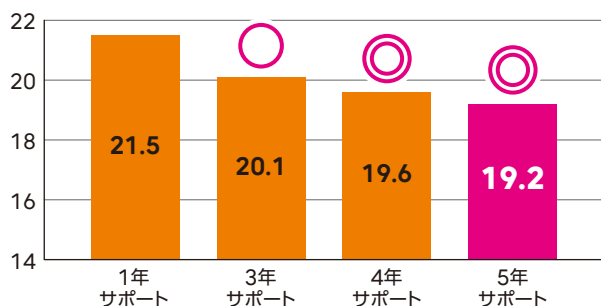
当初から複数年サポートをご選択いただくと、サポート契約のし忘れを防ぎ、万が一のトラブル発生時にセキュリティ修正と障害修正が入手できないという事態を回避できます。

運用費用を削減！さらに最長5年目までサポート
契約切れの心配なし！

1年あたりのサポート費用の比較

※基本サポート2CPU/1ゲスト 24時間サポートの場合

単位：万円



1

“Red Hat Enterprise Linux”のインストールに必要なプログラムは、サポート契約により提供されるため、必ずSupportDesk契約が必要です。

2

お客様の運用エンジニアだけでは、解決困難な問題が発生する可能性があります。

※年間1万件を超えるトラブルを迅速に解決しています。

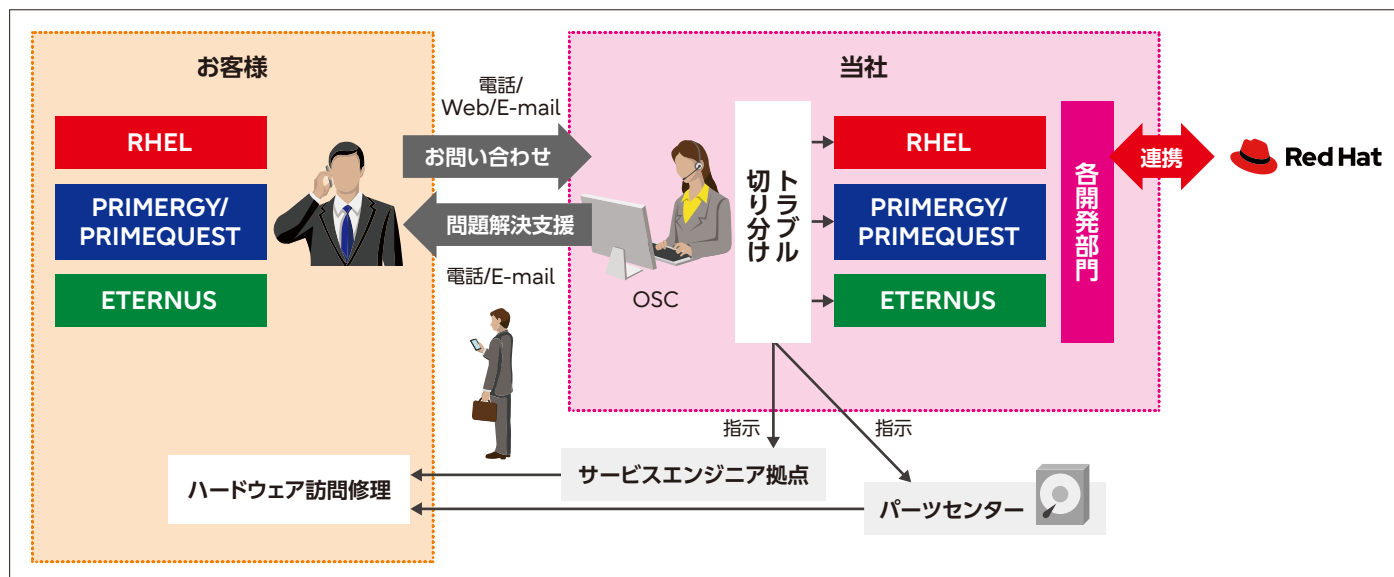
3

セキュリティ修正・障害修正は、SupportDesk契約がないと入手できません。

1年サポートを選択した場合は、
2年目以降別途サポート契約が必要です

ハード /Linux/ ミドルウェアのお問い合わせ窓口一本化で一括サポート

- Linuxはもちろん、PRIMERGY/PRIMEQUEST、ミドルウェア製品に関するお問い合わせを富士通サポートセンター（OSC^(※1)）が受け付け、一括サポートを実施します。
- 万一Linux関連のトラブルが発生した場合でも、お問い合わせの99%以上を当社内のLinux専任技術者が迅速にお答えします。Linux専門技術者によるQ&A対応、問題解決支援、修正情報の提供などのLinuxサポートにより、お客様の業務停止時間を最小限に抑え、システムの安定稼働を強力にバックアップします。さらに米国レッドハット内に設置した「共同開発推進室」を通じた緊密な連携により、より高度かつ高品質なサポートをご提供します。
- ハードウェアのトラブル時は、全国最大級のサービス拠点より、2時間以内^(※2)に訪問修理を実施します。



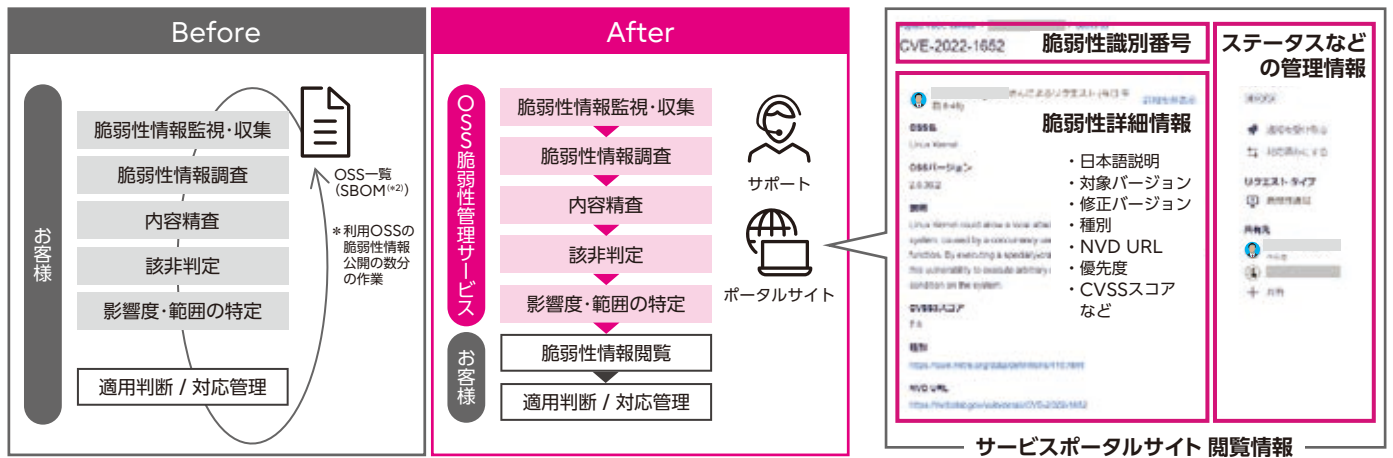
(※1) OSC: One-stop Solution Centerの略。SupportDeskご契約のお客様専用の総合サポートセンター。

(※2) サーバをStandard契約した場合の目標値。交通事情/天候/対象機器の設置地域などにより、サービスエンジニアの到着が当日2時間を超える場合や翌営業日の対応になることもあります。

OSS脆弱性管理サービス

脆弱性情報の管理が「いつ」でも「どこ」でも容易になる！

OSSの脆弱性の情報収集・影響分析・修正適用などの管理コストの増加でお困りのお客様に、情報を一元化し、セキュリティの専門知識の不足を補完し、管理できるサービスを提供（*1）します。



（*1）OSS脆弱性管理サービスは、富士通株式会社提供します。
（*2）SBOM (Software Bill of Materials) とは製品に含まれるすべてのソフトウェアをまとめて管理するために、その名前やライセンス、依存関係などを機械処理しやすい形で一覧化したもの

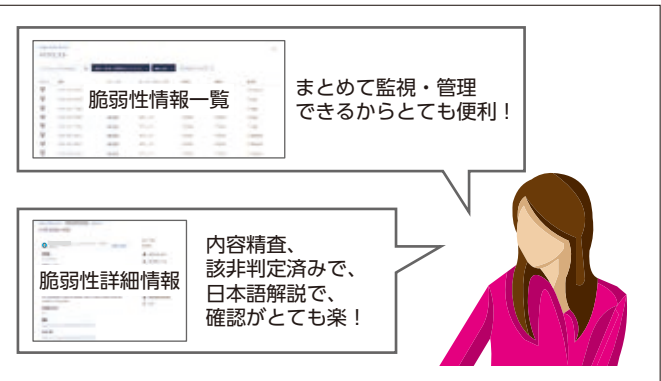
おすすめ利用ケース

構築太郎さんの勤めているF株式会社では、サーバやストレージなどのプラットフォームのうえに、様々なシステムを構築しています。F株式会社のシステムには、様々なオープンソースソフトウェア（OSS）を活用しており、それらOSSの管理を運用花子さんが担当することになりました。OSSの脆弱性情報は、サーバ、ストレージなどのベンダーから提供されないため、OSSの脆弱性情報を自分たちで管理するのに際して、運用花子さんは考えました…。



そのようなとき、先輩の構築太郎さんがある商品を紹介してくれました。それが **OSS脆弱性管理サービス** です。

脆弱性情報を一つに集約！見える化！管理も集約！



- お客様は、監視対象のOSS一覧（SBOM）を提示するだけで、脆弱性情報をひとまとめに表示・管理ができます！
- 監視対象のOSSに脆弱性が見つかるや直ぐにポータルサイトで通知するので、ブラウザーを見るだけで効率的に情報確認ができます！
- 脆弱性の内容の精査や該当の判定を終えた情報で、修正バージョンを確認するだけで、セキュリティの専門知識の不足を補完し、管理できます！
- 日本語解説がわかりやすい！

商品ラインナップ

	品名	型名	標準価格 [税別]
基本商品	脆弱性管理 30ソフトウェア/月	SV2303CJ17	210,000円/月
	脆弱性管理 40ソフトウェア/月	SV2303CJ18	280,000円/月
	脆弱性管理 50ソフトウェア/月	SV2303CJ19	350,000円/月
	脆弱性管理 60ソフトウェア/月	SV2303CJ1A	420,000円/月
	脆弱性管理 70ソフトウェア/月	SV2303CJ1B	490,000円/月
	脆弱性管理 1プロジェクト/月	SV2303CJ1C	500,000円/月
オプション製品	脆弱性Q&A 基本10チケット	SV2303CJ1D	2,400,000円
	脆弱性Q&A 追加1チケット	SV2303CJ1E	240,000円

Arcserve® シリーズ

Arcserveシリーズは、PRIMERGY環境のデータ保護を実現するソリューションを提供しており、PRIMEFLEXといった、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー(HCI)の仮想マシンのバックアップにも対応しています。今や企業にとってデータのバックアップは、災害や障害の他にもランサムウェア等によるデータの損失を防止し、事業を継続する上で必要不可欠となっています。Arcserveシリーズは、企業のシステム運用形態に合わせて大切なデータを保護します。



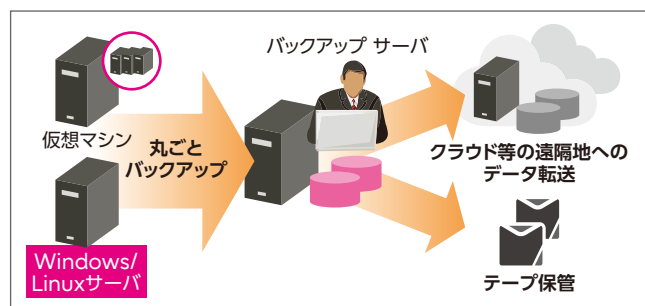
物理環境・仮想環境・クラウド環境上の大切なデータを保護する3つの「Arcserve」



Arcserve UDP

簡単さを追求したイメージ バックアップ ソフトウェア

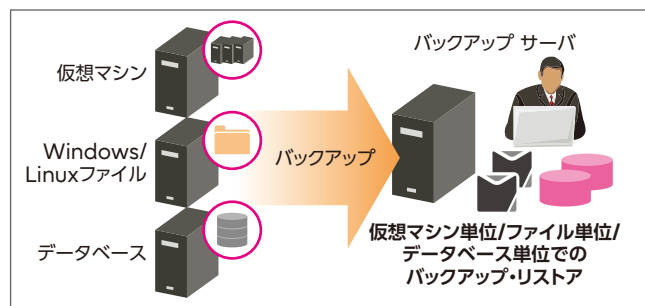
専門知識がなくても、簡単な操作でサーバ全体を丸ごとディスクへバックアップでき、システム復旧やファイル単位の復旧も簡単に行えます。また、仮想環境のバックアップ、遠隔地へのデータ転送による災害対策、仮想スタンバイによる早期業務再開といった、近年必要とされるデータ保護の用途にも適しています。本製品はこの他にも、永く増分バックアップ機能、データの重複排除機能も標準搭載しています。



Arcserve Backup

ETERNUSとの親和性にも優れたファイルレベル
バックアップ ソフトウェア

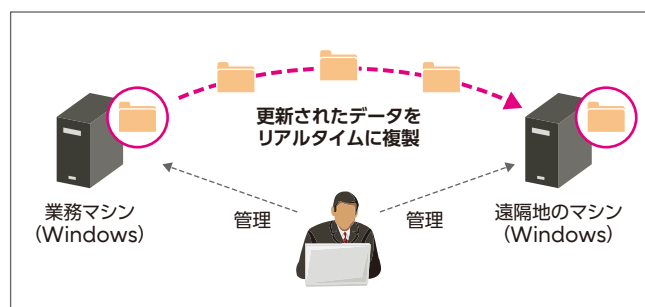
ファイル/フォルダ単位、またはデータベース単位のバックアップを可能とし、多くの物理/仮想環境が混在した環境でも、きめ細かく運用・管理できます。またETERNUSとの親和性に優れ、LTシリーズを用いたテープへの長期保管や、AB/HBシリーズやAX/HXシリーズの筐体内高速コピー機能と組み合わせたデータ保管も可能です。



Arcserve Replication

遠隔地へほぼリアルタイムにデータを複製

定期的を実施するバックアップに比べ、より新しいデータの保護が可能です。障害発生時には複製先のマシンに接続するだけで、業務を再開できます。また、ネットワーク負荷に応じた帯域幅の制御により、災害対策ソリューションとして活用できます。



主要商品ラインナップ

	商品名	特長	型名	標準価格 [税別]
統合商品	Arcserve UDP 10 Premium Edition - Socket	UDP (Advanced Edition)、Backup、Replication (ファイルサーバ版)の各商品が全て利用可能	B5142CPEC	318,400円
	Arcserve UDP 10 Premium Plus Edition - Socket	Premium Editionで提供している機能に加え、ReplicationとHigh Availabilityの全ての機能が利用可能	B5142X37C	439,300円
単体商品	Arcserve UDP 10 Advanced Edition - Server	簡単さを追求したイメージ バックアップ ソフトウェア	B51429REC	159,800円
	Arcserve Backup 19 for Windows	ETERNUSとの親和性にも優れ、お客様のニーズに合わせてきめ細かくデータ保護を可能とする、ファイルレベル バックアップ ソフトウェア	B5140JACC	188,100円
	Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard for File Server	業務サーバのデータを、ほぼリアルタイムでリモートサーバに複製	B5141HSAC	120,100円

ウイルス感染や脆弱性攻撃などの脅威から、サーバを防御します。

Trend Micro Deep Security



- 企業向けのサーバ用セキュリティ対策製品です。基本的なウイルス対策機能に加え、脆弱性対策や変更監視、ログ監視等、サーバ保護に求められる統合的なセキュリティ対策機能を提供します。
- Windows、Linux、Solarisなど幅広いOSに対応し、物理/仮想/クラウドの環境を統合的に管理、保護可能です。VDI環境やPCIDSS認定取得等でも活用されています。
- 物理/クラウドサーバにAgentを導入する[サーバ課金]製品になります。

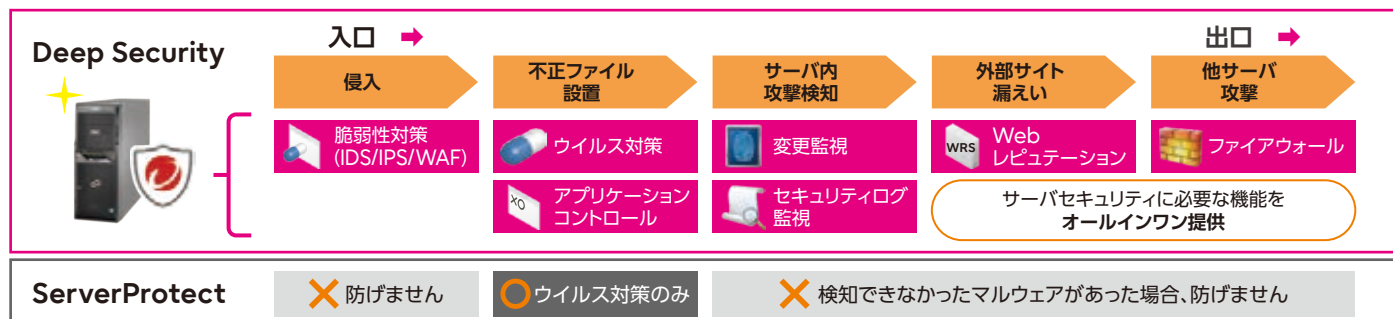
課金単位	製品エディション	新規 標準価格 [税別] / 型名 (※1)	更新 標準価格 [税別] / 型名 (※1)	ServerProtect 利用権
[サーバ課金]	Deep Security Agent Enterprise	230,040円 / A5149WGB	115,020円 / A5149WG7	付属 (※2)
	Deep Security Agent Virtual Patch	135,000円 / A5149WH2	67,500円 / A5149WGX	
	Deep Security Agent System Security	115,560円 / A5149WGP	57,780円 / A5149W GK	
	Deep Security Agent ウイルス対策	105,840円 / A5149WHE	52,920円 / A5149WHA	付属 (※2)

※1: 価格テーブル Aランク (最低数量) の例 ※2: Deep Securityで許諾されたサーバ数の範囲で「ServerProtect for Windows / Linux」の利用に替えることが可能

- Deep Securityは、SupportDesk対象製品です。また、最新パターンファイル提供を含む一年間のトレンドマイクロ社スタンダードサポートが付属しています。
- 次年度以降の契約更新する場合、更新の度に更新製品を購入します。

各エディションで利用できる機能	ウイルス対策+ Webレピュテーション	脆弱性対策 (仮想パッチ)	ファイアウォール	変更監視+ アプリコントロール	セキュリティ ログ監視
Enterprise	●	●	●	●	●
Virtual Patch		●	●		
System Security				●	●
ウイルス対策	●				

サーバの入口から出口まで、多層的に防御!



課金単位	製品名	新規 標準価格 [税別] / 型名	更新 標準価格 [税別] / 型名
サーバ課金	Server Protection for Windows	74,520円 / A5149X50	37,260円 / A5149X4Y

PowerChute Serial Shutdown



本製品は、コンピュータ本体装置に接続されたUPS (無停電電源装置: Smart-UPS) と組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアで、UPSの状態監視やスケジュール運転などの機能があります。不慮の停電や電源異常が発生し、UPSがバッテリー運用になった時に安全にOSをシャットダウンしてからコンピュータの電源を切断することができます。毎日決まった時刻にコンピュータの電源をON/OFFするスケジュール運転も可能です。

製品名	型名	標準価格 [税別]
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.1	B5143TW1C	28,600円

uSCALEサブスクリプションモデル

uSCALEサブスクリプションモデルとは、サーバやストレージなどのハードウェア機器やソフトウェアをオンプレミス^(※1)で使用しながら、支払いはクラウドサービスと同様に月額払いにできるITインフラの新しい利用形態を提供するサービスです。

機器を所有することなく利用した分だけ支払いを行い、リソースが不足になった際は煩雑な手続き不要でリソース拡張が可能です。クラウドと同様に一契約内でお客様のご要望に合わせて構成や利用期間を柔軟に変更できます。

※1: お客様が指定した場所に機器を設置します。富士通データセンターに設置することもできます。



初期費用の低減

一般的な買取の場合に比べて、初期費用を抑えることができます。



過剰投資の抑制

オーバースペックによる過剰投資を抑制し、煩雑な手続き不要でリソースを後から増設できます。



資産レスによるコスト最適化

当社資産を、オンプレミスで利用できます。



利用量に応じた課金

使用したサーバの台数や、ストレージの容量に応じた月額費用で利用できます。



リソース使用量に応じた増設計画を支援

リソース利用状況がポータルで確認できます。増設計画を支援させていただくことも可能です。

クラウドとオンプレミスの利点をいといと取り

uSCALE サブスクリプション モデルの利点

クラウドの利点

- 使った分だけ支払える
- 資産を持たなくて良い
- 初期コスト抑制



オンプレミスの利点

- セキュリティへの安心感
- 処理性能の確保
- カスタマイズ性



当社uSCALEサブスクリプションモデルの特長

- 必要な期間だけご利用可能
 - 更新時には利用料を一部免除
 - 運用に必要な費用を全てセット化
- あらかじめ利用期間を設定する必要なし
新旧システムの移行期間の重複利用料を支払い免除
機器の設置 / 撤去・スタートアップ・保守まで含んだ月額料金

利用期間の縛りがなく、煩雑な契約変更なしでリソース増強に柔軟に対応

対象製品

ハードウェア

x86サーバ



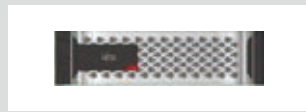
PRIMERGY

基幹IAサーバ



PRIMEQUEST

ストレージ



ETERNUS

Hyper Converged Infrastructure



PRIMEFLEX

ソフトウェア

Windows Server®, Red Hat® Enterprise Linux®, Nutanix® Software, Veritas NetBackup™
Fujitsu Software Infrastructure Manager, ETERNUS SF AdvancedCopy Manager/Storage Cruiser